OR3取り組み状況について(集計表)

的なI	取組の柱						•	1	r		r	r	r	実施	する	機関	r		•		•	•			
事	項	主な内容	目標時期	土	石岡	龍ケ	鹿嶋	潮	稲	かすれ	神	行方	鉾田	小美	美	阿見	河中	利坦	香	稲 村敷 圏 事方	茨城	千	気	鉄本	鹿
	具体的な取組			浦市	市	崎市	嶋市	潮来市	稲敷市	ら市がう	神 栖 市	市	市	玉市	浦村	町	内町	根町	取市	務広 組域 合市	吸 県	千葉県	気象庁	鉄道(株) (株) (株)	調品
ード	L 対策の主な取組			1			l									1			1	町	l	1			
(1)	共水を河川内で安全 「	とに流す対策 I																							
	①優先的に実施する堤防 整備	・無堤区間、堤防断面不足区間	H28年度から 順次実施																		0				
	②優先的に実施する波浪 対策	•波浪対策対象区間	H28年度から 順次実施																						
	③危機管理型ハード対策	・高齢者が特に多い地域等において、危機管理型ハード対策等を概成	順次実施																						
(2) i		カ、排水活動に資する基盤等 	の整備																		1				
	①雨量·水位等の観測 データ及び洪水時の状況 を把握·伝達するための基盤の整備	・雨量、水位、風向風速等の観測データ 及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	引き続き実施																		Δ				
	②防災行政無線の改良、 防災ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良、防災ラジオ等の配布	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	•	•	•	•	0						
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水 防資機材等の配備	・水防活動を支援するための新技術を 活用した水防資機材等の配備	H28年度から 順次実施	•	•	0	•	0	0	0	Δ	•	•	0	•	•	0	0	•		0				
	④簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置	・水位計(危機管理型水位計含む)や量水標、CCTVカメラ(監視用カメラ含む)等の設置・POTEKAの設置	H28年度から 順次実施	0	•	•	Δ	Δ	•	0	•	Δ	Δ	•	•	•	Δ	•			0				
	⑤浸水時においても災害 対応を継続するための施 設の整備及び自家発電装 置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続する ための施設の整備及び自家発電装置等 の耐水化	H28年度から 順次実施	•	Δ	•	Δ	0	0	0		Δ	Δ	-	0	Δ	Δ	Δ							
	⑥内水被害危険箇所の対 策、排水ポンプの準備	・消防車両ポンプの転用	H28年度から 順次実施	•	•	0	•	0	•	•	•	0	0	•	•	•	Δ	Δ			0				
	を図るため、病院、市役所	・沿川の地方公共団体や民間事業者等 との情報交換を十分に行い、高規格堤 防の整備との共同事業を積極的に地方 公共団体や民間事業者等に提案する取 組を実施し、新規着工に向けた調整・検 討。	順次実施	•	Δ		Δ	0	Δ	0	Δ	Δ	Δ	•	Δ	Δ	Δ	Δ			Δ				
	⑧河川防災ステーションの 整備	・協議会等の場を活用して、河川防災ステーションの整備を進めるともに、関係機関と情報を共有し市町特等の円滑な水防活動等、活用方策を検討・調整。 東音活動拠点施設だなる事務所及ひ事	順次実施																						
	⑨庁舎等の防災拠点の強 化	務所をつなぐ重要な通信中継施設の停電対策、通信機器の整備が不足している事務所へ災害対策用通信機器の増強	順次実施	•	•	•	Δ	0	Δ	0	Δ	Δ	•	•	•	•	Δ	0			Δ				
フトダ	」 対策の主な取組 ①	 漢を軍職 逃げ遅れゼロに向けた迅速	かつ的確な避	難行動	動のた	めの	取組	ı	l	1	l	l		l		1	l	1							
(1),	太域避難を考慮した	<u>-</u> ハザードマップの作成・周知 ⁻	等																						_
	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表		H28年度から実施 H29年度(県)																		0				
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	H28年度から 順次実施																		0				
	③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策 定する	H28年度から 順次実施	Δ	Δ	•	Δ	•	•	0	•	•	•	•	•	•	•	•	0		•	Δ	0		
	④広域避難を考慮したハ ザードマップの作成・周知 等	・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援	H28年度から 実施	•	•	•	•	0	•	0	•	•	•	•	•	Δ	•	•	0		0	0			
	⑤まるごとまちごとハザー ドマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う	H28年度から 実施	Δ	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	0	Δ	•	0	0						
	⑥要配慮者利用施設の避 難計画の作成及び訓練の 促進	・作成に必要な情報の提供及び策定を 支援 ・要配慮者利用施設において策定してい る避難計画の策定計画の中に水害も対 象として位置づけ、避難訓練等を支援す る	H28年度から 実施	×	0	•	0	0	0	•	0	•	•	•	0	0	0	0	0		•	Δ	Δ		
(2) j	 選難指示の発令に表	I 着目したタイムラインの作成	<u> </u>																						
	①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・作成に必要な水位情報等の提供 ・関東地整、市町村と協同し、策定を支援 ・タイムラインの策定を行う	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	•	•	0	•	•	•	•	0	•	•	•	0		•	×	Δ		
	②避難指示の発令の判断 基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成を促進する	H28年度から 順次実施	Δ	•	•	•	•	•	0	•	•	•	•	0	•	•	•	0		•	0	Δ		
	③タイムラインに基づく実 践的な訓練	・トップセミナーの開催 ・自治体訓練に参加 ・図上型防災訓練のモデルの構築 ・実践的な訓練の実施	H28年度から 定期的に順次実施	×	Δ	•	0	0	0	0	Δ	0	0	0	0	0	0	0	Δ		0	0	Δ		
	④気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報 提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年度出水期か ら																		•		0		
	理者からの情報提供等	・毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認。洪水対応訓練や避難訓練等を実施し、明らかになった課題等を通してタイムラインを検証し、必要に応じて	H28年度から実施																						

的な	取組の柱													実施	する	機関										
事	項	主な内容	目標時期	土浦	石岡	龍ケ	鹿	潮	稲	かす	神	行	鉾	小羊	美	阿	河	利	香	稲 村敷 圏 事方	茨城	千	気	鉄太	鉄島	וה לימו
	具体的な取組			市	市	崎市	嶋市	来市	敷市	ら市がう	栖市	方市	田市	美玉市	浦村	見町	内町	根町	取市	務広 組域 合市	城県	千葉県	気象庁	鉄道(株) 日本貨物	道線海	最高量
(3)	」 防災教育や防災知詞	l 哉の普及																		町						
	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	•	•	0	•	•	•	•	•	•	•	•	•		0		•			
	②水防災に関する説明会の開催	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく ・実施について検討する	H28年度から 順次実施	•	•	•	0	0	•	•	•	0	•	•	Δ	Δ	0	0	0		•	0	•			
	③教員を対象とした講習会 の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極 的に行っていく ・実施について検討する	H28年度から 順次実施	×	Δ	•	0	0	•	Δ	•	0	0	0	Δ	Δ	0	0	0		0	•	•			
	④小学生を対象とした防災 教育の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極 的に行っていく ・実施について検討する	H28年度から 順次実施	×	Δ	•	0	0	•	0	•	0	0	•	•	Δ	0	0	0		•	Δ	•			
	⑤出前講座等を活用した 講習会の実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	H28年度から 順次実施	•	•	0	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	•			0	×	•			
	⑥プッシュ型の洪水予報等 の情報発信	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・情報入手方法などの周知	H29年度から実施	•	0	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	0		0					
		・ホームページやスマートフォンなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する ・市公式サイトに川の防災情報をリンク付けし情報共有している	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Δ	0	0		0					
	⑧許可工作物管理者への 防災教育の実施	・操作規則作成に必要な情報の提供及び支援 ・履行検査における周知	H28年度から 順次実施	0	Δ	•	0	Δ	Δ	Δ	0	0	0	0	0	•	Δ	Δ			Δ					
		 洪水氾濫による被害の軽減、		 確保 <i>0</i>	りため	の水[防活重	動の取	】 双組																	
(1)	より30元的な小的だ ①水防団等への連絡体制 の再確認と伝達訓練の実施	動の実施及び水防体制の強 ・情報伝達訓練等の実施	R 1L H28年度から 実施	•	0	•	0	0	•	•	•	0	0	0	0	0	•	0	0							
	②水防団同士の連絡体制 の確保	・連絡体制の確保	H28年度から 実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	0	0							
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・国が実施する重要水防箇所等の共同 点検に参加 ・人員不足、多くの対象箇所があること などから取り組み方法については、今後 検討していく必要がある。	H28年度から 実施	×	•	0	0	0	0	0	•	•	0	•	0	0	•	0	0	0	0	0	0			
	④関係機関が連携した実 働水防訓練の実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・利根川水系連合水防演習に参加する	引き続き 定期的に実施	×	Δ	•	0	Δ	•	0	•	0	Δ	×	0	0	•	0	0	0	0	×	•			
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・ 指定を促進	・団員による声かけやコミュニティーFM での募集 ・広報誌やホームページ等で募集してい	引き続き実施	0	0	•	0	Δ	•	Δ	•	Δ	0	•	0	0	•	0	0							
	⑥地域の建設業者による 水防支援体制の検討・構 築	・地域の建設業者を組み込んだ水防支援体制の構築	H28年度から 順次実施	•	Δ	•	•	•	•	Δ	•	•	•	•	0	•	0	•	•							
	⑦内水被害危険箇所の把 握及び情報共有	・関係自治区との情報共有	H28年度から 順次実施	•	Δ	0	•	0	•	•	0	0	•	•	0	0	Δ	0			0	Δ				
	⑧重要水防箇所の見直し 及び水防資機材の確認	・毎年、出水期前に重要水防箇所や水 防資機材等について河川管理者と水防 活動に関わる関係者(水防活動に係る 建設業者を含む)が共同して点検を実施。	順次実施	×	•	0	Δ	0	0	0	•	0	0	•	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0				
	実(水防団員確保に係る取	・協議会等の場を活用して、水防団員の 募集、自主防災組織、企業等の参画を 促すための具体的な広報の進め方につ いて検討の上、順次実施するとともに、 必要に応じて本省としても水防団員募集	順次実施	0	0	•	Δ	0	0	0	0	Δ	0	•	0	0	Δ	0	0	Δ						
	⑩水防訓練の充実	・引き続き、多様な関係機関、住民等の参加により、より実践的な水防訓練となるよう、必要に応じて訓練内容の検討、調整をし改善を図りつつ実施。	順次実施	×	Δ	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	Δ	0	0	0	0	0	•	Δ	0	0				
	⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・協議会等の場を活用し、大規模な氾濫 に対してより広域的、効率的な水防活動 が実施できるよう、必要に応じて関係者 の協力内容等について検討・調整し改 善を図る。	順次実施	0	Δ	0	Δ	Δ	0	0	0	Δ	Δ	0	0	0	Δ	0	0	Δ	0	0				
		一刻も早い生活再建及び社会	会経済活動の	回復	を可能	とす	るため	の排	水活	動の耳	文組															_
(1)	排水計画(案)の作月 ①排水機場・樋門・水門等 の情報共有、排水手法等 の検討を行い、大規模水 書を想定した排水計画 (案)の作成	式及び排水訓練の実施 ・作成に必要な情報の提供	H28年度から 実施	0	Δ	0	•	0	0	Δ	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ	×	Δ			
	②排水訓練の実施	・関係自治体が実施する訓練への参加	H28年度から 実施	0	Δ	0	•	0	•	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		0	×	Δ			
	③内水被害危険箇所の排 水計画(案)の作成	・作成に必要な情報の提供	H28年度から 順次実施	0	Δ	•	0	0	0	Δ	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ	×	Δ			
	④排水設備の耐水化	・浸水による機能停止リスクが高い下水 道施設約70箇所(水密扉の設置等約10 箇所)、河川の排水機場約20箇所について、排水機能停止リスク低減策を概ね 完了。	R3年度から 順次実施		Δ	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	Δ				•				
	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	R3年度から 順次実施	0	Δ	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ		Δ	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ	×	Δ			

目 事項	内容	関東地整 実施内容	実施期間		施内容	実施期間	気象庁 R2年度実績	事体作为	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	茨城県 R2年度実績	実施状況	R3年度実績	宝操护证	宇体内宓	実施期間		実施状況	R3年度宝结	実施
		美 .	着手 完		也內谷 第	手 完了	H2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	美肔内容	着手 完了	K2年度実績	美 麗状況	R3年度美績	実施状況	実施内容	着手		美施状況	R3年度実績	実施
	策の主な取組 k水を河川内で安全に流す	N-1 655																				
(1)	(水を河川内で女主に加り		H29年度 -R7年	度							・流入7河川における河川改修	・過年度よ ・R2年度	・流入7河川において掘削・築	0	・流入7河川において掘削・築	0	・県管理区間では予定なし					
	①優先的に実施する堤防整備	•堤防断面不足区間 •	H28年度								の実施【継続実施】	り継続実 以降継続 施 実施	堤・橋梁改築・用地取得等を 施した	E	堤・橋梁改築・用地取得等を実施した							
	②優先的に実施する波浪対策	·波浪対策対象区間(約14km) ·	H28年度 •R7年	度																		
	③危機管理型ハード対策	・危機管理型ハード対策等・	H28年度 •R7年	度																		
(2)避	L 聲難行動、水防活動、排水流	動に資する基盤等の整備																				
	洪水時の状況を把握・伝達するだ	・雨量、水位、風向風速等の観・ 測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の整	H28年度 ·R7年	度							・雨量、水位、風向風速等の制 測データ及び洪水時の状況を 把握・伝達するための基盤の製		水位計の増設を実施。	0	実施に向けた取り組み を継続	Δ	・県管理区間に施設なし					
	めの基盤の整備 ②防災行政無線の改良、防災ラ	備を実施していく									備を実施していく。											
	オ等の配布 ③水防活動を支援するための新	・新技術(水のう等)を活用した ・ 養養	H29年度 ·R7年	度							・今後、水防資機材の補充・追加等の際には、新技術を活用た水防資機材による配備充実		・資機材等の確認を行った。 ・水防活動等で使用した水防! 材を補充した。	O 資	・資機材等の確認を行い、不足 した水防資機材を補充した。	0	・配備予定なし					
	術を活用した水防資機材等の配 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	・量水標、カメラの設置	H28年度 •R7年	度							を図る。 ・カメラの設置	・H28年度 ・R7年度	危機管理型水位計及び簡易 河川監視カメラについて、台屋	A.	増設箇所の選定を実施し、来年 度にかけて増設予定	0	・県管理区間で設置予定なし					ł
	ラ等の設置 ⑤浸水時においても災害対応を	・白安発示法器等の耐水化・	H28年度 •R7年	度							・県庁舎は浸水想定区域外		19号を踏まえた設置場所の相対を実施。	\$	※危機管理型水位計 簡易型カメラ		・県管理施設で予定なし					
	⑤及か時においても火音対応を 続するための施設の整備及び自 発電装置等の耐水化	家	H28年度 I・R7年	座							・由北神宇在陸衛配に関して	1 . 11.00 年	・水害統計調査により, 市町木	1 0	・水害統計調査により、市町村	0	予定なし					
	⑥内水被害危険箇所の対策、排 ポンプの準備		n20年及 *R/平	·IQ.							保機関と情報の共有化を図っいく。	1 1120年度 1177年度	との情報共有を図った	, 0	*小音桃計画査により、中間やとの情報共有を図った	0	· 17 E/4C					
	⑦重要インフラの機能確保を図る ため、病院、市役所など重要施設 の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の 実施	R3年度 •R7年	度							・重要施設の雨水排水整備の 実施	•R3年度 •R7年度			実施に向けた取り組みを継続	Δ						
	®河川防災ステーションの整備	・河川防災ステーションの整備を進める																				
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対 策用通信機器の増強等	R3年度 •R7年	度							・防災拠点の停電対策、災害対策 策用通信機器の増強等	付・R3年度 ◆R7年度			実施に向けた取り組みを継続	Δ						
		関東地整					気象庁						茨城県						千葉県			
事項プト対象		実施内容 ゼロに向けた迅速かつ的確な	実施期間 着手 完 :避難行動の	了	施内容	実施期間 手 完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間 着手 完了	- R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間		実施状況	R3年度実績	実
(1)広	「域避難を考慮したハザー																					
	①想定最大規模降雨による浸水 定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水 想 想定区域図の公表	H28年度 ·H28 ⁴	丰度							・想定最大規模降雨による浸え 想定区域図の公表	(·H29年度 ·R7年度	・指定17河川について、見直 及び新規公表を実施	L •	新たに13河川の洪水浸水想定 区域図を作成(10河川を新規作成、3河川を区間延伸)	0	・県管理区間での予定無し					
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による氾濫・ シミュレーションの公表	H28年度 ·H304	手度							・氾濫シミュレーションの検討	•H28年度 •R7年度	・氾濫シミュレーションの策定し向けた検討	0	・氾濫シミュレーションの策定に 向けた検討	0	・県管理区間での予定無し					
	71117 717 717	・作成に必要な情報の提供及び・ 策定を支援	H28年度 •R7年	度 ・作成に必要な び策定を支援	は情報の提供およ・H2	8年度 ·R7年度	・令和2年度の支援作業はていない(水戸・銚子)		・令和3年度の支援作業は ていない(水戸・銚子)	生じ △	策定を支援		・市町村の広域避難計画策定を支援した		・広域避難計画検討ワーキング グループを設置し、「大規模水	•	・作成に必要な情報の提供	•H28年度 •R7	年度 ・内閣府「首都圏における大規模水害広域避難検討会」での		· 内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での)
	③広域避難計画の策定							Δ			・市町村が広域避難計画を策定するに当たっての課題等を 理したガイドラインを作成	*H29年度	・広域避難計画検討ワーキングループを設置し、「大規模水害時における広域避難策定力イドライン」を作成済み	ĵ	害時における広域避難策定ガイドライン」を作成済み 防災・危機管理課				検討内容や事例などについて 情報収集を行った。 -上記国検討会を受けた庁内 討組織の設置及び検討・情報	検	検討内容や事例などについて 情報収集を行った。	
												•H30年度	・H29.2「大規模水害時におけた 広域避難の連携に関する協力 (潮来市、稲敷市、神栖市、香 取市)」への資料提供等	È					共有 -実施に向けた取り組みを継続 (香取土木)	ŧ		
		・作成に必要な情報の提供及び・ 策定を支援	H28年度 ·R7年	度							・作成に必要な情報の提供及る策定を支援	√ •H28年度 •R7年度	・指定17河川の浸水想定区域 図の提供	₫			・作成に必要な情報の提供	·H28年度 ·R75	年度 ・内閣府「首都圏における大規模水害広域避難検討会」での		・内閣府「首都圏における大規 模水害広域避難検討会」での	
	④広域避難を考慮したハザードで プの作成・周知等		H28年度								東走を又接		図の提供						候水音広域短難検討芸」での 検討内容や事例などについて 情報収集を行った。 +上記園検討会を受けた庁内 計組織の設置及び検討・情報	Δ ķ	候水音仏域避難快討会」との 検討内容や事例などについて 情報収集を行った。 ・与田浦川浸水想定図(速報 版)を市へ情報提供を行った。	-
	⑤まるごとまちごとハザードマッフ 整備・拡充																		計組機の改画及び検討・情報 共有		版)を印へ情報提供を行つに。	
	正明 加入	・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	H28年度 •R7年	度・作成に必要な	に情報の提供・H2	8年度 ·R7年度			・令和3年度の支援作業はていない(水戸・銚子)	±υ Δ	・作成に必要な情報の提供	·H28年度 ·H30年度	・市町村担当課への説明会開催 ・遊難確保計画の策定等に関				・作成に必要な情報の提供	•H28年度 •R75	年度 国土交通省の主導のもと、野 市を対象に要配慮者利用施設 の避難計画の作成に係る管理	ž	・県の関係部局と連携し避難 保計画の作成の指導するよう 市の関係部局へ依頼を行い、	5.
	⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進												する施設管理者向け説明会の 開催(県内4か所で開催) ・土浦市避難確保計画作成促	0					者向けの講習会を実施。【ROI 市町村防災課長や担当者に対 し説明会や防災体制向上のた] †	併せて先進事例等を紹介した・県の関係部局と連携し避難 ・県の関係部局と連携し避難 保計画に基づく避難訓練の実	- 確
													進のための講習会開催(R1.1)・避難確保計画に基づく訓練の支援実施((R2.2)	0) D					めのヒアリングなどを実施(香 土木)		施するよう市の関係部局へ指 導の依頼を行った。	
(2)避	養難指示の発令に着目した 		H28年度 I•D7年	度 朗亩地方数值	集局 退 市町村 1.10	0.午度 ⋅ D7.午度	・タイトラインの筆字にあた	toτ Δ	・タイトラインの筆字にあた	οτ Δ	・関東地整、市町と協同し、策	₽ .H28年度 .D7年度	・水位情報の提供や避難勧告				*作成に必要な水位情報等の!	■ •H28年度 •P71	年度 ・水位情報等を提供	10	・関係市上り作成支援の悪法	₩.
	①避難指示の発令に着目したター ムラインの作成	・作成に必要な水位情報等の提・供	1120-122	と協同し、策定	を支援	0-12	いる。 (水戸・銚子)	Δ	・タイムラインの策定にあた の助言に係る資料等は整いる。(水戸・銚子)	57	を支援		の発令に係る基本的考え方を 提示。 -済み。(R2.2)				供 ・関係市へ作成の支援	1120-122	・関係市より作成支援の要請なかった。	51	・関係市より作成支援の要請 なかった。	
							・現時点において支援作業 じていない。(銚子)	料は生														
	②避難指示の発令の判断基準に		R3年度 •R7年	度 ・マイ・タイムラ 進	インの作成の促・R3	年度 •R7年度			・タイムラインの策定にあたの助言に係る資料等は整かる。 いる。(水戸・銚子)	って	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度 •R7年度	・マイ・タイムライン作成講座を開催した(20回)	•	・マイ・タイムライン作成講座を 開催(15回)	•	・マイ・タイムラインの作成の促 進	•R3年度 •R75	年度		・県民だよりにてマイタイムラ・ シの作成方法等について、周 を実施した。	知
	基づいた、マイ・タイムラインの作		H28年度 •R7年	度・自治体訓練へ	への参加や支援 ・H2	8年度 •R7年度	・令和2年度の参加実績な	ناد ۵	・現時点において支援作業 じていない。(水戸・銚子) ・12月3日潮来市日の出小	学校 ●	・図上型防災訓練のモデルの	·H28年度 ·R7年度	・図上型防災訓練のモデルを	構	防災·危機管理課		・関係自治体訓練への参加	•H28年度 •R75	年度 ・実施に向けた取り組みを継終 ・5/10に霞ヶ浦情報伝達訓練	t O	・国の情報伝達訓練を実施し	+
	③タイムラインに基づく実践的な	・自治体訓練に参加・	H29年度				(水戸・銚子)	Δ	マイ・タイムライン講習会に (水戸) ・令和2年度の参加実績なり		構築 ・図上型防災訓練の実施支援	·H29年度	築した・R2は市町村からの支援要請し						・5/10に霞ヶ浦情報伝達訓練 参加(香取土木)	=	t a.	
	練								(銚子)		・訓練への参加	•H28年度	・県災害対策本部の図上訓練 である風水害対応訓練におい て、タイムラインを考慮して訓!	١ .								
				け表示	トる危険度の色分・H2 象になる可能性」	8年度 •R7年度	・平成29年7月3日より気象 Pにて公開及び気象情報 システムにて各自治療から	提供	・線状降水帯キーワードを した顕著な大雨に関する情 の発表を開始(水戸・銚子) ・記録的短時間大雨情報の	報												
	④気象情報発信時の「危険度の 分け表示」、「警報級の現象にな	5		メッシュ情報の 【H28年度 防ジ	災関係機関を対		開始している。31年度から ステムにて「流域雨量指数 測値」の監視地点を地図」	t の予 上に表	善を実施(水戸・銚子) ・「台風の暴風域に入る確認	率」の												
	可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善			象に試行】【H2	9年度出水期~】		示する。 ・令和元年から危険度分布 直轄河川において浸水想 域の重ね合わせて表示す	市に国 ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	発達する熱帯低気圧の段! らの提供を開始(水戸・銚子	皆か -)												
							改善。 ・令和2年から本川の増水	に起														
		・ホットラインの実施体制を確・	R3年度 ·R7年	度			田才2由北江聚/泔水利/	Σup ≠k														#

	4X 7 144 7 1X 1011														•	:実施済み、〇:実施中(検討中を含む)、		lみを継続、	×:実施していない、 ■	:対象外
頁目 事項	内容	実施内容	整 実施期間 着手 完了	実施内容	実施期間	気象庁 R2年度実績	実施状況 R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期		茨城県 R2年度実績 実	施状况 R34	年度実績 3	実施状況	実施内容	実施期間	千葉県 R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況
(3)防	災教育や防災知識の普及		相子 元]		相子 元]	<u> </u>				相丁	π. ј		<u> </u>				相子 光]				<u> </u>
	①水災害に事前準備に関する問い 合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	•H28年度 •R7年度	・問い合わせ窓口の対応への サポート	•H28年度 •R7年度	・問い合わせ窓口を設置しているが、現時点においてサポートは生じていない(水戸・銚子)	● ・問い合わせ窓口を設置しているが、現時点においてサポートは生じていない(水戸・銚子)	•	問い合わせ窓口を設置する	•H28年度 •F		・問合せ内容に応じて、関係部 署が適宜対応した。	● ・問合せ内容 署が適宜対応	ドに応じて、関係部 応した。	0	・設置予定なし					
	②水防災に関する説明会の開催	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	•H28年度 •R7年度	- 関係機関と連携し、効果的な 対応を検討する	•H28年度 •R7年度	環係機能と重要した防災対応を行うため、毎年は機能と重要した防災対応を行うため、毎年は機能に多数改選を会を開催しているが、今和2年度は書面開発とから北米戸・地域住民を対象として、次級県・防災士会公公条・毎日会と供加で気象を予日士会と開で、の意意事項について、リモート会議について、リモート会議について、リモート会議に対した台域に行いたが、リモート会議に対した。	うため、毎年出水期前に防災気象 連絡会シリモ・開催化アリ ・地域住民を対象として、茨城県・ 防災士会及び高東・朝士会と共同 で気象庁ワークションを開催水 戸) ・台風の推近に伴う影響や防災上 の密章事道について、リモート会議	3	市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	·H28年度 ·F		水裏の危険性が高い簡所を有する。 地域で住民避難力強化事業を 実施(現金体12市町の住民に 対11、19回案施・令後未継続) 前災啓発イベント(いばらき学 正うとい)を開催(今後も継続)	する生産・ では、	住民や小中学生、 を対象としたマイタ 成議座を後も継続。 を後も継続。 危機管理課 かけけ 団体における研少 神権(WEB開催) 来序した小学生に ボットペッパーとた。 遠漢座を開催した。	•	-市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	*H28年度 *R7年度	- 常陵川水門現地見学会に∜ 加【H29】		・市町村防災担当者向けの説明会の開催した。 ・売の開催した。 ・売の開催した。 ・売の開催した。 気象 ワークションプ及び意見交換会 を実施した。	0
-	③教員を対象とした講習会の実施	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	·H28年度 •R7年度	・教育委員会と連携し、効果的 な対応を検討する	·H28年度 ·R7年度	・学校に職員を派遣して、教員 を対象とした防災に関する講習 会を実施している(水戸・銚子)			市町村の要請により出前講座 専を積極的に行っていく。	·H28年度 ·F		・五震町の小中学校教員を対象に実施した。 県内の教員を対象とした講習 会の実施に向け調整中		3)今後も継続)		・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	・H28年度 ・R7年度	・防災教育実践研修会(管理対象の部)において、銚子情 気象台の火長から防災情報 活用について」の研修資料を 供いただき、書面開催で研修 実施することで、各学校に る防災教育の推進を図る。	方 限の :提 ※を	・防災教育実践研修会(管理職対象の部)において、銚子地方対象の部とおいて、銚子地方対象を分して、大きなでは情報の活用について」の研修資料を提供いただき、書面開催で研修を実施することで、各学校における防災教育の推進を図った。	
	④小学生を対象とした防災教育の 実施	・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	•H28年度 •R7年度	・教育委員会と連携し、効果的 な対応を検討する		・小学校に職員を派遣して、防災に関する講演を実施している (水戸・銚子) ・小学生による気象台の見学を 受け入れ、気象や防災に関して 説明を行っている(水戸・銚子) ・リモート会議システムを活用し た議演への対応を開始した。	モートで防災に関する講演を実施しているが決定。 施しているが、サービー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく。	•H28年度 •F		・一斉避難訓練時に防災教育を 実施済み 県庁見学のため来庁した小学 生に対し防災教育を実施した (今後も継続)	•			・市町村の要請により出前講座 等を積極的に行っていく	•H28年度 •R7年度	(B27) (防災意識高揚のための啓動画」を活用して啓発を行っている。		【R31 ・「防災意識高揚のための啓発 動画」を活用して啓発を行った。	Δ
	⑤出前講座等を活用した講習会の 実施	・要請により出前講座等を積極 的に行っていく	·H28年度 •R7年度	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	•H28年度 •R7年度	(水戸) ・市民講座等の催しに職員を派遣して、講習会を実施している (水戸・銚子) ・対面による講演のほか、リ モート会議システムを活用した 講演も実施した。(水戸)	・市民講座等の催しに職員を派遣して、諸智会を実施している (水戸・銚子) ・対面による講演のほか、リモート会議システムを活用した 請演も実施した。(水戸)	Á.	要請により出前講座等を積極 的に行っていく。 住民避難力強化事業(マイマ・ ブ、マイ・タイムラインの作成等 の開催	ッ・H29年度			する 防災・1 民生安員等8 イムライン作	施 一	•	・要請により出前講座等を積極 的に行っていく	•H28年度 •R7年度	・実施に向けた取り組みを継・要請がなかったため実施な		・要請がなかったため実施なし	Δ
- (⑥プッシュ型の洪水予報等の情報 発信	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	•H28年度 •R7年度					4	プッシュ型の洪水予報等の情 服発信 情報入手方法などの周知	•H28年度 •F	77年度	防災情報メール等の登録促進		ール等の登録促進 危機管理課	0	・設置予定なし					
4	⑦水位計やライブカメラ等の情報を リアルタイムで提供	ホームページやスマートフォンなどに水位計やライブカメラの 情報をリアルタイムで提供する	·H28年度 •R7年度					l t	ホームページやスマートフォン などに水位計やライブカメラの 青報をリアルタイムで提供す る。	・H28年度 ・F		水位計(危機管理型を含む)や カメラ(CCTV、簡易型)の増設 を実施し、ホームページによりリ アルタイムでの情報提供の拡充 を図った。	● ・ホームペー 更し、直感的 うに図った。	ジのトップ画面を変 な操作ができるよ	0	・設置予定なし					
	⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	・操作規則作成に必要な情報の 提供及び支援 ・履行検査における周知) •H28年度 •R7年度					A	要請により出前講座等を積極 内に行っていく。	•H28年度 •F		実施に向けた取り組みを継続	△・実施に向け	た取り組みを継続	Δ	・実施予定なし					
フト対策	度の主な取組 ②洪水氾濫に	よる被害の軽減、避難時	間の確保のための	水防活動の取組		!						<u> </u>	*								
(1)よ	り効果的な水防活動の実施	及び水防体制の強化																			
	①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施																				
	②水防団同士の連絡体制の確保 ③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同 点検	を実施	•H28年度 •R7年度	・毎年、河川事務所が実施する 重要水防箇所等の共同点検に 参加していく	・H29年度 ・R7年度	・令和2年度は参加対応なし (水戸・銚子)	△ ・令和3年度は参加対応なし (水戸・銚子)	đ (:	人員不足、多くの対象箇所が あることなどから取り組み方法 こついては、今後検討していく 必要がある。			・河川事務所が実施する共同点 接に毎年参加している。 県管理河川において実施する 減災対策協議会で、市町村と共 同した点検方法等について検 討を進める。	検に毎年参加 ・県管理河川 減災対策協調	加している。 において実施する 議会で、市町村と共 法等について検	0	・国が実施する共同点検への参加	・H28年度 ・R7年度	・国が実施する共同点検へ参	→ ○	・国が実施する共同点検へ参加 した。	0
	④関係機関が連携した実働水防訓 緑の実施	・水防管理団体が行う訓練への 参加	・H28年度 ・R7年度	・水防管理団体が行う訓練への 参加、支援) ·H28年度 ·R7年度	・令和2年度は参加実績なし (水戸・銚子)	△ ・令和3年度は参加対応なし (水戸・銚子)	Δ •	水防管理団体が行う訓練への 参加	•H28.5 •F	77年度	・水防管理団体が行う訓練へ、 参加した。	・水防管理団参加した。	体が行う訓練へ、	0	・水防管理団体が行う訓練への 参加【毎年】	•H28年度 •R7年度	・水防管理団体が行う訓練へ加 ・会同水防訓練の実施(香取 ・新型コロナウイルス感染症 ・新型コロナウイルス感染症	± 0 ø	・水防訓練については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止となった。	0
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進 ⑥地域の建設業者による水防支援																				
-	体制の検討・構築 ⑦内水被害危険箇所の把握及び							·	内水被害危険箇所に関して関 大機関と情報の共有化を図って	·H28年度 ·F	77年度	・水害統計調査により、市町村 との情報共有を図った。	・水害統計調との情報共有	査により、市町村 すを図った。	0	・関係自治体と情報共有してい く	•H28年度 •R7年度	*実施に向けた取り組みを継・関係市と浸水被害箇所の情 共有を行った。	続 △ 青報	・関係市と浸水被害箇所の情報 共有を行った。	Δ
-	情報共有 ③重要水防箇所の見直し及び水防 資機材の確認								・、、。 重要水防箇所・水防資機材等 の共同点検を実施。	•R3年度 •F	77年度		見直しを実施・水防資機材	を確認し、不足箇	0	・重要水防箇所・水防資機材等 の共同点検を実施。	•R3年度 •R7年度			・重要水防箇所の確認を行った。 ・水防資器材の点検を実施し	0
	③水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)												所へは補充す	を行った。						<i>t</i> =.	
	⑩水防訓練の充実							ħ	実践的な水防訓練の検討、実 疱	·R3年度 ·F	77年度		県管理河川 情報伝達訓 演習の実施	棟及び洪水対応	0	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度 •R7年度			・情報伝達訓練を実施 ・水防訓練については、新型コロナ感染症の感染防止のため、中止となった。	0
	⑪水防関係者間での連携、協力に 関する検討								広域的、効率的な水防活動の 実施に向けた関係者との連携、 âカ		77年度		取り組み内容	字の検討	0	・広域的、効率的な水防活動の 実施に向けた関係者との連携、 協力	•R3年度 •R7年度			・香取地区水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。	0
	度の主な取組 ③一刻も早い		動の回復を可能と	するための排水活動の取	組															<u> </u>	
	:水計画(案)の作成及び排水 ①排水機場・樋門・水門等の情報 共有、排水手法等の検討を行い、 大規模水害を想定した排水計画	・排水ポンプの設置簡所の選定	? ・H28年度 ・R7年度	・排水ポンプの設置個所の選定 まで行った排水計画(案)の作 成への協力	: H28年度 -R7年度	・現時点において、作成への協 力作業は生じていない(水戸・鎖 子)	△ ・現時点において、作成への協 力作業は生じていない(水戸・銚 子)	ķ ^	作成に必要な情報の提供	•H28年度 •F	77年度	実施に向けた取り組みを継続	・実施に向け	た取り組みを継続	Δ	・作成に必要な情報の提供	・H28年度 ・R7年度	*実施に向けた取り組みを継 ・関係機関から作成に伴う協 要請がなかった。	続 △ 3カ	・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	Δ
	(案)の作成 ②排水訓練の実施	・水防訓練と同様に各自治体持 ち回りで実施する	+H28年度 +R7年度	・自治体訓練への支援	•H28年度 •R7年度	・現時点において、訓練への支援作業は生じていない(水戸・鎖子)	△ ・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・銚子)	<u> </u>	関係自治体が実施する訓練へ D参加	、 •H28年度 •F		・河川事務所が実施する排水ボンブ車の操作訓練へ参加し、技 術の習得をした。		f訓練へ参加し. 技		・関係自治体が実施する訓練へ の参加	· H28年度 · R7年度	*実施に向けた取り組みを継 ・排水計画が作成されていな ため、訓練を実施していない	L)	・関係機関における緊急排水計 画の作成されていないため、訓 練を実施していない。	
	③内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	・作成に必要な情報の提供及び 支援	·H28年度 ·R7年度	・排水計画(案)作成への支援	•H28年度 •R7年度	・現時点において、作成への協 力作業は生じていない(水戸・釧 子)	△ ・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・銚子)	Δ -	作成に必要な情報の提供	•H28年度 •F	77年度	実施に向けた取り組みを継続	△・実施に向け	た取り組みを継続	Δ	・作成に必要な情報の提供	•H28年度 •R7年度	*実施に向けた取り組みを継・関係機関から作成に伴う協要請がなかった。		・関係機関から作成に伴う協力 要請がなかった。	Δ
	④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度 •R7年度													*排水設備の耐水化 ・対象施設がないため、対象外	•R3年度 •R7年度			・対象施設がないため、対象外	
	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度 •R7年度	・作成に必要な情報の提供	•R3年度 •R7年度		・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・銚子)		作成に必要な情報の提供	·R3年度 ·F	77年度		・実施に向け	た取り組みを継続	Δ	・作成に必要な情報の提供	•R3年度 •R7年度			・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	Δ

OR3取り組み状況について(個票)2/6

内容	事物中命	実施期間	土浦市	宇体化記 こったさ	-	- 0:44:4	≥ttcrts pin	実施期間	石岡市	中华华.5	D0左击中4*	中长4.55	安松市市	実施期	間	D0年度中华	200年中中华		+10	3	施期間		嶋市 麻宝徒	中性化中	D2左左中华
策の主な取組	実施内容	着手 完了	R2年度実績	実施状況 R3年度	美額	実施状況 実	『施内容 -	着手 完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	着手	完了	R2年度実績	R3年度実績	実施も	実施内容	着	手 完了	R2年月	度実績	実施状況	R3年度実績
^{末の主な取組} 水を河川内で安全に流す対策																									
①優先的に実施する堤防整備																									
②優先的に実施する波浪対策																									
③危機管理型ハード対策																									
建難行動、水防活動、排水活動	hI- 済する其般等の整備																								
①雨量・水位等の観測データ及び	川こ貝する季盛寺の柴浦																								
洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の整備																									
	・一部のアナログ波防災無線 を、H28〜H29にかけてデジタル 化する	-H28年度 H29年度	市内全域の防災無線のデジタ ル化済(H29年度)	● 市内全域の防災 ル化済(H29年度	無線のデジタ	● ・既設アナロー ジタル化の核	ログ波防災無線のデ 検討	-H28年度 R7年度	・検討委員会でデジタル化及び 戸別受信機による多重化に向	υ • ·I ±	・防災ラジオを市内の希望した 世帯や事業所等に貸与した。	•	・アナログからデジタルに切り え予定(R2年度より実施・設計	替 · R2年度 · F	ジタル化	化整備を実施する業者	防災行政無線について ジタル化整備工事が終 ない。	した。	改良済み		年度 R7年度	ている聴覚障が	がい者又は視覚	てい	体障害者手帳の交付: いる聴覚障がい者又に
2 ②防災行政無線の改良、防災ラジ	169 0								けた方針を決定した ・戸別受信機の配布方法の検 討を行った。	•			R3~R4年度工事(この期間は 工事期間の為、アナログ無線、 デジタル無線を同時並行で稼	=	施中。	どが終わり、整備工事を実	・防災ラジオについては 状況を見ながら必要に応 計する。	じて検	ている聴覚障がい者3 障がい者の属する世	は視覚		障がい者の属す 者に対し、引き 防災行政無線の	続き音声放送や の内容を見ること	者に防災	がい者の属する世帯の に対し、引き続き音声 災行政無線の内容を!
才等の配布									・防災行政無線の更新を行っ	•			動))。 ・防災ラジオについては防災無 線のデジタル化の後に検討を	ŧ					者に対し、音声放送や 政無線の内容を見る。 る、ディスプレイ機能が	とができ		ができる。ディス る戸別受信機を 事施	スプレイ機能があ を無償で貸出を	がてる戸	できる. ディスプレイを ヨ別受信機を無償で:
									・防災ラジオを市内の希望した 全世帯に貸与した。	=			行う						別受信機を無償で貸出	を実施		大肥		大 师	ing.
ě	・水防団員の安全を確保するた め、資機材等の充実を図る	・H28年度 R7年度	・消防団員用安全管理資機材 (ライフジャケット)配備済み	 ・消防団員用安全 (ライフジャケット ボート1艇 	全管理資機材)配備済み	● ・水防団員の め、資機材等	D安全を確保するた ・ 等の充実を図る	·H29年度 -R7年度	・トランシーバーを2台配備	◆ .:	・各分団にトランシーバーや雨 衣を配備済み	•	・稲敷広域消防本部と連携した がら水防資機材等の配備を検 計する	·H28年度 ·F	7年度 ·新技術 情報収録 系演会。	術を用いた水防資機材の 2集については利根川水 1・総合水防演習におい	○ ドローンを保有する会社 協定を結び、災害時に活 る体制を整備した。	:災害 〇 用でき	 ・水防団(消防団員)の 確保するための資機材を図った 	安全を ·H28 fの充実	年度 R7年度	水防団(消防団 保するため、救 を配布	員)の安全を確 (命胴衣、無線機	● 水防 のた 配布	防団(消防団員)の記 ため防寒着、ホットベ 布
③水防活動を支援するための新技				救命胴衣6着 排水ポンプ1台									שילום		て、水防 法に取り	防団員が水嚢を用いた工 以組み、また各河川事務	シドのと正摘した。		E IOI 3/2			E HL/11		HL-11	1110
術を活用した水防資機材等の配備				切創防止要保護 耐切創性手袋63 防塵メガネ											所が開作 察に参加 努めた	間催した水嚢工法現地視 か加するなど情報収集に									
				防塵マスク を追加配備(R4.2	2.8)										3,071	•									
④簡易水位計や量水標、CCTVカメ・	・既存水位計を活用する。 ・POTEKA等の新規システム	·H28年度 ·R7年度	・POTEKA等導入済み自治体 に対しての聞き取り調査を実施	O ・POTEKA等導 に対しての聞き取		О •РОТЕКАФ)導入 ・	·H28年度 ·R7年度	・POTEKA導入済み自治体に 対しての聞き取り調査を実施		・設置済みのPOTEKAを活用	•	・小貝川に簡易水位計設置を 土交通省に要望している。	国 -H30年度 -F	13年度 ・県に要 所(新利	要望した結果, 市内3箇 利根川, 大正堀川, 小野	 ● ・R2年度に県へ要望し、 箇所(新利根川、大正場 	5内3 ● 川. 小	・国及び県が設置して の設備を活用出来るが	ハる既存 - H28 め、新た	年度·R7年月	Ē			
ラ等の設置	こついて導入を検討する	. U20 年度 D3 年本		実施済み			所は地区外のため・	-U20年中 P=	・POTEKAを市内5箇所に設置				・県管理河川に危機管理型水 位計設置を茨城県に要望する・新庁舎における耐水対策とし	-H30年度	川)に簡	簡易水位計を設置した。	野川)に簡易水位計を設 た。	置し	な設置は今のところ考 い	えていな					
⑤浸水時においても災害対応を継 続するための施設の整備及び自家	・実施済み	-H28年度 R7年度		天肥済か		● ・庁舎・避難F 対象なし	1771は481益グトリノたの・・	1120年度 *K/年度				$/$	・新庁舎における耐水対策として、自家発電装置のかさ上げ実施	-nz8年度 F	w+皮 ・H28.6.3 家発電報 本庁舎	3.30に耐水対策として目 登装置のかさ上げを行った F附属棟を新設した。	 H28.6.30に耐水対策と 家発電装置のかさ上げ。 本庁舎附属棟を新設した 	行った	・庁舎が浸水想定区均対象なし	71 C007					
発電装置等の耐水化	内水ハザードマップを作成して	·H28年度 ·R7年度	・内水ハザードマップ作成済み	● ・内水ハザードマ	ップ作成済み	場水機場の	の有効活用のほか、・	-H28年度 -R7年度	・排水ポンプを2台配備	/ •	・機場に排水ボンブ1台増設	/ •	・排水ポンプの保守点検の実施、水・ポンプの準備	·H28年度 ·F		において、内水氾濫の発生し こついては、倒溝の改修やポン 整備を行った	● ・排水ポンプの保守点検の実			地区へ、・H28	年度 R7年度		被害個所の対応	● 消取	防団による内水被害
(⑥内水被害危険箇所の対策、排水 ポンプの準備	おり、局地的大雨等の発生時に 巡回・点検を実施		- 災害時の巡視を継続実施	- 災害時の巡視を	経続実施	危険箇所へ持	排水ポンプ(マン ブ等)を導入する						・常総市八間堀川の内水氾濫(平成: 年10月台風21号)を教訓に既存のタ・ ムラインの追加改訂検討中	9 H29年度	ブ場の整・設置予算	を備を行った 定貯留管2台のうちの1台を設	0		廃車した消防車両のオ 水ボンプとして準備す 年度)	ンプを排 る。(H28		を実施		点核	検・パトロール等の実
ホンノの牛im													ムラインの追加改訂検討中 ・佐貫駅周辺に内水氾濫防止用の貯留槽の整備中	-H29年度	直じた。				消防団が内水被害個 を実施している	折の対応					
⑦重要インフラの機能確保を図るた 3	・重要施設の雨水排水整備の 実施	·R3年度 ·R7年度		実施に向けた取	り組みを継続	● ・重要施設の 実施	の雨水排水整備の・	·R3年度 ·R7年度			・実施に向けた取り組みを継続	Δ							・重要施設の雨水排が 実施	整備の -R3年	度 ·R7年月	Ē			
め、病院、市役所など重要施設の 雨水排水整備の実施																									
⑧河川防災ステーションの整備																									
9庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対 策用通信機器の増強等	·R3年度 ·R7年度		MCA無線からIPs (R2~)		● ・防災拠点の 策用通信機	D停電対策、災害対・ 器の増強等	·R3年度 ·R7年度		-1	・IP無線を5台増台(計57台)	•	防災拠点の災害対策用備品 や機器の増強等	-R3年度 -F	3年度		市内地図パネルを防災設置した。	点に	防災拠点の停電対策策用通信機器の増強	、災害対 ·R3年 等	度 ·R7年月	Ē			
				引き続き通信設(けた取り組みを組																					
			土浦市						石岡市							龍ケ崎市			ı			廉 』	嶋市		
内容																DE 7							-140 - 12		
	実施内容	実施期間	R2年度実績	実施状況 R3年度	変 実 実 実 実 実	実施状況 実	能内容	実施期間	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期		R2年度実績	E施状況 R3年度実績	実施も	大況 実施内容		実施期間		度実績	実施状況	R3年度実績
まの主な取組 ①逃げ遅れゼロ		着手 完了		実施状況 R3年月	E実績 実	実施状況 実	ミ施内容	実施期間		実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期 着手		R2年度実績	R3年度実績	実施も	実施内容		関連 関		度実績	実施状況	R3年度実績
策の主な取組 ①逃げ遅れゼ な域避難を考慮したハザードマ	口に向けた迅速かつ的確	着手 完了		実施状況 R3年月	E実績 実	実施状況 実	尾施内容			実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容			R2年度実績	R3年度実績	実施も	^{扶況} 実施内容				度実績	実施状況	R3年度実績
	口に向けた迅速かつ的確	着手 完了		実施状況 R3年月	要実績実	実施状況 実	E施内容			実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容			R2年度実績	kb.tk况 R3年度実績	実施も	実施内容				度実績	実施状況	R3年度実績
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫	口に向けた迅速かつ的確認	着手 完了		実施状況 R3年度	要	実施状況 実	尾施内容 -			実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容			R2年度実績	R3年度実績	実施も	実施内容				度実績	実施状況	R3年度実績
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表	ロに向けた迅速かつ的確 ップの作成・周知等	着手 完了				△ ・協議会の中	中で広域避難計画・	着手 完了			R3年度実績	ξ Δ	·現在. 小貝川· 利根川洗水道	着手	完了	川- 利模川洪水避難計画	● R2年度に小貝川・利根	洪水 ●	・協議会の中で広域を	着	手「完了	R2年原			
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレー・ションの公表	ロに向けた迅速かつ的確 ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である が、災害協定を結べている自治 体への受け入れる意識に悪さ	着手 完了	の取組				中で広域避難計画・	着手 完了	R2年度実績			ŧΔ	·現在,小貝川· 利根川洗水遊 雌計圖を派定中 - 鬼窓川· 小貝川流域減災対対	着手 -H28年度 -F	完了 3年度 ·小貝川	III・利模川洪水遊難計画 した。		洪水 ●		着	手「完了	R2年原			
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の必要 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公奏	ロに向けた迅速かつ的確 ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である が、災害協定を結んでいる自治	着手 完了	の取組			△ ・協議会の中	中で広域避難計画・	着手 完了	R2年度実績			₹ A	·現在. 小貝川·利根川洗水遊難計画を管定中	着手 -H28年度 -F	第一章 ·小貝川 老策定迎 地方広は に関射計	III・利根川浜水湿麹計画 した。 起麹の一端として、稲敷 域形の一端として、稲敷 域市の上では る災害協定を轄び、広域 画を策定した。	● R2年度に小買川・利棚 避難計画と広域避難計 ● 定済み。	洪水 ●	・協議会の中で広域を	着	手「完了	R2年原			
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表	ロに向けた迅速かつ的確 ップの作成・周知等 ・広域避難計画は末作成である が、災害協定を結めている自治 体への受け入れを念頭に置き つつ、新なな自体との協定機	着手 完了	の取組			△ ・協議会の中	中で広域避難計画・	着手 完了	R2年度実績			₹ A	·現在,小貝川·和根川洗水避 難計斷を策定中 県窓川·小貝川環域災対 低議会の中で広延避難計画	着手 -H28年度 -F	完了 -小貝川 - 多策定 - 地方広は - に関す - 鬼型 - 鬼密川 - 免の - のの	III・利根川洪水避難計画 した。 延韓の一端として、稲敷 域市市村圏で相互応提 る災害協定を結び、広域	● R2年度に小夏川·利根 避難計画と広ば避難計	洪水 ●	・協議会の中で広域を	着	手「完了	R2年原			
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定	ロに向けた迅速かつ的確 ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である が、災害協定を絡んでいる自治 体へのまける社を必断に置き つ、数ける自治体との協定結 結を検討する	着手 完了 な避難行動のため	の取組 -実施に向けた取り組みを継続 -浸水型定区域の見直しに伴	△ ·実施に向けた助 - ・実施に向けた助 - ・浸水想定区域	り組みを継続	△ ・協議会の中 (梁)を策定す	中で広域避難計画する	着手 完了 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 - 実施に向けた取り組みを継続 - 実施に向けた取り組みを継続	ē Δ ·:	・実施に向けた取り組みを継続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Δ	・現在・小園川・料根川洗水ဆ 難計画を策定中 ・現窓川・小夏川流域線災対域 協議者の中では城避難計画 (条)を策定する ・関東地撃において、大規模派	着手 -H28年度 -F	23年度 ・小貝川に 水気 定記 に関する ・小貝川に 水気 定記 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	川・料根川洪水避難計画 した。 起移の一端として、稲敷 は城市町村圏で相互の段 ・図を高速とためび、広城 ・囲と第20と ・図を発展となる。 ・図を発展となる。 ・図を発展となる。 ・図を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	● R2年度に小夏川・利根 避難計画と広境避難計 ・ 定済み。	洪水・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 協議会の中で広域差 (案)を策定する - 想定最大規模降雨!	着 着	手 完了	R2年見	収組みを継続	△ 実施	施に向けた取組みを
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定	ロに向けた迅速かつ的確 ップの作成・周知等 ップの作成・周知等 ・広域避難計開は未作成である が、災害協定を終くている自治 ・災害協定を終くている自治 ・フ、新たな自治体との協定締 結を検討する ・投変最大規模勝而における派 水を分像に、広域避難計画を反 株と方後が、一学でツアを第	着手 完了 な避難行動のため	の取組 -実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた軌	り組みを継続 P見直しに伴 マップを改定	 △ ・協議会の中(案)を策定: ● 想定最大規定 水を対象に、 	中で広域避難計画・する	着手 完了 -H29年度 -R7年度	R2年度実績 R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続	表 △ ・:・:・:・:・:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:	・実施に向けた取り組みを編材 ・漫水等定区域の見直しに伴 3、沸水パザードマップを改定 するため展別川線と打ち合わけ を行った。	Δ Δ	・現在、小貝川・利根川浜水道 贈計部を策定中 実際川・小貝川売味減災対 協議をの中で広味避難計画 (策)を策定する	着手 -H28年度 -F	空年度 ・小泉川 を策定と ・小泉川 ・小泉川 ・小泉川 ・小泉川 ・小泉川 ・小泉川 ・・・・・・・・・・	川・利根川浜水避難計画 した。 起数の一端として、和数 域市市村圏で相互応援 の災害協定を述い、広域 画を策定した。 川・利根川辺分繁協議 を策定した。 川・利根川の最新の澄水 が頭の差払市で発行し 防災の手引きハ・ザード を見直し、全戸配布し	● R2年度に小夏川・利棚 避難計画と広味避難計 ・ 定済み。	洗水 ● でない ● でない ●	・協議会の中で広域是 (案)を策定する	着 難計画 -H29 おける漢 -H29 計画を反	手 完了	展2年 原 ・	収組みを継続 マップの見直しの配布体構及が8、作合等、公共により、今日本	● · 各	施に向けた取組みを ・種ハザードマップの ・長への配布依頼及 ・図書館・庁舎等・公 の配架し、市内等・公
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 3.広域避難計画の策定	ロに向けた迅速かつ的確 ップの作成・周知等 ップの作成・周知等 ・広域避難計開は未作成である が、災害協定を終っている自治 ・災害協定を終っている自治 ・フ、新たな自治体との協定締 結を検討する ・投変最大規模勝所における派 水を分像に、広域避難計画を反 水と対象が、一学でツアを第	着手 完了 な避難行動のため	の取組 -実施に向けた取り組みを継続 -実施に向けた取り組みを継続 (没水粉定区域の見直しに作し、洪水パゲードマップを改定	 → 実施に向けた事 → 実施に向けた事 → : 深水想定区域。 ム、洗水パザード 	り組みを継続 P見直しに伴 マップを改定	△ ・協議会の中 (案)を策定す ・	中で広域避難計画 する 様降雨における浜 広域避難計画を反	着手 完了 -H29年度 -R7年度	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続	- 全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水器変医域の景直には伴 い、濃水がサードマップを改定	Δ Δ	・現在、小貝川・科根川浜水道 維計能を策定中 県窓川・小貝川県域域災対 協議会の中で広域差難計画 策)を策定する ・間東地撃において、大規模、 ※ 影響を広域更直後、 洗水ハ	着手 -H28年度 -F	完了 の	III・利根川浜水運賃計画 した。 駆動の一端として、稲敷 域市市村圏で相互応援 高の資富版を述い、広域 画を策定した。 III・利用減災対策協議 で茨城集主導で広域差 を策定した。 II・利相川の最新の澄水 誘災の事目きい・ザード を見慮し、全戸配布し 304) ツザードマンブ周知説明	R2年度に小夏川・利根 避難計画と広域避難計 定済み。 ・市広報館に、市が発行 る防災の手引きハザー	洗水 ● でない ● でない ●	・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・型定最大規模降雨! 水を対象に、広域差別 映た:法水が一ドマ	着 難計画 -H29 おける漢 -H29 計画を反	手 完了	R2年月 度 実施に向けた取 度 ・	収組みを継続 マップの見直しの配布体構及が8、作合等、公共により、今日本	● · 各	施に向けた取組みを 種ハザードマップの 長への配布依頼の 豊か、庁舎等、公
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定	ロに向けた迅速かつ的確, ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である が、災害協定を結べている自治 体への受け入れる急減に置き ・一つ、新たな自治体との協定締 能を検討する。 ・型定最大規模降雨における浜 水を対象に、広域避難計画を 決した洗水ハザードマップを策 定する	着手 完了 な避難行動のため	の取組 -実施に向けた取り組みを継続 -浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水いザードマップを改定 し、市内全戸に配布する	 → 実施に向けた助 ・浸水想定区域い、洗水ハザーし、市内全戸に直 	以組みを継続 り見直し「伴 マップを改定 布する	△ ・協議会の中 (案)を策定・ 型定最大規 水を対象に、 映した規本	中で広域避難計画 する 機降雨における浅 、広域避難計画を反 いザードマップを策	着手 完了	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ・洗水ハザードマップを策定・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討	± ∆	・現在、小貝川・利根川洪水道 贈計園を策定中 実施別・小貝川洗城減災対対 協議参の中で広域差難計画 (素)を策定する 場下である。 ・関東地撃において、大規模派 当を正成現見直、後、洗水ハ ザードマップを策定	着手	完了 33年度 ・小貝児 地方なな ・広域を ・広域を ・大型 ・大型 ・大型 ・大型 ・大型 ・大型 ・大型 ・大型	川・利根川浜水型雑計画 した。 型域の一端として、和数 域が南外村面で相互応圧域 の大き物を必要がある。 が大きないで、 川・小良川湾災労策協議 を策定し、 ボリーの最新の浸水 域図を基にするで、 が成の手引をハッザード 2004 ドマップ風知説明 、ハザードマップ風知説明 、ハザードマップの活用 こいて協議会関係者に た。(1938)	● R2年度に小買川・利根 避難計画と広味避難計画と広味避難計 定済み。 ・ 市広報紙に、市が発行 る防災の手引き(ハザーブ)について掲載し、周9	漢水 ● で変変を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変	・協議会の中で広域是 (集)を策定する ・想定最大規模降雨: 水を対象に、広域過期 映した洪水ハザードマ 直しをする	着 計画・H29 おける県・H29 おける県・H29 かかった	手 完了	・洪水ハザードの公民の書館である。 東施に向けた耶 デアで、区長の銀道 一般説への設置で 象に配布した。	収組みを継続 マップの見直し の配布依頼及び 気・庁舎等、公共 により、全戸を対	● · 各 実施 ・	施に向けた取植みを 機ハザードマップ及 長への配布体額及 関書館、庁舎等、公 の配解し、市内全域・ 布内全域・
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定	ロに向けた迅速かつ的確, ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である が、災害協定を結べている自治 体への受け入れる急減に置き ・一つ、新たな自治体との協定締 能を検討する。 ・型定最大規模降雨における浜 水を対象に、広域避難計画を 決した洗水ハザードマップを策 定する	着手 完了 な避難行動のため	の取組 -実施に向けた取り組みを継続 -実施に向けた取り組みを継続 (没水粉定区域の見直しに作し、洪水パゲードマップを改定	 → 実施に向けた助 ・浸水想定区域い、洗水ハザーし、市内全戸に直 	以組みを継続 り見直し「伴 マップを改定 布する	△ ・協議会の中 (案)を策定・ 型定最大規 水を対象に、 映した規本	中で広域運難計画 する 模障雨における洗 広域避難計画を反 、ヴードマップを集	着手 完了	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水響変医域の見画しに伴 も、満水ハザードマップを改定 するため県河川線と打ちを対 を行った。	± ∆	・現在、小具川・科様川流水差 難計画を第定中 ・契約11・小具川川環域災対 協議会の中で広転避難計画 (案)を策定する ・関東地整において、大規様派 ・歴史を延収見直し後、洗水ハ ザードマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 組み中	着手 - H28年度 - F - H28年度 - F - H29年度 - F	完了 ・	III・利根川洪水避難計画 した。 塩は市の十個として、和敷 域市市村圏で相互応理 る災害協定を拡大。広域 ・III・小貝川減少対策協議 で茨城県主導で広域差 を策定した。 III・利根川の最新の浸水 域図を基に市で発行し がそ見慮し、全戸配布し のサードマップ風の活用 ・フいて協議機関を書に ・こいて協議機関者に ・こいて協議機関者に ・こいて協議機関者に ・こいて協議機関者に ・こった。 (1808) のと地区(大変間地区・長 ・フ・世級・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・		でである。	・協議会の中で広境差 (案)を策定する ・想定最大規模降雨 ・水を対象に、広場直割 映した洪水ハザードマ 直しをする	着 新計る演・H29 おける演・H29 お前を見 プグの見	手 完了	・洪水ハザードの公民の書館である。 東施に向けた耶 デアで、区長の銀道 一般説への設置で 象に配布した。	収組みを継続 マップの見直し の配布体等、公共 により、全戸を対	◆ · 冬豆 · 飲 ·	施に向けた取組みを ・種ハザードマップの ・長への配布体解及・ ・図書館、庁舎等・2の記架し、市内全域・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定	ロに向けた迅速かつ的確, ップの作成・周知等 "広域避難計画は未作成であるが、災害値定を結べている自治体への受け入れるを調に置きつつ、新たな自治体との協定締結を検討する。 ・想定量大規模降雨における浜 水を対象に、広域避難計画を反 決した浜水ハザードマップを策 定する。	着手 完了 な避難行動のため	の取組 -実施に向けた取り組みを継続 -浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水いザードマップを改定 し、市内全戸に配布する	 → 実施に向けた助 ・浸水想定区域い、洗水ハザーし、市内全戸に直 	以組みを継続 り見直し「伴 マップを改定 布する	△ ・協議会の中 (案)を策定: ■ 想定最大規 、水を対応、 次と対応、 次と対応、 次と対応、 次とが (表) が、 (元) が、	中で広域運難計画 する 模障雨における洗 広域避難計画を反 、ヴードマップを集	着手 完了	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ・洗水ハザードマップを策定・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討	tt A	・現在・小園川・科棚川洗水遊 連計部を第字中 ・男名川・小園川県域減災対 (施金の中で広転避難計画 (楽)を策定する と第定する と第定が見るし後、淡水ハ ザードマップを策定 場名中 ・地區防災計画策定に向け取 組み中 ・大規模記を区域見面し後、淡水 ・大規模記を区域見面し後、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	差手	完了 ・	川・利根川洗水差離計画 にた。 起報の一端として、細数 は赤す料態では正応援 る災害協定を結び、広域 耐を策定した。 川・小貝川減災外策協議 を策定した。 川・利根川の最新の浸水 域図を基したが発行し、 が製の手見たが手に が見た。 いがサイマンプ層知説明 ハゲードマンプ周知説明 ハゲードマンプ周知説明 の2・4度(行文附地区・長 でを反応(行文附地区・長 でを反応(行文附地区・長 でを経済が計画の策 を密定が、対策が、できた。 を変して、一般の第 の2・4度の第 をを変して、一般の第 の2・4度の第 を変して、一般の第 を表する。 は、一般のでは、 は、 の2・4度のでは、 は、 の3・4 は、 の4 は、 の5 は、 の6 は、 の7 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の7 は、 の8 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は、 の7 は の7 の7 は の7 の7 は の7	● RZ年度に小買川・利根 避難計画と広味避難計 定済み。 ・市広報紙に、市が発行 る防災の手引き(ハザーブ)について掲載し、周が	派水 ● 「ない」 ● 「ない	・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・規定最大規模降前 対を上流は、広域通 域とた法が、バゲードマ 直しをする	着 新計る演・H29 おける演・H29 お前を見 プグの見	手 完了	東施に向けた取 東施に向けた取 東施の日から、 東本の最近。 東のから、 東のの最近。 東に配布した。 まからを集めるモデ	収組みを継続 マップの見直し の配布体等、公共 により、全戸を対	◆ · 冬豆 · 飲 ·	施に向けた取組みを・ ・種ハザードマップの 長への配布体解及 ・図書館、庁舎等、20 の記架し、市内全域を 後環のモデル事業を 後環のモデル事業を
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ の作成・周加等	ロに向けた迅速かつ的確, 一次不浸水能性固の公表後、設 ・ 選定最大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ を含金に、広ば連翹計画を反映とた法水、・ データです。 ・ でする。 ・ でする	着手 完了 な避難行動のため	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		1リ組みを継続)見画Uに作 マップを改定 布する 1リ組みを継続	△ ・協議会の中 (案)を策定・ ● 想定最大規に、 水を対象に、 映した洪水/ 定する ・ 選水浸水総 個に向けたを	中で広域運難計画 する 模障雨における洗 広域避難計画を反 、ヴードマップを集	着手 完了	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ・洗水ハザードマップを策定・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討	tt A	・現在・小園川・科棚川洗水剤 静計部を築定中 ・男祭川・小園川県域減災対 (施業の中で広転避難計画 (楽)を策定する と第定する と第定が最悪した。 ・地区防災計画策定に向け取 組み中 ・大規模記巻区域見重し後、淡水ハ ザードマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 組み中 ・発展に表記の、サードマップを 参考に拡充予度 ・参考をは、施予予定・	着手 - H28年度 - F - H28年度 - F - H29年度 - F - H28年度 - F - H28年度 - F - H28年度 - F - H28年度 - F	完了 ・	川・利根川洗水差離計画 にた。 起報の一端として、細数 は赤す料態では正応援 る災害協定を結び、広域 商を策定した。 川・小貝川減災対策協議 を策定した。 川・利県川減災対策協議 を策定した。 小利県川減災対策協議 が変の手見を外がデト を見直し、全戸配布し 304) ハザードマンプ周知説明 ハザードマンのの諸用 ついて協議会関係者 には308) のからには、田附近区・長 でを延防では、 でを延防では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	R2年度に小夏川・利根 理難計画と広域避難計 定済み。 ・市広報紙に、市が発行 る防災の手引き(ハザー ブ)について掲載し、開外 ・ 市内の5地区(川原代) 「原地区、長山地区、皇 区、久保地区(マ取組 の策定に向けて取組 ・ 市内移転した要配慮和	選求 ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・想定最大規模降雨に 水を対象に、広域差 験した洪水・バードマ 直しをする ・洗水浸水総地図の 備に向けた検討を行。	着 着 おける演・H29 おける演・H29 表後、整・H28	手 完了	度 実施に向けた取 変 実施に向けた取 変 実施に向けた取 デアス 区長への が施設への設置に 象に配布した。 と 今後県のモデル、整備・拡充に を ・要配慮者利用	収組みを継続 マップの見直し の配布体等。公共 により、全戸を対 に下かり、 に対 の表示を表 の共 に対 の表示を の共 に対 の表示を の共 に対 の表示を の対 に対 の表示を の対 に対 の表示を の対 に対 の表示を の表示を の表示を の表示を の表示を の表示を の表示を の表示を	◆ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施に向けた取組みを ・種ハザードマップの 長への配布は頼及 の書館、庁舎等・公 の記楽し、市内全域・ 後環のモデル事業を 整備・拡充に努める ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ の作成・周加等	ロに向けた迅速かつ的確, ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成である が、災害協定を結べている自治 体への受け入れを多額に置き が、災害協定を結べている自治 体との受け入れを多額に置き が、変素協定を結べている自治 体を検討する ・想定最大規模降雨における浜 水を対象に、広域避難計画を反 快たた洪水ハザードマップを策 定する	着手 完了 な避難行動のため	の取組 -実施に向けた取り組みを継続 -浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水いザードマップを改定 し、市内全戸に配布する -実施に向けた取り組みを継続	 → 実施に向けた助 ・ 実施に向けた助 ・ スポ想定区域い、淡水パザーし、市内全戸にあ ム ・ 実施に向けた助 	1リ組みを継続)見画Uに作 マップを改定 布する 1リ組みを継続	△ ・協議会の中 (案)を策定・ ● 想定最大規に、 水を対象に、 映した洪水/ 定する ・ 選水浸水総 個に向けたを	Pで広域避難計画 する 模降雨における法 、広域避難計画を反 ・・ザードマップを策 型地回の公表後、整 検討を行う	着手 完了	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ・洗水ハザードマップを策定・	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討		・現在、小貝川・利根川浜水道 開計制を策定中 実際川・小貝川県域域災対 協議をの中で戊城避難計画 (東)を策定する 差数を広域見直し後、 ボードマップを策定 地区防災計画策定に向け取 組み中 ・大規模心器区域見直し後、 利果参集に拡充する ・原理を第二級でディー ・原理を第二級でディー ・一日にある。 ・一日にもの。 ・一日にもの。 ・一日にもの。 ・一日にもの。 ・一日にもの。 ・一日にもの。 ・一日にもの。 ・一日にもの	差手 - H28年度 -F	完了 7 第2 年度 で	III・利根川浜水避難計画 した。 短数の一端として、和数 域市市村間で相互応援 気災者協定した。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		洪水 を策 でマッした。 □ 医薬物 が受計 の の の の の の の の の の の の の	・協議会の中で広域を (案)を第定する ・想定最大規模時間 株と対象に、広域選 域した洪水ハザードマ 値しをする ・流水浸水総地図の2 備に向けた検討を行う	着 	手 完了		収組みを継続 マップの見直しび。 からを がいます できない できない できない できない できない できない できない できない	● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施に向けた取組みを: 様に付けた取組みを: 長への配布体類及は、市内全域を 関連館・庁舎等、20 の配深し、市内全域を かれた。 整備・拡充に努める ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ⑤まるごとまちごとハザードマップ ⑤まるごとまちごとハザードマップ 変	ロに向けた迅速かつ的確, 一次不浸水能性固の公表後、設 ・ 選定最大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ を含金に、広ば連翹計画を反映とた法水、・ データです。 ・ でする。 ・ でする	着手 完了 な避難行動のため	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		1リ組みを継続)見画Uに作 マップを改定 布する 1リ組みを継続	△ ・協議会の中 (案)を策定・ ● 想定最大規に、 水を対象に、 映した洪水/ 定する ・ 選水浸水総 個に向けたを	Pで広域避難計画 する 模降雨における法 、広域避難計画を反 ・・ザードマップを策 型地回の公表後、整 検討を行う	着手 完了	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ・洗水ハザードマップを策定・	 点 点<td>・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討</td><td></td><td>・現在、小貝川・科根川湊水産 銀計画を策定中 県窓川・小貝川県域減災対 協議会の中で広な差難計画 (第)を策定する ・樹東地壁において、大規模派 ※世界に成った。 ・地区的災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 ・ボードマップを策定 ・地区の経費計画の対象がある ・ボードマップを策定 ・ボードマップを ・ボードマードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボード・ ・ボー・ ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>着手 - H28年度 - F - H28年度 - F</td><td>完了 7年度 で 東京 1 日本 1 日</td><td>川・利根川浜水避難計画 した。 超数の一端として、和数 域市市村間で相互応援 気労者協定とた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td></td><td>洪水 を策 でマッした。 区 医 変 関 が の の の の の の の の の の の の の</td><td>・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・想定是大規模降雨! 水を対象に、広域避 験した洪水・パートマ 直しをする ・洗水浸水総地図の 備に向けた検討を行こ ・受配慮者利用施設に 定している避難計画の 音ら対象として位置づ</td><td>着 </td><td>手 完了</td><td>展2年』 東施に向けた即 東施に向けた即 東流ア・洪水ハザードの 公民で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般</td><td>収組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎等、公共 に努める。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</td><td>施に向けた取組みを 様に向けた取組みを 様へが一ドマップ級 長への配布が親及。 図書館、庁舎等、2 図書館、庁舎等、2 の市した。 後黒のモデル事業を 後黒のモデル事業を 後黒のモデル事業を を登備・拡充に努める が高の作成収象上に アート調金を実施と にしている。 にしている。 としている。</td>	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討		・現在、小貝川・科根川湊水産 銀計画を策定中 県窓川・小貝川県域減災対 協議会の中で広な差難計画 (第)を策定する ・樹東地壁において、大規模派 ※世界に成った。 ・地区的災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 ・ボードマップを策定 ・地区の経費計画の対象がある ・ボードマップを策定 ・ボードマップを ・ボードマードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボード・ ・ボー・ ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	着手 - H28年度 - F	完了 7年度 で 東京 1 日本 1 日	川・利根川浜水避難計画 した。 超数の一端として、和数 域市市村間で相互応援 気労者協定とた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		洪水 を策 でマッした。 区 医 変 関 が の の の の の の の の の の の の の	・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・想定是大規模降雨! 水を対象に、広域避 験した洪水・パートマ 直しをする ・洗水浸水総地図の 備に向けた検討を行こ ・受配慮者利用施設に 定している避難計画の 音ら対象として位置づ	着 	手 完了	展2年』 東施に向けた即 東施に向けた即 東流ア・洪水ハザードの 公民で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般	収組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎等、公共 に努める。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施に向けた取組みを 様に向けた取組みを 様へが一ドマップ級 長への配布が親及。 図書館、庁舎等、2 図書館、庁舎等、2 の市した。 後黒のモデル事業を 後黒のモデル事業を 後黒のモデル事業を を登備・拡充に努める が高の作成収象上に アート調金を実施と にしている。 にしている。 としている。
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ の作成・周加等	ロに向けた迅速かつ的確, 一次不浸水能性固の公表後、設 ・ 選定最大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ を含金に、広ば連翹計画を反映とた法水、・ データです。 ・ でする。 ・ でする	着手 完了 な避難行動のため	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		1リ組みを継続)見画Uに作 マップを改定 布する 1リ組みを継続	△ ・協議会の中 (案)を策定・ ● 想定最大規に、 水を対象に、 映した洪水/ 定する ・ 選水浸水総 個に向けたを	Pで広域避難計画 する 模降雨における法 、広域避難計画を反 ・・ザードマップを策 型地回の公表後、整 検討を行う	着手 完了	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ・洗水ハザードマップを策定・	 点 点<td>・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討</td><td></td><td>・現在、小臭川・利根川洗水差 豊計館を設定中 現象別・小臭川・利根川洗水差 見刻中・小臭の間が 風感を実定する 温度を発度する 温度を発度を ・地区防災計画策定に向け取 様の中 大規模Uを区域見直し後、 ボーイマックを 素を 変更を がサーイマックを 素を でいる 変数計画が を 変更を が でいる 変数計画が を 変更を が でいる 変数計画が を 変更を が でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる</td><td>着手 - H28年度 - F - H28年度 - F</td><td>完了 7 (2年度 生 小 国 度</td><td>川・利根川浜水型雑計画 した。一級として、和数 組域市計判能を結び、正域 に対象を対象を対象を対象を に対象を 川・外県川減災対策協議 彦家定した。 川・利根川の最新の没水 域図を基に対象が受行し 防災の手引を小がゲード で支援県土金 で支援県土金 に対象を に対象と に対象を ののののの ののの に対象を に対象を に対象を ののの ののの ののの に対象を に対象を ののの のの のの に対象を に対象を に対象を に対象を のの のの のの のの のの のの のの のの のの の</td><td>● 配名年度に小夏川・利潤・ ・ 市広報紙に、市が発行 ・ 市広報紙に、市が発行 ・ 市内の5地区(川原代・ ・ 内側の5地区(川原代・ ・ 大原地区、交易を地区で取る ・ 大原地区、大原地区、大原地区、大原地区、大原地区、大原地区、大原地区、市地区、大原地区、市地区、大水等地の近径は、大等地で、大原地区、市内を転した安配は東の新たな遊園機を発音して、内の金米を発し、大き地区、安全圏等のに対する遊園計画の設置を表現した。</td><td>洪水 ● 「マッした。 「マッした。 「マッした。 「スマッした。 「スマッした。</td><td>・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・想定是大規模降雨! 水を対象に、広域避 験した洪水・パートマ 直しをする ・洗水浸水総地図の 備に向けた検討を行こ ・受配慮者利用施設に 定している避難計画の 音ら対象として位置づ</td><td>着 </td><td>手 完了</td><td>展2年』 東施に向けた即 東施に向けた即 東施に向けた即 東派ハゾードの 東京アに区風の書館施設への設置に 東に配布した。 東のモデル ・今後頭のモデル ・今後頭の指数をクルウートの場合を選挙・要配慮者利用の</td><td>収組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎等、公共 に努める。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</td><td>徳に向けた取組みを ・種ハザードマップの 長への配布体解及 長への配布体解及 の配架し、市内全域 の配架し、市内全域 を整備・拡充に努める 計画の作用で楽した。 ・記慮者利用施設へ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td>	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討		・現在、小臭川・利根川洗水差 豊計館を設定中 現象別・小臭川・利根川洗水差 見刻中・小臭の間が 風感を実定する 温度を発度する 温度を発度を ・地区防災計画策定に向け取 様の中 大規模Uを区域見直し後、 ボーイマックを 素を 変更を がサーイマックを 素を でいる 変数計画が を 変更を が でいる 変数計画が を 変更を が でいる 変数計画が を 変更を が でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	着手 - H28年度 - F	完了 7 (2年度 生 小 国 度	川・利根川浜水型雑計画 した。一級として、和数 組域市計判能を結び、正域 に対象を対象を対象を対象を に対象を 川・外県川減災対策協議 彦家定した。 川・利根川の最新の没水 域図を基に対象が受行し 防災の手引を小がゲード で支援県土金 で支援県土金 に対象を に対象と に対象を ののののの ののの に対象を に対象を に対象を ののの ののの ののの に対象を に対象を ののの のの のの に対象を に対象を に対象を に対象を のの のの のの のの のの のの のの のの のの の	● 配名年度に小夏川・利潤・ ・ 市広報紙に、市が発行 ・ 市広報紙に、市が発行 ・ 市内の5地区(川原代・ ・ 内側の5地区(川原代・ ・ 大原地区、交易を地区で取る ・ 大原地区、大原地区、大原地区、大原地区、大原地区、大原地区、大原地区、市地区、大原地区、市地区、大水等地の近径は、大等地で、大原地区、市内を転した安配は東の新たな遊園機を発音して、内の金米を発し、大き地区、安全圏等のに対する遊園計画の設置を表現した。	洪水 ● 「マッした。 「マッした。 「マッした。 「スマッした。	・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・想定是大規模降雨! 水を対象に、広域避 験した洪水・パートマ 直しをする ・洗水浸水総地図の 備に向けた検討を行こ ・受配慮者利用施設に 定している避難計画の 音ら対象として位置づ	着 	手 完了	展2年』 東施に向けた即 東施に向けた即 東施に向けた即 東派ハゾードの 東京アに区風の書館施設への設置に 東に配布した。 東のモデル ・今後頭のモデル ・今後頭の指数をクルウートの場合を選挙・要配慮者利用の	収組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎等、公共 に努める。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	徳に向けた取組みを ・種ハザードマップの 長への配布体解及 長への配布体解及 の配架し、市内全域 の配架し、市内全域 を整備・拡充に努める 計画の作用で楽した。 ・記慮者利用施設へ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
域 避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ ブの作成・周知等	ロに向けた迅速かつ的確, 一次不浸水能性固の公表後、設 ・ 選定最大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ を含金に、広ば連翹計画を反映とた法水、・ データです。 ・ でする。 ・ でする	着手 完了 な避難行動のため	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		1リ組みを継続)見画Uに作 マップを改定 布する 1リ組みを継続	△ ・協議会の中 (案)を策定・ ● 想定最大規に、 水を対象に、 映した洪水/ 定する ・ 選水浸水総 個に向けたを	Pで広域避難計画 する 模降雨における法 、広域避難計画を反 ・・ザードマップを策 型地回の公表後、整 検討を行う	着手 完了	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ・洗水ハザードマップを策定・	 点 点<td>・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討</td><td></td><td>・現在、小貝川・科根川湊水産 銀計画を策定中 県窓川・小貝川県域減災対 協議会の中で広な差難計画 (第)を策定する ・樹東地壁において、大規模派 ※世界に成った。 ・地区的災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 ・ボードマップを策定 ・地区の経費計画の対象がある ・ボードマップを策定 ・ボードマップを ・ボードマードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボード・ ・ボー・ ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>着手 - H28年度 - F - H28年度 - F</td><td>完了 7 日本 (本) 日本</td><td>III・利根川浜水型難計画 した。 短域の市場として、稲数 超域市南川面で相互応圧域 に大変管態度を必要を 成域 III・小園川域以外質協議 逆を策定したが、 1I・小園川域以外質協議 逆を策定したが、 1004)ドマンブ層の知識 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の 1004</td><td>RZ年度に小長川・利根 避難計画と広域避難計 定済み。 ・市広報紙に、市が発行 る防災の手引き(ハザー プ)について掲載し、開外 ・市内の5地区(川原代。 反、久様地区で取締 ・ 市内移転記と課程を対して取締 ・ 市内移転記と課程を対しての の新たな影響を支援した。 ・ 市内移転に、第2年度に の新たな影響を支援した。 ・ 市内移転に変化を対してのか 複雑を使える年度に ・ 1年2年度、2年度に ・ 1年2年度 2年度に ・ 1年2年度 2年度に ・ 1年2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度</td><td>洪水 ● 「マッした。 「マッした。 「マッした。 「スマッした。 「スマッした。</td><td>・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・想定是大規模降雨! 水を対象に、広域避 験した洪水・パートマ 直しをする ・洗水浸水総地図の 備に向けた検討を行こ ・受配慮者利用施設に 定している避難計画の 音ら対象として位置づ</td><td>着 </td><td>手 完了</td><td>展2年』 東施に向けた即 東施に向けた即 東流ア・洪水ハザードの 公民で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般</td><td>収組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎等、公共 に努める。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</td><td>施に向けた取組みを 様に向けた取組みを 長への配布依頼及 侵害館、庁舎等・2 の市に定。 ・ 一部である。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述の。 ・ 一述の。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述の</td>	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討		・現在、小貝川・科根川湊水産 銀計画を策定中 県窓川・小貝川県域減災対 協議会の中で広な差難計画 (第)を策定する ・樹東地壁において、大規模派 ※世界に成った。 ・地区的災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 ・ボードマップを策定 ・地区の経費計画の対象がある ・ボードマップを策定 ・ボードマップを ・ボードマードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボード・ ・ボー・ ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	着手 - H28年度 - F	完了 7 日本 (本) 日本	III・利根川浜水型難計画 した。 短域の市場として、稲数 超域市南川面で相互応圧域 に大変管態度を必要を 成域 III・小園川域以外質協議 逆を策定したが、 1I・小園川域以外質協議 逆を策定したが、 1004)ドマンブ層の知識 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の地域 1004)ドマンブ層の 1004	RZ年度に小長川・利根 避難計画と広域避難計 定済み。 ・市広報紙に、市が発行 る防災の手引き(ハザー プ)について掲載し、開外 ・市内の5地区(川原代。 反、久様地区で取締 ・ 市内移転記と課程を対して取締 ・ 市内移転記と課程を対しての の新たな影響を支援した。 ・ 市内移転に、第2年度に の新たな影響を支援した。 ・ 市内移転に変化を対してのか 複雑を使える年度に ・ 1年2年度、2年度に ・ 1年2年度 2年度に ・ 1年2年度 2年度に ・ 1年2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度 2年度	洪水 ● 「マッした。 「マッした。 「マッした。 「スマッした。	・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・想定是大規模降雨! 水を対象に、広域避 験した洪水・パートマ 直しをする ・洗水浸水総地図の 備に向けた検討を行こ ・受配慮者利用施設に 定している避難計画の 音ら対象として位置づ	着 	手 完了	展2年』 東施に向けた即 東施に向けた即 東流ア・洪水ハザードの 公民で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般	収組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎等、公共 に努める。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施に向けた取組みを 様に向けた取組みを 長への配布依頼及 侵害館、庁舎等・2 の市に定。 ・ 一部である。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述の。 ・ 一述の。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述の
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備 孤光	ロに向けた迅速かつ的確, 一次不浸水能性固の公表後、設 ・ 選定最大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ 要定量大規模時間における。 ・ を含金に、広ば連翹計画を反映とた法水、・ データです。 ・ でする。 ・ でする	着手 完了 な避難行動のため	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		1リ組みを継続)見画Uに作 マップを改定 布する 1リ組みを継続	△ ・協議会の中 (案)を策定・ ● 想定最大規に、 水を対象に、 映した洪水/ 定する ・ 選水浸水総 個に向けたを	Pで広域避難計画 する 模降雨における法 、広域避難計画を反 ・・ザードマップを策 型地回の公表後、整 検討を行う	着手 完了	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ・洗水ハザードマップを策定・	 点 点<td>・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討</td><td></td><td>・現在、小貝川・科根川湊水産 銀計画を策定中 県窓川・小貝川県域減災対 協議会の中で広な差難計画 (第)を策定する ・樹東地壁において、大規模派 ※世界に成った。 ・地区的災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 ・ボードマップを策定 ・地区の経費計画の対象がある ・ボードマップを策定 ・ボードマップを ・ボードマードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボード・ ・ボー・ ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td>着手 - H28年度 - F - H28年度 - F</td><td>完了 7 第</td><td>川・利根川洪水避難計画 した。 超数の一端として、和数 域市市村曜で相互応援 の災害協定とした。 川・利度川東でした。 川・利度川東では広域避 経策定した。 川・利度川東沙対策協議 で支減集主導で広域避 経策定した。 川・利度川東沙対策協議 で支減集主導で広域避 を見直し、全門の場合の 2004 のの地域に であり、 が少ードマップ層知の居者に た。(140.8) では では では であり、 では であり、 では であり、 では であり、 では であり、 では では では では では では では では では では</td><td></td><td>洪水 ● 「マッした。 「マッした。 「マッした。 「スマッした。 「スマッした。</td><td>・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・想定是大規模降雨! 水を対象に、広域避 験した洪水・パートマ 直しをする ・洗水浸水総地図の 備に向けた検討を行こ ・受配慮者利用施設に 定している避難計画の 音ら対象として位置づ</td><td>着 </td><td>手 完了</td><td>展2年』 東施に向けた即 東施に向けた即 東流ア・洪水ハザードの 公民で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般</td><td>収組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎等、公共 に努める。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</td><td>施に向けた取組みを 様に向けた取組みを 長への配布依頼及 侵害館、庁舎等・2 の市に定。 ・ 一部である。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述の。 ・ 一述の。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述の</td>	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討		・現在、小貝川・科根川湊水産 銀計画を策定中 県窓川・小貝川県域減災対 協議会の中で広な差難計画 (第)を策定する ・樹東地壁において、大規模派 ※世界に成った。 ・地区的災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 がードマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 が一ドマップを策定 ・地区の災計画策定に向け取 ・ボードマップを策定 ・地区の経費計画の対象がある ・ボードマップを策定 ・ボードマップを ・ボードマードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボードマー・ ・ボード・ ・ボー・ ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ボート ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	着手 - H28年度 - F	完了 7 第	川・利根川洪水避難計画 した。 超数の一端として、和数 域市市村曜で相互応援 の災害協定とした。 川・利度川東でした。 川・利度川東では広域避 経策定した。 川・利度川東沙対策協議 で支減集主導で広域避 経策定した。 川・利度川東沙対策協議 で支減集主導で広域避 を見直し、全門の場合の 2004 のの地域に であり、 が少ードマップ層知の居者に た。(140.8) では では では であり、 では であり、 では であり、 では であり、 では であり、 では では では では では では では では では では		洪水 ● 「マッした。 「マッした。 「マッした。 「スマッした。	・協議会の中で広域差 (案)を策定する ・想定是大規模降雨! 水を対象に、広域避 験した洪水・パートマ 直しをする ・洗水浸水総地図の 備に向けた検討を行こ ・受配慮者利用施設に 定している避難計画の 音ら対象として位置づ	着 	手 完了	展2年』 東施に向けた即 東施に向けた即 東流ア・洪水ハザードの 公民で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般で、一般	収組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎等、公共 に努める。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施に向けた取組みを 様に向けた取組みを 長への配布依頼及 侵害館、庁舎等・2 の市に定。 ・ 一部である。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述の。 ・ 一述の。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述のる。 ・ 一述の。 ・ 一述の
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による浸水想 ②は定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ ブの作成・周知等 ⑤要配慮を利用施設の避難計画 の作成及び削減の促進	ロに向けた迅速かつ的確, ツブの作成・周知等 ツブの作成・周知等 - 広域避難計画は未作成であるが、災害値定を結べている自治体への受け入れる自治体との協定結 を検討する 特を検討する 地定最大規模時間における実施 機能と表す。 地で表すまた。広域連難計画を決定、広域連難計画を決定、広域連難計画を表す。 地で表する ・ ボスラ水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・ 張水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	着手 完了 は避難行動のため	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		19組みを継続 D見直しに伴 マップを改定 不する 19組みを継続 ス感染症の	△ ・協議会の中 (案)を策定: ● 想定最大規(水を対象) 状を対象に決した規(水) 定する ・ 漢水浸水総(場) (場) (り) (よ) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な	Pで広域避難計画する 模略雨における決 広域避難計画を反 がザードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う を構動を行う を構動を行う	着手 完了 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 - 実施に向けた取り組みを継続 - 決水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 - 決水バザードマップを策定 - 手配布 - 実施に向けた取り組みを継続	 表 △ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水ハザードマップを改定 するため展別に関と打ち合わ を行った。 広域避難を反映した洪水ハ サードマップについては検討 中。 ・実施に向けた取り組みを継続		・現在、小貝川・利根川湊水運 贈計画を策定中 ・規窓川・小貝川県域減災対 協議会の中で広転差難計画 (第)を策定する ・機変を広域として、大規模が ・機の中で広転差を ・地区的災計画策定に向け取 ・大規模心器区域見直し後、8 海県主命市等のルザードマッ ・受配連帯機関の対象と数で でしたら温軽調構画の対象と数で ・大説後利電をと支援 ・大説後両電機を全支援 ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両電機制を大変を ・大説後両電機制を を放送する。 ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両電機制のにあるを依 ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両電機制の対象と数で ・大説後両間の ・大説後面に ・大説を ・大記を ・大説を ・大説を ・大記を ・大説を ・大説を ・大記を	着手	完了 7 日本度 を完全 1 日本 1 日	川・利根川浜水型難計画 した。 型数の一場として、和数 域市市村間で相互応援 気が着低定とした。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		洪水 ● CK地計ででした。 区域を対対行 開催設計 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・協議会の中で広域是 (案)を策定する ・想定最大規模時間 ・水を対象に、広域接 映した洪水ハザードマ 直しをする ・満水浸水総地図の ・ 備に向けた検討を行う ・ 要配慮者利用施設に 定ている経過で位置 別解等を支援する	着 おける典・H29 おける典・H29 カナップの見 表後、整・H28 おいて策・H29	手 完了	R2年 東施に向けた 下 デ 完	収組みを継続 マップの見直しび配合体を関している。 で配合体を関いている。 では、この見音を表している。 では、この見音を表している。 では、この見音を表している。 では、一般を表している。 では、一般を表している。 のは、一般を表している。 のは、それでは、一般を表している。 のは、それで	● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施に向けた取組みを: 「種ハザードマップ級 長への配布依頼及と 長への配布依頼及と の者が、庁舎等、公 の名に深し、市内全域を がれた。 登儀・拡光に努める があったを実施という。 は一般のできなど来述という。 は一般のできなど来述という。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による浸水想 ②は定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ ブの作成・周知等 ⑤要配慮を利用施設の避難計画 の作成及び削減の促進	ロに向けた迅速かつ的確, ツブの作成・周知等 ツブの作成・周知等 - 広域避難計画は未作成であるが、災害値定を結べている自治体への受け入れる自治体との協定結 を検討する 特を検討する 地定最大規模時間における実施 機能と表す。 地で表すまた。広域連難計画を決定、広域連難計画を決定、広域連難計画を表す。 地で表する ・ ボスラ水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・ 張水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	着手 完了 な避難行動のため	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		19組みを継続 D見直しに伴 マップを改定 不する 19組みを継続 ス感染症の	△ ・協議会の中 (案)を策定・ ● 想定最大規に、 水を対象に、 映した洪水/ 定する ・ 選水浸水総 個に向けたを	Pで広域避難計画する 模略雨における決 広域避難計画を反 がザードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う を構動を行う を構動を行う	着手 完了 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度	R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・洗水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 ・洗水ハザードマップを策定・ ・洗水ハザードマップを策定・	 () () () () () () () () () ()	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・バザードマップを改定 を行うた。 ない頃間はそ打ち合わった ない最適を反映した洪水・バ ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討 ・ア・マップについては検討		・現在・小園川・科棚川洗水剤 静計部を築定中。 ・男名川・小園川炭域減災約 (協会の中で広域差極計画 (条)を策定する と第定する と第定が見るした。 ・地区防災計画策定に向け取 組み中 ・大規模記差区域見るした。 ・大規模記差区域見るした。 ・大規模記差区域見るした。 ・大規模記差区域見るした。 ・サードマップを策定 でいる避難計画の対象栄密でいる理念 でいる避難計画の対象栄密でいる理念 に、不能対象をと支援 に、が防法改配を成業等、要認能 を整配を整度が最高が表現を に、があたなの。 ・が、 ・が、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	着手	完了 7 年度 を完成 1 日本 1 日	川・利根川洗水差離計画 した。 一切として、細数 の場として、細数 の実施として、細数 の表音などした。 川・小貝川減災外策協議 を接近した。 川・小貝川減災外策協議 を接近した。 川・利根川の景脈の浸水 域図を基した。 小野・イマンプ層 知説明 ・ハザードマンプ層 知説明 ・ハザードマンプ層 知説明 ・ハザードマンプ層 知説明 ・ハザードマンプ層 知意明 ・シンで経過を開発していて領 のの経見には、日間を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	RZ年度に小長川・利根・ 避難計画と広域避難計 定済み。 ・市広報紙に、市が発行 る防災の手引き(ハザー プ)について掲載し、開外 ・市内の5地区(川原代。 区、久様地区で取締 の新たな影響を対して取締 ・市内等を記述機構をはに、内 が護施を支援した。 ・1市内の5地区(川原代。 ・1市内等を記述機構をはに、内 が護施を支援した。 ・1本の4年度、29年度に、内 が護施を支援した。 ・1本の4年度、29年度に、内 が護施をと変した。 ・一大変をできるが、では、対して、 ・一大変をできるが、では、 ・一大変をできるが、では、 ・一大変をできるが、では、 ・一大変をできるが、では、 ・一大変をできるが、 ・一大変をできるが、 ・一大変をが、 ・一大	洪水 ●	・協議会の中で広域を (案)を第定する ・想定最大規模降高計 株とが選に、広域に 値しをする ・流水浸水砂地図の分 備に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に まが算として位置づ が表するとして位置づ がある。 ・水管対応チェックリス 影響の判断基準は みぬった。	着 	手 完了	R2年』 東連に向けた 東連に向けた 東連に向けた 東連に向けた 東京下の 東京下の 東京下の 東京で 東京で 東京で 東京で 東京で 東京で 東京で 東京	収組みを継続 マップの見直しび配子を経続 マップの見直しび高く庁舎を振り入に努める。 ミード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	◆ ・	施に向けた取組みをは 様に付けた取組みをは 様のが一ドマップの 長への配介を頼みな 最高が、庁舎等、公 最高が、庁舎等、公 を整備・拡充に努める が出版。 が計画の作成促進にに 記述者が開始しない がいるとしているとしているとしているとしているとしているとしているとしているとして
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による浸水想 ②は定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ ブの作成・周知等 ⑤要配慮を利用施設の避難計画 の作成及び削減の促進	ロに向けた迅速かつ的確, ツブの作成・周知等 ツブの作成・周知等 - 広域避難計画は未作成であるが、災害値定を結べている自治体への受け入れる自治体との協定結 を検討する 特を検討する 地定最大規模時間における実施 機能と表す。 地で表すまた。広域連難計画を決定、広域連難計画を決定、広域連難計画を表す。 地で表する ・ ボスラ水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・ 張水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	着手 完了 は避難行動のため	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		19組みを継続 D見直しに伴 マップを改定 不する 19組みを継続 ス感染症の	△ ・協議会の中 (案)を策定: ● 想定最大規(水を対象) 状を対象に決した規(水) 定する ・ 漢水浸水総(場) (場) (り) (よ) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な	Pで広域避難計画する 模略雨における決 広域避難計画を反 がザードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う を構動を行う を構動を行う	着手 完了 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 - 実施に向けた取り組みを継続 - 淡水ハザードマップの策定に 関する説明会を実施 - 水水ハザードマップを策定。 全 - 実施に向けた取り組みを継続 - 実施に向けた取り組みを継続	 () () () () () () () () () ()	・実施に向けた取り組みを継続 ・ 漫水想定区域の見直しに停 い、洗水・サードマップを改定 を行う場所別間はど打ち合わい サードマップについては検討 中・ ・ 実施に向けた取り組みを継続		・現在、小貝川・利根川浜木園 雑計画を築定中 東窓川・小貝川売域或災対 塩価金の中で広域差難計画 (制)を策定する ・関東地整において、大規模別 を受ける を受ける ・関東地整において、大規模別 を受ける を受ける ・地区防災計画策定に向け取 ・大規模氾濫区域見直し後、表外ハ ・サードマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 ・大規模氾濫区域見直し後、表外ハ ・サードマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模氾濫区域見直し後、表外、 ・大規模犯 ・大規模 ・大規模犯 ・大規模 ・大規模犯 ・大規模 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大	着手	完了 7 年度 で	川・利根川浜水遅難計画 した。 塩域市の円線として、和数 域市市日本の一線として、和数 域市市日本の上で、一線 の大着協定となり実施協議 を実定した。 で支城県土等で広域建 を実定した。 が近の手を開発したが対策協議 を実定した。 で支城県土等で広域建 を実定した。 で支城県土等で広域 を実定した。 の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大	● 配名 では、 できない できない できない できない できない できない できない できない	漢を でマット ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・協議会の中で広境変 (案)を策定する ・拠定最大規模降削・ 水を対象に、広域避難 映した泳ネハザードマ 直しをする ・洗水浸水総地図の2 備に向けた検討を行う ・変配慮者利用施設に 定している超額計画の 素が減を支援する が 連続を支援する ・ 水等対応チェングリス を み体。タイムラインにご	着 	手 完了	R2年 R2年 東連に「向けた 東連に「向けた 「大きない。」 「ないい。」 「ないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	仮組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎・東京の見道のは、大川・東京を取り入 に努める。 「ルー東京を取り入 に努める。 「ルー東京を取り入 に発達して、 、	● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施に向けた取組みを・ ・種ハザードマップ及 長への配布体類及 優書館・旅売に与称る・ を整備・旅売に与める・ が出版を表している。 が出版を表している。 が出版を表している。 が開版を実施している。 が開版を実施している。 があると、 がなる。 があると、 がなる。 があると、 があると、 がなる。 はなる。 がなる。 はなる。 がなる。 はなる。 はなる。 はなる。 がなる。 はなる。
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による浸水想 ②は、 ②は、 ②は、 ③広域避難計画の策定 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ での作成。周知等 ⑤要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び削練の促進 2 2 2 3 3 3 3 3 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	ロに向けた迅速かつ的確, ップの作成・周知等 ・	着手 完了	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		以組みを継続 フ見直しに伴 マップを改定 イルテな。 ス感染症の 季正。	△ ・協議会のの (案) を策定 (案) を策定 (案) を策定 (案) を策定 (中で広域避難計画・する 模跡雨における浅 広域避難計画を及 、ザードマップを策 必地図の公表後、整 検討を行う	着手 完了	- R2年度実績 - 実施に向けた取り組みを継続 - 満水ハザードマップの策定に関する起明会を実施・決水ハザードマップを策定。 - 実施に向けた取り組みを継続 - 実施に向けた取り組みを継続 - 表述のサードマップを策定。4	 (元) (元)<td>・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見慮しに伴 い、淡水がサードマップを改定 ない、淡水がサードマップを改定 では遅離を気が、浸水が、洗水が、サードマップについては検討 中。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続</td><td></td><td>・現在、小貝川・利根川洗木選 最初に一角、原生の一角、 「一般の一角、 「一。 「一般の一。 「一般の一。 「一般の一。 「一般の一。 「一。 「一般の一。 「一般の一。 「一般</td><td>*************************************</td><td>完了 7 年度 で</td><td>川・和根川洪水型雑計画 影響の一端として、細数 に対する内容を対して、細数 の変音策定した。 川・小貝川減災が成域 を確定した。 川・小貝川減災が成域 を策定した。 川・小貝川減災が成域 を確定した。 川・利根川の最新の浸水 は関密を増加した。 ・一部を発行した。 ・一部を発行した。 ・一部を発行した。 ・一がサードマンプ周知短説用 ・ついて協議会関係の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の のでが、100 円 を変数を発する。 ・「とびきない。 ・「とびきない。 ・「とびきない。 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・」 ・「・ ・「・</td><td>● 配名 では、</td><td>漢を策 でマルた。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</td><td>・協議会の中で広域差 (案)を第定する ・想定最大規模時間對 株と対象に、広場 株とた洗水ハザードマ 値に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 変として位置が 素が象として位置が がしている超越計画の 者が象ととて位置が が、タイムラインにて 定と行なう</td><td>差</td><td>手 完了 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完</td><td>R2年 R2年 R2年 R2年 R2年 R2年 R2年 R2年 R2年 R2年</td><td>仮組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎・東京の見道のは、大川・東京を取り入 に努める。 「ルー東京を取り入 に努める。 「ルー東京を取り入 に発達して、 、</td><td>● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</td><td>徳に向けた取組みを ・種ハザードマップの 長への配布体解及と 長への配布体解及と の配架し、市内全域が 市に等数の がした。 ・登備・拡充に努める ・対面の作成役後に向 ・下のに進者利用施設に がありませる。 ・一段限率と支援する ・でしている避難情報を ・が表として位置づけ は等を支援する ・なりイムつり、 が が になした。 ・でしている が を が を が に に に の ら の の の の の の の の の の の の の</td>	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見慮しに伴 い、淡水がサードマップを改定 ない、淡水がサードマップを改定 では遅離を気が、浸水が、洗水が、サードマップについては検討 中。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		・現在、小貝川・利根川洗木選 最初に一角、原生の一角、 「一般の一角、 「一。 「一般の一。 「一般の一。 「一般の一。 「一般の一。 「一。 「一般の一。 「一般の一。 「一般	*************************************	完了 7 年度 で	川・和根川洪水型雑計画 影響の一端として、細数 に対する内容を対して、細数 の変音策定した。 川・小貝川減災が成域 を確定した。 川・小貝川減災が成域 を策定した。 川・小貝川減災が成域 を確定した。 川・利根川の最新の浸水 は関密を増加した。 ・一部を発行した。 ・一部を発行した。 ・一部を発行した。 ・一がサードマンプ周知短説用 ・ついて協議会関係の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の のでが、100 円 を変数を発する。 ・「とびきない。 ・「とびきない。 ・「とびきない。 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・」 ・「・ ・「・	● 配名 では、	漢を策 でマルた。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・協議会の中で広域差 (案)を第定する ・想定最大規模時間對 株と対象に、広場 株とた洗水ハザードマ 値に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 変として位置が 素が象として位置が がしている超越計画の 者が象ととて位置が が、タイムラインにて 定と行なう	差	手 完了 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完	R2年	仮組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎・東京の見道のは、大川・東京を取り入 に努める。 「ルー東京を取り入 に努める。 「ルー東京を取り入 に発達して、 、	● · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	徳に向けた取組みを ・種ハザードマップの 長への配布体解及と 長への配布体解及と の配架し、市内全域が 市に等数の がした。 ・登備・拡充に努める ・対面の作成役後に向 ・下のに進者利用施設に がありませる。 ・一段限率と支援する ・でしている避難情報を ・が表として位置づけ は等を支援する ・なりイムつり、 が が になした。 ・でしている が を が を が に に に の ら の の の の の の の の の の の の の
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による浸水想 ②は、 ②は、 ②は、 ③広域避難計画の策定 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ での作成。周知等 ⑤要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び削練の促進 2 2 2 3 3 3 3 3 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	ロに向けた迅速かつ的確, ツブの作成・周知等 ツブの作成・周知等 - 広域避難計画は未作成であるが、災害値定を結べている自治体への受け入れる自治体との協定結 を検討する 特を検討する 地定最大規模時間における実施 機能と表す。 地で表すまた。広域連難計画を決定、広域連難計画を決定、広域連難計画を表す。 地で表する ・ ボスラ水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・ 張水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	着手 完了	の取組 ・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに伴 い、洗水・サードマップを改定 し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 新型コロナウイルス系染金の		19組みを継続 り見直しに伴 マップを改定 不する 19組みを継続 フス要能 歩正。 の学校を対象 ライン作成法	△ ・協議会の中 (案)を策定: ● 想定最大規(水を対象) 状を対象に決した規(水) 定する ・ 漢水浸水総(場) (場) (り) (よ) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な	中で広域避難計画・する 模跡雨における浅 広域避難計画を及 、ザードマップを策 必地図の公表後、整 検討を行う	着手 完了	- R2年度実績 - 実施に向けた取り組みを継続 - 満水ハザードマップの策定に関する起明会を実施・決水ハザードマップを策定。 - 実施に向けた取り組みを継続 - 実施に向けた取り組みを継続 - 表述のサードマップを策定。4	表 △ ··· ・ · · · · · · · · · · · · · · · ·	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見慮しに伴 い、淡水がサードマップを改定 ない、淡水がサードマップを改定 では遅離を気が、浸水が、洗水が、サードマップについては検討 中。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		・現在・小園川・科棚川洗水剤 静計部を築定中。 ・男名川・小園川炭域減災約 (協会の中で広域差極計画 (条)を策定する と第定する と第定が見るした。 ・地区防災計画策定に向け取 組み中 ・大規模記差区域見面し後、淡水ハ ゲードマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 組み中 ・大規模記差区域見面し後、淡水ハ ゲードマップを策定 でいる避難計画の対象栄密 でいる避難計画の対象栄密 でいる避難計画の対象栄密 に、近難的接巻を上援 設 接着的必要 が、 に、 、	*************************************	完了 7 年度 で	川・和根川洪水型雑計画 影響の一端として、細数 に対する内容を対して、細数 の変音策定した。 川・小貝川減災が成域 を確定した。 川・小貝川減災が成域 を策定した。 川・小貝川減災が成域 を確定した。 川・利根川の最新の浸水 は関密を増加した。 ・一部を発行した。 ・一部を発行した。 ・一部を発行した。 ・一がサードマンプ周知短説用 ・ついて協議会関係の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の ので地区の(4次 気間動の のでが、100 円 を変数を発する。 ・「とびきない。 ・「とびきない。 ・「とびきない。 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・一部では、 ・「・」 ・「・ ・「・	● 配名 では、	漢を策 (でマルナ。	・協議会の中で広境変 (案)を策定する ・拠定最大規模降削・ 水を対象に、広域避難 映した泳ネハザードマ 直しをする ・洗水浸水総地図の2 備に向けた検討を行う ・変配慮者利用施設に 定している超額計画の 素が減を支援する が 連続を支援する ・ 水等対応チェングリス を み体。タイムラインにご	差	手 完了 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完 - 完	R2年	仮組みを継続 マップの見直しび。 京庁舎・東京の見道のは、大川・東京を取り入 に努める。 「ルー東京を取り入 に努める。 「ルー東京を取り入 に発達して、 、	本	施に向けた取組みをも ・種ハザードマップの 長の書館、行き等、公 長の書館、行き等、公 を関係・拡充に努致した。 ・経験、のモデル事業を が応えた。 ・経験、のをデルー・ ・経験、のをデルー・ ・経験・を支援する ・経験をとして位置の ・経験をとして位置の ・経験をとしてもの ・経験をとしている選輯情報を ・バケイムライン(防災 ・バケイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バクイムライン(防災 ・バイタイム)
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 登備 低免 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロに向けた迅速かつ的確/ ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を格えてあらか。 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を根よる場合を表現に悪き、場定を担よる場合を表現を表現を表現した。 ・	着手 完了 は避難行動のため	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		り組みを継続 フ度面しに伴 マップを改定 布する 以組みを継続 ス悪染症の 多子と作成議		中で広域避難計画 する 接際用における港 広域避難計画を反 ハヴードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う シの策定を行う	着手 完了 +H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・満水ハザードマップの策定に関する説明会を実施・済水ハザードマップを策定、会 戸配布 ・実施に向けた取り組みを継続 ・大変施に向けた取り組みを継続	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水器変医域の見重しに伴 り、洗水ハザードマップを改定 さらか、映画の場合では、 を行った。 では、 がサードマップについては検討 中。 ・震ヶ流、走瀬川に対応したター 人ラインを策定済み		・現在・小夏川・科根川洗水差 動計画を指定の ・現在・小夏川・科根川洗水差 が出場からかでは、延載維計画 (金)を策定する ・地島からかでは、延載維計画 ・地区的災計画策定に向け取 ・地区的災計画策定に向け取 ・地区の災計画策定に向け取 ・地区の災計画策定に向け取 ・地区の災計画策定に向け取 を参配におして、ア を参配におして、ア を参配において、予定 でいる遅離計画の対象災策の にいるでは、 ・でいる運動計画の対象災策の にいるでは、 を表記に表記を にいるでは、 ・でいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで	着手 - H28年度 - F	完了 7 年度 を発生しています。 1 19年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19年度 19	川・科根川洪水型雑計画 記載の一端として、細数 に対する内容を設定した。 川・外具川減災が伝域 を変定した。 川・外具川減災が伝域 を策定した。 川・外里川減災が伝域 を変にした。 川・外里川減災が伝域 を変にした。 川・利理川の最新の浸水 は関窓を増した。 ハザードマンプ間知知説 の2地区(代文間地の の2地区(代文間地の の2地区(代文間地の の2地区(代文間地の の2地区(代文間地の の2地区(代文間地の の2地区(代文間地の の2地区(大文間地の の2地区(大文間地の の34) マッカ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・ドラ・	● 配本度に小夏川・利潤・ ・ 市広報紙に、市が発行 ・ 市広報紙に、市が発行 ・ 市内の5地区(川地区) ・ 市内移転に大変に向けて取 ・ 市内移転に大変に向けて取 ・ 市内移転に大変に向けて取 ・ 市内移転に大変を選出し、大変を ・ 市内移転に大変を選出し、大変を ・ 市内移転に大変を ・ 市内移転に大変を ・ 市内移転に大変を ・ 市内移転に大変を ・ 市内移転に大変を ・ 市内移転に大変に向けて取 ・ 市内移転に大変に向けて取 ・ 市内移転に大変に向けて取 ・ 市内移転に大変に関い の作成を支援は大。 ・ 十228年度、28年度に内内 ク度観音の影けを ・ 1428年度、28年度に内内 ク度 28年度に対内 ・ 1428年度、28年度に対内 ・ 1428年度、28年度に対内 ・ 1428年度、28年度に対力 ・ 1438年度に対力に対します。 ・ 1438年度に ・ 1438年度を ・ 1438年度に ・ 1438年度を ・ 1438年	漢を策 (マット)	・協議会の中で広境差 (案)を策定する ・拠定長大規模時間・水を対象に、広域を ・洗水浸水を地域に、広域を ・洗水浸水を地域に、 ・洗水浸水を地図の2 備に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 定している超報計画の 電力線を を支援する ・水管対応チェックリス み が、 ・強、タイムラインにで 定を行なう ・マイ・タイムラインのが 進	着 おける決・H29 おける決・H29 表後、整・H28 おいて策・H29 トにより・H29 トにより・H29	手 完了 完プ 元 完プ 元 完プ 元 元 元 元 元 元 元	R2年 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東京で、「大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	収組みを継続 マップの見直しい。 アップの見直しい。 の配名を経験が、 の配名を解放が、 の配名を終めない。 に努める。 により、全戸をを対 が、 の対 が、 のが のが が、 のが が、 のが のが のが が、 のが	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	権に向けた取組みを 機に向けた取組みを 長への配布体解及と 長への配布体解及と の配架し、市内全域が の配架し、市内全域が がした。 砂膜型を提出した でのは変数に向いて があります。 砂膜型を があります。 砂膜型を があります。 があります。 でする。 でありまする。 でする。 でありまする。 でる。 でる。 でる。
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 登備 低免 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロに向けた迅速かつ的確, ップの作成・周知等 ・	着手 完了 は避難行動のため	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		以組みを継続 P見直し「件定で加する でプラウンドの対象 の学校を対象 の学校を対象 のプランドの対象		中で広域避難計画・する 模跡雨における浅 広域避難計画を及 、ザードマップを策 必地図の公表後、整 検討を行う	着手 完了 +H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・満水ハザードマップの策定に関する説明会を実施・済水ハザードマップを策定、会 戸配布 ・実施に向けた取り組みを継続 ・大変施に向けた取り組みを継続	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・漫水想定区域の見直しに伴 い、洪水・パザードマップを改定 を行った。 ・広域避難を反映した洪水・バードマップについては検討 中 ・震流・震声が、から発展がある。 ・震が流・恋類川に対応したター ムラインを策定済み		・現在・小夏川・科根川洗水差 動計画を発定の ・現在・小夏川・科根川洗水差 が出場の中では返避難計画 (第)を策定を収定を ・地区的災計画策定に向け取 ・地区的災計画策定に向け取 ・地区的災計画策定に向け取 ・地区のが受ける。 を事をしたを でいる逆離計画の対象災策の でいる逆離計画の対象災策の でいる逆離計画の対象災策の にいるである。 でいる逆離計画の対象災策の にいるである。 を事をしたを を事をしたを を を ・地区が災計画策定に対して を ・大規模に表に が ・大規模に を ・大規模に を ・大規模に を を ・大規模に を を ・大規模に を ・大規模に を を ・大規模に を を ・大規模に を を ・大規模に を を を ・大規模に を を を ・大規模に を を を を を を を を を を を を を	着手 - H28年度 - F	完了 7 日本度 を完成 1 日本 1 日	川・和根川洪水型雑計画 記載の一端として、細数 に対する内容を設定した。 川・外具川減災が伝域 を実施した。 川・小男川減災が伝域 を実施した。 川・小男川減災が伝域 を実施した。 川・小男川減災が高端の がザードック周囲短続の の2地区(4文間 地域) の2地区(4文間 地域) の34 と「20年度に対して東 は、14308) の34 は、14308) の34 は、14308) の34 は、14308) の34 は、14308) の34 は、14308) は、14308	● 配本度に小夏川・利潤・ ・ 市広報紙に、市が発行 ・ 市内の5地区(川原作・ ・ 市内の5地区(川原作・ ・ 市内を表した要を連出・ ・ 市内を表した要を連出・ ・ 市内を表した要を連出・ ・ 市内を表した要を連出・ ・ 市内を表した要を達出・ ・ 市内を表した要を達出・ ・ 市内を表した要と連ま・ ・ 市内を表した要と連ま・ ・ 中心をは変化を対した。 ・ 一名を観光を表した。 ・ 一名を表した。 ・ 一名を表した。	漢を策	・協議会の中で広境差 (案)を策定する ・拠定長大規模時間・水を対象に、広域を ・洗水浸水を地域に、広域を ・洗水浸水を地域に、 ・洗水浸水を地図の2 備に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 定している超報計画の 電力線を を支援する ・水管対応チェックリス み の、サイムラインにで 定を行なう ・マイ・タイムラインのが 進	着 おける決・H29 おける決・H29 表後、整・H28 おいて策・H29 トにより・H29 トにより・H29	手 完了 完プ 元 完プ 元 完プ 元 元 元 元 元 元 元	R2年 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東京で、「大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	収組みを継続 マップの見直しい。 アップの見直しい。 の配名を経験が、 の配名を解放が、 の配名を終めない。 に努める。 により、全戸をを対 が、 の対 が、 のが のが が、 のが が、 のが のが のが が、 のが	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	徳(に向)けた取組みを1 様(いザードマップの 長への配布体現れた 長への配布体現れた のの配架し、市内全域を がした。 砂川の中枢伊進に向 ・下の中枢伊進に向 ・下の中枢伊連に向 ・下の中枢伊連に向 ・大の大の子の見 ・大の大の子の見 ・水タイムラインの見 ・水タイムラインの見 ・水水タイムラインの見 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・ボージー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボ
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 登備 低免 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロに向けた迅速かつ的確/ ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を格えてあらか。 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を根よる場合を表現に悪き、場定を担よる場合を表現を表現を表現した。 ・	着手 完了 は避難行動のため	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		以組みを継続 P見直し「件定で加する でプラウンドの対象 の学校を対象 の学校を対象 のプランドの対象		中で広域避難計画 する 接際用における港 広域避難計画を反 ハヴードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う シの策定を行う	着手 完了 +H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・満水ハザードマップの策定に関する説明会を実施・済水ハザードマップを策定、会 戸配布 ・実施に向けた取り組みを継続 ・大変施に向けた取り組みを継続	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水器変医域の見重しに伴 り、洗水ハザードマップを改定 さらか、映画の場合では、 を行った。 では、 がサードマップについては検討 中。 ・震ヶ流、走瀬川に対応したター 人ラインを策定済み		現在、小貝川・科根川洪木選 開計制を実定中 実別川・小貝川・共議災対 協議をの中では返差難計画 (制)を東定する ・関東地整において、大規模次 ・地区防災計画策定に向け取 組の中では返差を ・地区防災計画策定に向け取 組の中では返見直し後、表 ・大規模ル窓区域見直し後、表 が一ドマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 組の中、本語を ・地区防災計画策定に向け取 を を を を を を を を を を を を を	着手 - H28年度 - F	完了 7年度 を	III・利根川浜水遅難計画 した。 塩域市の増起して、和数 域市市場ではこの正域 域市の大型では、一般では、一般では、 の大学など、 の大学など、 は、 は、 の大学など、 は、 の大学など、 は、 の大学など、 は、 の大学など、 の大学など、 の大学など、 の大学など、 でき、 でき、 でき、 でき、 でき、 でき、 でき、 でき	● RZ年度に小夏川・利潤・ ・市広報紙に、市が発力・ ・市広報紙に、市が発力・ ・市広報紙に、市が発力・ ・市の5地区(川原代・ ・ 大の10年で、大の1	漢を でマット	・協議会の中で広境差 (案)を策定する ・拠定長大規模時間・水を対象に、広域を ・洗水浸水を地域に、広域を ・洗水浸水を地域に、 ・洗水浸水を地図の2 備に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 定している超報計画の 電力線を を支援する ・水管対応チェックリス み の、サイムラインにで 定を行なう ・マイ・タイムラインのが 進	着 おける決・H29 おける決・H29 表後、整・H28 おいて策・H29 トにより・H29 トにより・H29	手 完了 完プ 元 完プ 元 完プ 元 元 元 元 元 元 元	R2年 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東京で、「大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	収組みを継続 マップの見直しい。 アップの見直しい。 の配名を経験が、 の配名を解放が、 の配名を終めない。 に努める。 により、全戸をを対 が、 の対 が、 のが のが が、 のが が、 のが のが のが が、 のが	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	徳(に向)けた取組みを1 様(いザードマップの 長への配布体現れた 長への配布体現れた のの配架し、市内全域を がした。 砂川の中枢伊進に向 ・下の中枢伊進に向 ・下の中枢伊連に向 ・下の中枢伊連に向 ・大の大の子の見 ・大の大の子の見 ・水タイムラインの見 ・水タイムラインの見 ・水水タイムラインの見 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・ボージー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボ
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ③広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ④広域避難計画の策定 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 登備 低免 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ロに向けた迅速かつ的確/ ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を格えてあらか。 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を根よる場合を表現に悪き、場定を担よる場合を表現を表現を表現した。 ・	着手 完了 は避難行動のため	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		以組みを継続 P見直し「件定で加する でプラウンドの対象 の学校を対象 の学校を対象 のプランドの対象		中で広域避難計画 する 接際用における港 広域避難計画を反 ハヴードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う シの策定を行う	## 完了 -H29年度 -R7年度 -H29年度 R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・満水ハザードマップの策定に関する説明会を実施・済水ハザードマップを策定、会 戸配布 ・実施に向けた取り組みを継続 ・大変施に向けた取り組みを継続	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水器変医域の見重しに伴 り、洗水ハザードマップを改定 さらか、映画の場合では、 を行った。 では、 がサードマップについては検討 中。 ・震ヶ流、走瀬川に対応したター 人ラインを策定済み		現在、小臭川・利根川洗水型 最計画を設定中 場別川・両見川・利根川洗水型 場別川・両見 地域域 30 対 協議会のではな遅難動計画 (東)を実定する ・地区防災計画策 定に向け取 ・地区防災計画策 定に向け取 ・地区防災計画策 定に向け取 ・地区防災計画策 定に向け取 ・地区防災計画策 定に向け取 ・地区防災計画策 定に向け取 ・地区防災計画策 定に向け取 ・地区防災計画策 定にの対象 を参考に拡充す 22 にいる運動計画の対象 32 転の ・では、変更を ・です。 ・では、変更を ・です。 ・では、変更を ・でを ・でを ・でを ・でを ・でを ・でを ・でを ・で	着手 - H28年度 - F	完了 7 年度 (本) 「東京 (本) 「東) 「東京 (本) 「東京	III・利根川浜水遅難計画 した。 塩域市の開催ではこれ、	● 配本度に小夏川・利潤・ ・ 市広報紙に、市が発行 ・ 市内の5地区(川原作・ ・ 市内の5地区(川原作・ ・ 市内を表した要を連出・ ・ 市内を表した要を連出・ ・ 市内を表した要を連出・ ・ 市内を表した要を連出・ ・ 市内を表した要を達出・ ・ 市内を表した要を達出・ ・ 市内を表した要と連ま・ ・ 市内を表した要と連ま・ ・ 中心をは変化を対した。 ・ 一名を観光を表した。 ・ 一名を表した。 ・ 一名を表した。	漢を策 でマンた。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・協議会の中で広境差 (案)を策定する ・拠定長大規模時間・水を対象に、広域を ・洗水浸水を地域に、広域を ・洗水浸水を地域に、 ・洗水浸水を地図の2 備に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 定している超報計画の 電力線を を支援する ・水管対応チェックリス み の、サイムラインにで 定を行なう ・マイ・タイムラインのが 進	着 おける決・H29 おける決・H29 表後、整・H28 おいて策・H29 トにより・H29 トにより・H29	手 完了 完プ 元 完プ 元 完プ 元 元 元 元 元 元 元	R2年 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東京で、「大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	収組みを継続 マップの見直しい。 アップの見直しい。 の配名を経験が、 の配名を解放が、 の配名を終めない。 に努める。 により、全戸をを対 が、 の対 が、 のが のが が、 のが が、 のが のが のが が、 のが	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	徳(に向)けた取組みを1 様(いザードマップの 長への配布体現れた 長への配布体現れた のの配架し、市内全域を がした。 砂川の中枢伊進に向 ・下の中枢伊進に向 ・下の中枢伊連に向 ・下の中枢伊連に向 ・大の大の子の見 ・大の大の子の見 ・水タイムラインの見 ・水タイムラインの見 ・水水タイムラインの見 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・ボージー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボ
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ の作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 理難指示の発令に着目したタイ ムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に 基づいた、マイ・タイムラインの作成	ロに向けた迅速かつ的確/ ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を格えてあらか。 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を根よる場合を表現に悪き、場定を担よる場合を表現を表現を表現した。 ・	着手 完了 は避難行動のため	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		以組みを継続 P見直し「件定で加する でプラウンドの対象 の学校を対象 の学校を対象 のプランドの対象		中で広域避難計画 する 接際用における港 広域避難計画を反 ハヴードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う シの策定を行う	## 完了 -H29年度 -R7年度 -H29年度 R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・満水ハザードマップの策定に関する説明会を実施・済水ハザードマップを策定、会 戸配布 ・実施に向けた取り組みを継続 ・大変施に向けた取り組みを継続	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水器変医域の見重しに伴 り、洗水パザードマップを改定 さられ、映画が表現の関連を対した。 がサードマップについては検討 中。 ・震ヶ浦、恋瀬川に対応したター ムラインを策定済み		現在、小貝川・科根川洪木選 開計制を実定中 実別川・小貝川・共議災対 協議をの中では返差難計画 (制)を東定する ・関東地整において、大規模次 ・地区防災計画策定に向け取 組の中では返差を ・地区防災計画策定に向け取 組の中では返見直し後、表 ・大規模ル窓区域見直し後、表 が一ドマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 組の中、本語を ・地区防災計画策定に向け取 を を を を を を を を を を を を を	着手 - H28年度 - F	完了 7 日本度 (本) 19 日本 (本) 1	III・利根川浜水型雑計画 した。 「地域市市村電で結び、作用五応程 (相互応程 (相互応程 (相互応程 (相互応程 (相互応程 (相互応程 (相)	● 配名 では、	漢を策 でつい ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	・協議会の中で広境差 (案)を策定する ・拠定長大規模時間・水を対象に、広域を ・洗水浸水を地域に、広域を ・洗水浸水を地域に、 ・洗水浸水を地図の2 備に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 定している超報計画の 電力線を を支援する ・水管対応チェックリス み の、サイムラインにで 定を行なう ・マイ・タイムラインのが 進	着 おける決・H29 おける決・H29 表後、整・H28 おいて策・H29 トにより・H29 トにより・H29	手 完了 完プ 元 完プ 元 完プ 元 元 元 元 元 元 元	R2年 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東京で、「大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	収組みを継続 マップの見直しい。 アップの見直しい。 の配名を経験が、 の配名を解放が、 の配名を終めない。 に努める。 により、全戸をを対 が、 の対 が、 のが のが が、 のが が、 のが のが のが が、 のが	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	徳(に向)けた取組みを1 様(いザードマップの 長への配布体現れた 長への配布体現れた のの配架し、市内全域を がした。 砂川の中枢伊進に向 ・下の中枢伊進に向 ・下の中枢伊連に向 ・下の中枢伊連に向 ・大の大の子の見 ・大の大の子の見 ・水タイムラインの見 ・水タイムラインの見 ・水水タイムラインの見 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・水水タイムラインの別 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・海が振機 ・ボージーン ・ボージー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボー ・ボ
域避難を考慮したハザードマ ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ の作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 理難指示の発令に着目したタイ ムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に 基づいた、マイ・タイムラインの作成	ロに向けた迅速かつ的確/ ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を格えてあらか。 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を根よる場合を表現に悪き、場定を担よる場合を表現を表現を表現した。 ・	着手 完了 は避難行動のため	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		以組みを継続 P見直し「件定で加する でプラウンドの対象 の学校を対象 の学校を対象 のプランドの対象		中で広域避難計画 する 接際用における港 広域避難計画を反 ハヴードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う シの策定を行う	## 完了 -H29年度 -R7年度 -H29年度 R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・満水ハザードマップの策定に関する説明会を実施・済水ハザードマップを策定、会 戸配布 ・実施に向けた取り組みを継続 ・大変施に向けた取り組みを継続	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水器変医域の見重しに伴 り、洗水パザードマップを改定 さられ、映画が表現の関連を対した。 がサードマップについては検討 中。 ・震ヶ浦、恋瀬川に対応したター ムラインを策定済み		現在、小貝川・科根川洪木選 開計制を策定中 実別川・内具川県域域災対 協議をの中では返差難計画 (制)を東定する ・関東地整において、大規模災 と関東地整において、大規模災 を関東地整において、大規模災 を関東地撃に対して、大規模災 を関東地撃に対して、 大規模氾濫区域見直し後、表 が一トマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 組め中 ・大規模氾濫区域見直し後、表 が一トマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 ・地区防災計画策定に向け取 を関東地撃に対するで、 ・地区防災計画策定に向け取 ・地区防災計画策定に向け取 ・地区防災計画策定に向け取 を関東地をは充済を ・で、で、で、で、 ・で、が に、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、	着手 - H28年度 - F	完了 7 日本度 使 (本) 1 日本	川・利根川浜水型雑計画 した。 型域市南村運用で相互応圧域 には、一般では、一般では、一般では、一般では、 一般を発生した。 川・外側川域以対策協議 を実定した。 川・外側川域以対策協議 を実定した。 川・外側川域以対策協議 を実定した。 川・外側川域以対策協議 を実定した。 川・外側川域以対策協議 を実施した。 川・外側川域以対策協議 を実施した。 川・外側川の最新の浸代した。 ののサビアのが、 のの地区には交融画の条 のの地区には交融画の条 のの地区には交融画の条 のには、変配を基に対象として位置 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	● 配名 では、	選手を でマット	・協議会の中で広境差 (案)を策定する ・拠定長大規模時間・水を対象に、広域を ・洗水浸水を地域に、広域を ・洗水浸水を地域に、 ・洗水浸水を地図の2 備に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 定している超報計画の 電力線を を支援する ・水管対応チェックリス み の、サイムラインにで 定を行なう ・マイ・タイムラインのが 進	着 おける決・H29 おける決・H29 表後、整・H28 おいて策・H29 トにより・H29 トにより・H29	手 完了 完プ 元 完プ 元 完プ 元 元 元 元 元 元 元	R2年 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東京で、「大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	収組みを継続 マップの見直しい。 アップの見直しい。 の配名を経験が、 の配名を解放が、 の配名を終めない。 に努める。 により、全戸をを対 が、 の対 が、 のが のが が、 のが が、 のが のが のが が、 のが	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	権に向けた取組みを 機に向けた取組みを 長への配布体解及と 長への配布体解及と の配架し、市内全域が の配架し、市内全域が がした。 砂膜型を提出した でのは変数に向いて があります。 砂膜型を があります。 砂膜型を があります。 があります。 でする。 でありまする。 でする。 でありまする。 でる。 でる。 でる。
域、避難を考慮したハザードマン 記定最大規模降雨による浸水整 医区域図の分表 20世 元 最大規模降雨による浸水整 医区域図の分表 30 元 域 避難計画の策定 3 元 域 避難を考慮したハザードマップの作成・ 周如等 5 志るごとまちごとハザードマップ を増・拡充 2 世 元 本 2 世 元 2 世 2 世	ロに向けた迅速かつ的確/ ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を格えてあらか。 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を根よる場合を表現に悪き、場定を担よる場合を表現を表現を表現した。 ・	着手 完了 は避難行動のため	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		以組みを継続 P見直し「件定で加する でプラウンドの対象 の学校を対象 の学校を対象 のプランドの対象		中で広域避難計画 する 接際用における港 広域避難計画を反 ハヴードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う シの策定を行う	## 完了 -H29年度 -R7年度 -H29年度 R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・満水ハザードマップの策定に関する説明会を実施・済水ハザードマップを策定、会 戸配布 ・実施に向けた取り組みを継続 ・大変施に向けた取り組みを継続	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水器変医域の見重しに伴 り、洗水パザードマップを改定 さられ、映画が表現の関連を対した。 がサードマップについては検討 中。 ・震ヶ浦、恋瀬川に対応したター ムラインを策定済み		現在、小貝川・科根川洪木選 開計制を策定中 実別川・内具川県域域災対 協議をの中では返差難計画 (制)を東定する ・関東地整において、大規模災 と関東地整において、大規模災 を関東地整において、大規模災 を関東地撃に対して、大規模災 を関東地撃に対して、 大規模氾濫区域見直し後、表 が一トマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 組め中 ・大規模氾濫区域見直し後、表 が一トマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 ・地区防災計画策定に向け取 を関東地撃に対するで、 ・地区防災計画策定に向け取 ・地区防災計画策定に向け取 ・地区防災計画策定に向け取 を関東地をは充済を ・で、で、で、で、 ・で、が に、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、	着手 - H28年度 - F	完了 7 日本度 使 (本) 1 日本	川・和根川洗水避難計画 能数の一端として、細数 に対する対象を対して、短く は本市村間を対象を対して、対象 は本市村間を対象を対して、対象 川・小貝川減災するに対象を対して、対象 川・小田の最新の浸水 は関窓を基定した。 川・利根川の最新の浸水 は関窓を対象とした。 川・利根川の最新の浸水 は関窓を対象として、 がザードマン周期如説活用 たっいては強金関係の ので地区のでは、文間前面の ので地区のでは、文間前面の ので特別では、 のでは、 には、は30.8) のでは、 のでは、 には、は30.8) のでは、 には、は30.8) のでは、 には、は30.8) のでは、 には、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	● 配車度に小夏川・利潤・ ・ 市広報紙に、市が発行 ・ 市内を発生した。(1) の形のと、独立を ・ 市内移転した。保証を ・ 市内移転した。保証を ・ 市内移転した。保証を ・ 市内移転した。保証を ・ 市内移転した。保証を ・ 市内移転した。保証を ・ 市内移転した。保証を ・ 市内移転した。保証を ・ 市内移転した。保証を ・ 市内移転した。 ・ 市内移・ ・ 市内が ・ 市	選手を でマット	・協議会の中で広境差 (案)を策定する ・拠定長大規模時間・水を対象に、広域を ・洗水浸水を地域に、広域を ・洗水浸水を地域に、 ・洗水浸水を地図の2 備に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 定している超報計画の 電力線を を支援する ・水管対応チェックリス み の、サイムラインにで 定を行なう ・マイ・タイムラインのが 進	着 おける決・H29 おける決・H29 表後、整・H28 おいて策・H29 トにより・H29 トにより・H29	手 完了 完プ 元 完プ 元 完プ 元 元 元 元 元 元 元	R2年 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東京で、「大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	収組みを継続 マップの見直しい。 アップの見直しい。 の配名を経験が、 の配名を解放が、 の配名を終めない。 に努める。 により、全戸をを対 が、 の対 が、 のが のが が、 のが が、 のが のが のが が、 のが	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	権に向けた取組みを 機に向けた取組みを 長への配布体解及と 長への配布体解及と の配架し、市内全域が の配架し、市内全域が がした。 砂膜型を提出した でのは変数に向いて があります。 砂膜型を があります。 砂膜型を があります。 があります。 でする。 でありまする。 でする。 でありまする。 でる。 でる。 でる。
域 避難を考慮したハザードマ ①想定義大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定義大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ 7の作成・周知等 ⑤漂配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 難指示の発令に着目したタイ ムラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイ ムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に 基づいた、マイ・タイムラインの作成	ロに向けた迅速かつ的確/ ップの作成・周知等 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を格えてあらか。 ・広域避難計画は未作成であるが、災害地定を根よる場合を表現に悪き、場定を担よる場合を表現を表現を表現した。 ・	着手 完了 は避難行動のため	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水想定区域の見直しに作い、洗水ハザードマップを改定し、市内全戸に配布する ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続		以組みを継続 P見直し「件定で加する でプラウンドの対象 の学校を対象 の学校を対象 のプランドの対象		中で広域避難計画 する 接際用における港 広域避難計画を反 ハヴードマップを策 総地図の公表後、整 検討を行う シの策定を行う	## 完了 -H29年度 -R7年度 -H29年度 R7年度 -H29年度 -R7年度	- R2年度実績 ・実施に向けた取り組みを継続 ・満水ハザードマップの策定に関する説明会を実施・済水ハザードマップを策定、会 戸配布 ・実施に向けた取り組みを継続 ・大変施に向けた取り組みを継続	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・実施に向けた取り組みを継続 ・浸水器変医域の見重しに伴 り、洗水パザードマップを改定 さられ、映画が表現の関連を対した。 がサードマップについては検討 中。 ・震ヶ浦、恋瀬川に対応したター ムラインを策定済み		現在、小貝川・科根川洪木選 開計制を策定中 実別川・内具川県域域災対 協議をの中では返差難計画 (制)を東定する ・関東地整において、大規模災 と関東地整において、大規模災 を関東地整において、大規模災 を関東地撃に対して、大規模災 を関東地撃に対して、 大規模氾濫区域見直し後、表 が一トマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 組め中 ・大規模氾濫区域見直し後、表 が一トマップを策定 ・地区防災計画策定に向け取 ・地区防災計画策定に向け取 を関東地撃に対するで、 ・地区防災計画策定に向け取 ・地区防災計画策定に向け取 ・地区防災計画策定に向け取 を関東地をは充済を ・で、で、で、で、 ・で、が に、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、の ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、	着手 - H28年度 - F	完了 7 日本度 使 (本) 1 日本	川・利根川浜水型雑計画 した。 型域市南村運用で相互応圧域 には、一般では、一般では、一般では、一般では、 一般を発生した。 川・外側川域以対策協議 を実定した。 川・外側川域以対策協議 を実定した。 川・外側川域以対策協議 を実定した。 川・外側川域以対策協議 を実定した。 川・外側川域以対策協議 を実施した。 川・外側川域以対策協議 を実施した。 川・外側川の最新の浸代した。 ののサビアのが、 のの地区には交融画の条 のの地区には交融画の条 のの地区には交融画の条 のには、変配を基に対象として位置 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	● 配名 では、	選手を でマット	・協議会の中で広境差 (案)を策定する ・拠定長大規模時間・水を対象に、広域を ・洗水浸水を地域に、広域を ・洗水浸水を地域に、 ・洗水浸水を地図の2 備に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設に 定している超報計画の 電力線を を支援する ・水管対応チェックリス み の、サイムラインにで 定を行なう ・マイ・タイムラインのが 進	着 おける決・H29 おける決・H29 表後、整・H28 おいて策・H29 トにより・H29 トにより・H29	手 完了 完プ 元 完プ 元 完プ 元 元 元 元 元 元 元	R2年 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東施に向けた 東京で、「大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	収組みを継続 マップの見直しい。 アップの見直しい。 の配名を経験が、 の配名を解放が、 の配名を終めない。 に努める。 により、全戸をを対 が、 の対 が、 のが のが が、 のが が、 のが のが のが が、 のが	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	権に向けた取組みを 機に向けた取組みを 長への配布体解及と 長への配布体解及と の配架し、市内全域が の配架し、市内全域が がした。 砂膜型を提出した でのは変数に向いて があります。 砂膜型を があります。 砂膜型を があります。 があります。 でする。 でありまする。 でする。 でありまする。 でる。 でる。 でる。

作成に必要な情報の提供

5排水準備計画の作成

R3年度

計画策定を検討中

・作成に必要な情報の提供

-R3年度 -R7年度

OR3取り組み状況について(個票)2/6 ●:実施済み、 ○:実施中(検討中を含む)、 △:実施に向けた取り組みを継続、 ×:実施していない、 ■:対象外 ●:実施済み、 ○:実施中(検討中を含む)、 △:実施に向けた取り組みを継続、 ×:実施していない、 ■:対象外 土浦市 石岡市 龍ケ崎市 鹿嶋市 項目 事項 内容 R2年度実績 実施状況 R3年度実績 実施状況 実施内容 R2年度実績 実施状況 R3年度実績 実施状況 実施内容 R2年度実績 実施状況 R3年度実績 実施状況 実施内容 R2年度実績 実施状況 R3年度実績 (3)防災教育や防災知識の普及 平時は防災危機管理課、発災 時は市民班の所掌業務として 災害総合相談窓口の開設・運 営に関することを行う ・平時は、問い合わせ内容に応 じて担当課で対応。災害時は、 防災危機管理課を窓口として対 ・水災害等に関する問い合わ 窓口を設置している。(平時に は市危機管理課で対応し、災 害対応時には相談窓口班によ る対応としている) ・水災害等に関する問い合わせ 窓口を設置している。(平時に は市危機管理課で対応し、災 害対応時には相談窓口班によ る対応としている) 8年度 -R7年度 -災害対応時には、交通防災 課、道路建設課、施設管理課に よる対応としている 問い合わせ窓口を設置する 合わせ窓口を設置する 問合せ窓口を設置している ①水災害に事前準備に関する問じ合わせ窓口の設置 ・流通経済大学・根川下流河川 務所・下館河川事務所と連携し 2/6に小貝川堤防決壊・0年シン ジウム〜龍ケ崎市市民防災力 2021~を開催し、災害の延 たない世代へ引き継ぐとともに、 書に対する危機意識を高める相 とした。 ・防災講演会等での実施を検討 28年度 ・R7年度 新型コロナウイルス感染症の 影響により訓練未実施 ヨタカローラ南茨城(株)土浦 地域防災訓練にて実施する 28年度 · R7年度 ・自治会や自主防災組織での 自治会や自主防災組織での 1~9/8下館河川事務所(鬼 1~9/8下館河川事務所(鬼窓 実施に向けて検討する R7年度 ·茨城県の避難力強化事業を マイ・タイムラインの作成や地 ・9/1~9/8下館河川事務所、鬼 窓川・小貝川下流域大規模氾 濫に関する減災対策協議会と 連携し常総市水害に関するパ ネルを展示予定 ・浸水想定区域対象地区にてマ イ・タイムライン作成講座を実施 し、住民の自助意識を啓発す 店にて防災に関するクイズや避 難所物資の展示等を行うイベン トを開催 川・小貝川下湾域大製沢盃に関する減災対策協議会と連携し需 総市水害に関するパネルを展示 ・地域からの英望によるものを中心 に、出前議座の中で防災を船に いての説明会を実施し、その中で 水災害の設明を行った ・小貝川・利根川の洪水浸水想定 区域対象地図、川原代地区・北文 間地図、にてマイ・タイムライン作 砂理集を実施 訓練時, 出前講座等で講話を 訓練時,出前講座等で講話を 実施 の危険箇所の再確認を行 実施し、マイ・タイムラインの作成や地域の危険箇所の再確認 た。
・地域からの要望を受けて、出 前講座の中で防災全般につい ての説明を実施し、その中で水 災害の内容を取り入れる。 を行った。
・地域からの要望によるものを中心に、出前講座の中で防災全般についての説明会を実施し、その中で水災害の説明を とした。
・利根川下流河川事務所と連携
し、8/20~8/27に、ショッピング・
ンターで小貝川堤防決壊40年の ・霞ヶ浦河川事務所の職員を講 師に、市内小学校で マメケノ ②水防災に関する説明会の開催 ムライン作成遺座を事施。 」、。 ト・中学校長及び高等学校長 タイムライン作成の説明をす 間地区)にてマイ・タイムライン作 成講座を実施 ・利根川の洪水浸水想定区域で る大宮地区にて防災士がファシリ テーターを務めたマイ・タイムライ ン作成講座を実施した。(R1.6) ンターで小貝川堤防決壊40年の ネル展示を実施。 ・地域からの要望によるものを中 、、出前講座の中で防災全般に いての説明会を実施し、その中 水災害の説明を行った。 ・霞ヶ浦河川事務所の協力の - 浸水想定区域にある小学校を 対象に講習会を実施する。 ・。学校担当課と調整し、小中 学生への講習会を教員も含め 検討・実施する。 小学校からの要望によるものを 中心に、説明会を実施し、その 中で水災害の説明を行った ・利根川下流河川事務所と連携 し、龍ケ崎西小学校で総合の時 - 例年、防災講演会への教員の - H30年度 - R7年度 新型コロナウイルス感染症の参加要請を行っている 新型コロナウイルス感染症の 影響により講演会中止 ・実施に向けた取り組みを継続 (・小中学生への講習会を教員 も含め事施) ・浸水想定区域にある小学校を 対象に講習会を実施する 間に水害に対する防災授業を ③教員を対象とした講習会の実施 ・利根川下流河川事務所と連携 し、龍ケ崎西小学校で総合の時間に水害に対する防災授業を 実施した。 ・中学校の防災訓練等に ・漫水想定区域にある小学校 で、洪水等に関する防災教室を 浸水想定区域にある小学校を 対象に、洪水等に関する防災 教室を実施 Tdooececathe 新型コロナウイルス感染症の 影響により訓練未実施 ・市内小中高校を対象に出前 座により実施する R7年度 ・市内小中学校を対象とした 災教育を一部の学校で実施 ・小・中学校の防災訓練等に併せて、防災士等に協力を要請 し、防災に対する講習等の実施 を推進する 災訓練において、水戸気象台 の支援を受けて、防災教育を実 ・市内一部の小中学校で実施・大宮地区の小学生を対象にマイ・タイムライン作成講座を実施した。(R1.6) ④小学生を対象とした防災教育の 施 ・市防災気象アドバイザー(委 ・大宮地区の小学生を対象にマ イ・タイムライン作成講座を実施 した。(R1.6) ・地域からの要望によるものを ・出前議座等を活用した護習会 H28年度 ・出前講座等を活用した講習会 H28年度 ・R7年度 地区の依頼に基づき2件事施 ・出前講座等を活用した講習会 H28年度 ・R7年度 自治会や自主防災組織での ・出前講座等を活用した講習会 大野中学校(10/25) 訓練時、出前講座等で講話を 実施 中心に、出前講座の中で防災 全般についての説明会を実施 し、その中で水災害の説明を 広報車、防災行政無線、メール ⑤出前講座等を活用した講習会の の実施 局松小字校(11/26) ・避難指示発令の際に、 ★ 市報等により、情報取得手段について適宜、周知している。 ・訓練や出前講座. 防災研修す ・避難勧告発令の際に、独居: ・広報誌等でのブッシュ型の洪 水予報等の情報入手手段の周 知を検討 市報等により、情報取得手段 について適宜、周知している。 情報の入手方法について啓発 訓練や出前講座, 防災研修会 ・広報車、防災行政無線、メー ·広報車、防災行政無線、 ・1A取単、防災行政無線、メール 億、エリアメールによって発信。 ・小貝川・利根川にてブッシュ型 メール配信サービスを実施した。 ・音声一方配信サービスを実施した。 大型、音楽を記憶サービスを導入し、 土砂災害警戒官域住民に電話で 土砂災害警戒情報を発表した。 (H286~) ・広戦車、防災行政無線、メール 信、エリアメールによって発信。 ・小貝川・利根川にでブッシュ型 メール配信サービスを実施した。 ・音声 一斉配信サービスを導入し 土砂災害警戒は壊往民に電話で 土砂災害警戒情報を発表した。 (1298~) ・防災アブリの導入(R2.8) ・丘塊間が充っています。 らしの高齢者へ直接避難を促 す電話連絡及び連絡が付かな い家への訪問を実施する。 ・広報車、防災行政無線、メー ル配信、エリアメールによって 発信 ・音声一斉配信サー ビスを導入 などで啓発 などで啓発 人へ直接避難を促す電話連系 及び連絡が付かない家への訂 及び連絡が付かない家への訪問を実施する。 ・広報車、防災行政無線、メール配信、ツイッター、フェイス ブック等によって配信。 ・ヤフー株式会社と災害時の協 定を締結し、ブッシュ型の情報 発信による体制強化を図った。 ⑥プッシュ型の洪水予報等の情報 ル配信、ツイッター、フェイス ブック等によって配信。 (H29.6~) ・防災アプリの導入(R2.8) ・市公式サイトにて、川の防災 情報のリンクを付し、情報提供 を行った(R2年度) ・市公式サイトにて、川の防災 情報(水位及びライブカメラ映 像)をリンクして、情報を提供し ている ・ホームページで川の防災情報 ・ホームページで川の防災情報 等をリンク先で提供する ・アルタイムで提供 マア年度 ・市公式サイトにて、川の防災情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報提供を行った。 128年度 -R7年度 -滅災対策協議会のリンクを設定する - 川の防災情報をリンクして情報提供を行なった。 市HPに川の防災情報リンク先 設定 ・市公式サイトにて、川の防災 情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報を提供し ている ・市公式サイトにて、川の防災情報(水位及びライブカメラ映像)をリンクして、情報提供を行った。 ・市公式サイトにて、川の防災 情報や水位情報、ライブカメラ 等で情報提供を行っている。 ・市公式サイトにて、川の防災 情報のリンクを付し、情報を提 供している +R3年度 ・R3年度 ・市公式サイトにて、川の防災 情報のリンクを付し、情報提供 を行った 市公式サイトにて、川の防災情報(水位及びライブカメラ映像) をリンクし、随時情報提供を行 R7年度 ・許可工作物管理者への防災 教育の取組みについて、関係 機関と協議を行った。 許可工作物管理者への防災教育の取組みについて、関係機 関と協議を行った。 ·R7年度 ・実施に向け内部検討中 事施に向け内部検討中 情報収集を図り、実施に向けて検討する 29年度 · R7年度 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 電ヶ浦では該当なし 露ヶ浦では該当な 国で行なう履行検査に合わせて実施する。 実施に向けて検討をする ⑧許可工作物管理者への防災教育の実施 . ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 1)より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 ・日頃の訓練や火災現場等に て実施 - 消防団が、水防団を兼務して | -H28年度 | -R3年度 | -消防団が、水防団を兼務して おり、伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場 | 等で行っている | では、日頃の訓練や火災現場 | 等で行っている - 消防団が、水防団を兼務して - 1427年度 - R7年度 おり、伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場 等で行っている。 ・消防団が、水防団を兼務し 水防訓練に併せ伝達訓練を実 ・実施済み 消防団兼任のため、普段から 継続実施 連絡体制の再確認を実施 消防団兼任のため、普段から 継続実施 おり、伝達の確認や実施につ ては、日頃の訓練や火災現場 等で行っている ①水防団等への連絡体制の再確 認と伝達訓練の実施 デジタル無線機及びトラ デジタル無線機及びトラ ・連絡体制を確保する ・消防団として連絡体制確保済 ・消防団として連絡体制確保済 連絡体制を確保する 各行動部長に携帯型無線機を 配備した 各行動部長に携帯型無線機 ・連絡体制について確保する 各消防団に携帯型無線機を S-水防団への無線機器の配 備計画策定中 ②水防団同士の連絡体制の確保 ・トランシーバーを2台配備 ③水防団や地域住民が参加する洪 要水防個所等の共同点検 がに対しリスクが高い区間の共同 を かった ・地域住民及び周辺自主防災 会とともに河川堤防重要箇所 の巡視に参加 ・毎年、河川事務所が実施する 重要水防箇所等の共同点検に 参加。 新型コロナウイルスの影響に り中止 ・河川事務所が実施している重要水防個所等の共同点検への 参加 R7年度 ・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施 ・新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため、霞ヶ浦中岸の点 検を担当のみで実施 ・河川事務所が実施する重要 防個所等の共同点検に参加。 · 交通防災課単独で実施 ・現在、消防団員が水防活動を 兼務しており、消防団員の募集 については広報誌、団員による 声かけや広報誌、ホームページ、コミニティーFM等で募集していく 実働水防訓練については、新型コロナウイルス感染症の影響 から中止。 毎年、消防本部主導の水防 練を実施 新型コロナウイルス感染症拡 大のため訓練中止 ・実施の必要性を精査し検討 ・実施に向けた取り組みを継 - 各関係機関が連準| タイ/ - 各関係機関が連携し、タイ。 ・ 各関係機関が連携した 新型コロナウイルス感染症拡 大のため訓練中止 ライン(小貝川・利根川対応)に 基づいた避難行動実働型の水 害対応訓練を実施)・小貝川・利根川洪水避難計画 に基づいた図上型訓練を実施。 ライン(小貝川・利根川対応)に基づいた避難行動実働型の水害対応訓練を実施)・小貝川・利根川洪水避難計画に基づいた図上型訓練を実施 加入促進を促すための募集広 報を実施。新たに5名の女性消 防団員が入団となった。 (ン(小貝川・利根川対応)に基 ぶいた避難行動実働型の水害 対応訓練を実施した ・H28年度に策定した小貝川・利 艮川洪水避難計画の検証を行 (H30.2) ・国土交通省と連携して川原代 地区にママイ・タイムライン検証 訓練を実施。 ・要配慮者利用施設に指定して いる介護福祉施設と連携して避 難訓練を実施した。(R1.6) ④関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ァ。 ・国土交通省と連携してマイ・タ イムライン検証訓練を行う。 (H30.2)
・国土交通省と連携して川原代 画工文庫目と連切して 地区にてマイタイムライン検証 訓練を実施。 ・要配慮者利用施設に指定して いる介護福祉施設と連携して 難訓練を実施した。(R1.6) ・市のイベント等や各分団において募集活動の実施チラシの配布のぼり旗の作成 R7年度 ・市報等での募集の実施を検 ・市報等での募集の実施を検 消防団昌が水防活動を兼務 水防団入団の募集広報を ・現在、消防団員が水防活動を 兼務しており、消防団員の募集 については広報誌、団員による ・実施の必要性を精査し検討す R7年度 ・実施に向けた取り組みを総 「小り四を兼効する消防団員6 加入促進を促すための募集広報を市広報誌やホームページ 掲載、市内行事において消防団を募集した」 ・wtt、河内四具が水防活動を 素務しており、消防団員の募集 については広報誌、団員による 声かけやコミニティーFMを利用 した募集活動を行い、新たに5 名の女性消防団員が入団と なった。 ・消防団員が示防活動を兼務 ており、消防団員の募集につしては広報誌、団員による声かし やホームページ等で募集してした。 ・水助団を煮焼する河助団貝の加入促進を促すための募集広報を市広報誌やホームページ 掲載,市内行事において消防団を募集した 広報紙、団員による声かけやコ ミュニティを活用した募集活動を 水防活動の担い手となる水防は カ団体の募集・指定を促進 ・水防団員募集チラシを作成、 全戸配布を実施(R2.11) ・水防団員募集チラシを作成、 全戸配布を実施(R2.11) ・建設業協会との災害協定締結 H29年度 ・R7年度 茨城県建設業協会土浦支部土 浦分会と災害協定締結済み ● ・実施の必要性を精査し検討す ・H29年度 ・R7年度 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 実施を検討する ・古建築業組会との間で 国水 ・市建築業組会との間で 国水 ★制について機能済み ·R7年度 ・休制について構築済み 引き続き維持する 書等の応急対策を含む災害協 定を結んでいる ・市建設業組合に小貝川・利根 害等の応急対策を含む災害協 定を結んでいる ・市建設業組合に小貝川・利根 ⑥地域の建設業者による水防支援 体制の検討・構築 川洪水避難図上型訓練に参加 してもらった 川洪水避難図上型訓練に参加 してもらった(R2年度) してもらった
H28年度 ・R7年度 ・担当課により点検や側溝等の
改修を行っており、また災害時
や平時に関わらず、必要な際に
は危険箇所の共有を行う ・作成済みの内水ハザードマッ・H28年度 R7年度 ・内水ハザードマップ作成済み ・消防. 消防団. 警察等と共同で、内水等の危険個所マップを 作成し共有する 市役所窓口で内水氾濫ハザー ドマップの配布するとともに、 ホームページで随時掲載する。 内水ハザードマップ作成済み ・H29年度 ・R7年度 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・担当課により占権を実施する ・担当課により占給や側蓋等の ○ ・区長、消防署員や水防団(消 防団員)と情報共有、点検を実 施済 128年度・R7年度 ・令和2年度 内水氾濫ハザ-改修を行っており、また災害時 や平時に関わらず、必要な際 は危険箇所の共有を行う 向けた地区へ 協力依頼を行う。 ・区長、消防署員、消防団員や 地区代表者と情報を共有する ための点検を実施した ・重要水防箇所・水防資機材等 -R3年度 -R7年度 の共同点検を実施。 各関係機関との水防箇所の点 検を実施予定。→新型コロナワイルスの影響により中止 ・重要水防箇所・水防資機材等 -R3年度 -R7年度 の共同点検を実施。 ・重要水防箇所・水防資機材等 の共同点検を実施。 ・R3年度 ・R7年度 ⑧重要水防箇所の見直し及び水防 資機材の確認 ・水防団員の募集、自主防災組・R3年度 機、企業等の参画を促すため の広報の検討、実施・R7年度 ・水防団員の募集、自主防災組 -R3年度 織、企業等の参画を促すため の広報の検討、実施 ・消防団と兼ねていることから消 防団の加入促進を行っている。・自主防災組織結成意向調査 の実施。 水防団員確保のための広報を 継続実施 消防団員が水防活動を兼務 ・水防団員募集チラシを作成、 全戸配布を実施(R2.11) ①水防に関する広報の充実(水防 引員確保に係る取組) ており、 消防団長の 券来に ン・ ては広報誌、 団員による声か! やホームページ等で募集してし 実践的な水防訓練の検討、実 ・R3年度 ・R7年度 ・実践的な水防訓練の検討、実 ・R3年度 。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実践的な水防訓練の検討、実 ·R3年度 ·例年、水防訓練(2組合·3組 ・実践的な水防訓練の検討、実 ·R3年度 ·R7年度 新型コロナウイルスの影響によ り水防訓練中止 合)に参加しているが、コロナ 中止となった。 - 広域的、効率的な水防活動の - R3年度 - R7年度 東海に向けた関係者間での連携、協力に 寄する検討 ・広域的、効率的な水防活動の 実施に向けた関係者との連携、 協力 ・広域的、効率的な水防活動の 実施に向けた関係者との連携、 協力 ・定期的に水防に関する会議等 ・広域の、効率的な水防活動の -R3年度 ・R7年度 実施にた。 ・原3年度 ・R7年度 実施にた。 ・原3年度 ・R7年度 実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 ・大規模水害を想定した市のハ ザードマップを基に、耐水化計 画を作成中[下水道課] ・排水ポンプの更新を計画的に -計画策定に向け関係機関と協 -H28年度 -R7年度 - 排水機場の運転に関する協定を見直し、平成29年5月に変更協定を締結した。 ①排水機場・樋門・水門等の情報 共有、排水手法等の検討を行い、 まで行った排水計画(案)の作 計画策定を検討中 ・給討する 29年度 · R7年度 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 共有、排水手法等の検討を行い、 大規模水害を想定した排水計画 (案)の作成 排水訓練については各排水施 設管理者等が各々で操作確認 等をしている ・排水訓練については各排水施設管理者等が各々で操作確認 等をしている 水防訓練との同時実施を検討 R7年度 ・防災訓練と合同で実施してい 防災訓練と合同で実施している 129年度 ·R7年度 ·計画策定を検討中 計画策定を検討中 検討する ・実施に向けた取り組みを継続 ・防災訓練と合同で実施してい ②排水訓練の実施 - 排水ポンプ等の設置箇所の 定まで行った排水計画(楽)の 作成 -計画策定に向け土地改良事務所などの関係機関から意見 ・計画策定に向け土地改良事務所などの関係機関から意見 ・要望の聞き取りを行った。 ・関係機関において現場確認を 実施。 ・計画策定に向け関係機関と議中 排水設備の耐水化 3年度 · R7年度 事施に向けた取り組みを継続 排水設備の耐水化 ・現在、耐水化計画の策定に同 排水設備の耐水化 D7年由 4)排水設備の耐水化

・実施に向けた取り組みを継続

作成に必要な情報の提供

·R3年度 ·R7年度

・作成に必要な情報の提供

・作成に必要な情報の提供

3年度 ·R7年度

OR3取り組み状況について(個票)3/6

			潮来市						稲敷市					かすみがうら市						洒市			
内容	実施内容	実施期間 着手 完	7 R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間 着手 完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況 実施内容	実施期間 着手 完了	R2年度実績	実施状況 R3年度	実績 実施	^{状況} 実施内容	実施期間 着手 完了	R2年度実績	遺 実	施状况 R3	年度実績	
の主な取組						•									•				•				
(を河川内で安全に流す対	策																						
優先的に実施する堤防整備																							
後元471~天記する柴房正備																							
優先的に実施する波浪対策																							
危機管理型ハード対策																							
 	hに答する其般等の整	#																					
雨量・水位等の観測データ及び	91-967 OEEE (197E)																						
水時の状況を把握・伝達するた の基盤の整備																							
	・防災無線の整備・改良を行う	·H28年度 R7年	度 ・防災無線のデジタル化改 (23子局の更新)	修 • r	市内完全デジタル化の整備済 戸別受信機が半導体不足に	•	防災無線デジタル化に伴う 施設計	実 ・H27年度 R7年度	・デジタル化への移行実施	•		・霞ヶ浦地区の防災行政無線・ ジタル化(H28年度~R3年度)	デ・H28年度 ・R7年度	H29年度デジタル親局(操作 s 整備実施済み	車) 市防災行政無線者 年計画完了による	講事業5か 5内全域の	市内全域に防災行政無線 外拡声子局を整備済	屋 ◆H28年度 R7年度	・防災ラジオを有償配布中 無償配布更供に該当する方	こついては 毎	・防災ラジオを有信無償配布悪性に制	配布中 当する方についてに	
			1227/2012	f	半い納品できない状況のため 引き続き受信機整備を進める),	防災無線(デジタル化)					進め、令和4年度には市内全地 の防災行政無線をデジタル化	或	H30·31年度屋外子局67局整備。R1·2年度屋外子局50局	を デジタル化完了 整		・防災ラジオを有償配布中		無償配布要件に該当する方に 償配布を実施中 【無償配布要件】		償配布を実施中 【無償配布要件】		
防災行政無線の改良、防災ラジ 等の配布												する		備。R2年度戸別受信機68局3 備。	№				○生活保護受給者 ○神栖市ひとり暮らし高齢者	等緊急通報シス	■ IO生活保護受給報	f らし高齢者等緊急通	
														(H28年度実施設計実施)					テム事業利用者 〇市が作成する避難行動要 録されている者と同一の世帯		テム事業利用者 〇市が作成する過	難行動要支援者名 司一の世帯に属する	
	・水防団員の安全を確保する	- H29年度 I-D7-	F度 ・実施に向けた取り組みを	業績 ^ =	方内11ヶ所に+のうステーシ	O E	・水防団員の安全を確保する	た ・H30年度 ・P7年度	R1の台風で水宝が発生! た	ы O		・上り効果めた姿塊対の和機が	- H28年度 - P7年度	・資機材等の購入(水のう・土	の ○ ・資機材等の配備	水のう・土の	・新技術を活田I た水吐薬	₩材 •H30年度 127年度		に属する者	録されている者と	ョーの世帯に属する	
水防活動を支援するための新技 と活用した水防資機材等の配備	めの資機材の充実を図る				の整備、耐候性土のうの推	進	めの資機材の充実を図る		R1の台風で水害が発生した 区に防災倉庫を設置し、水 を配備した。	等		検討する		う製作器・水難ボックスウォー ル)	- 「貝破物等の配備 う製作器・水難ボッ ル)	ウスウォー	新技術を活用した水防資料等の配備				/ -		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・H29年度 - ロマ	F度 ・実施に向けた取り組みを	維持 ^	POTEKA. ヴェザーニュー7笙小 ³	ă ^	-POTEKAの設置	-H28年度 □7年庫	・超高密度気象観測POTEK	A≶ ●		・但の設置採泊大多点につつ	X •H28年度 107年度	・H29年度P∩TFK ∧ 奶売 / 士+	内 ● ·H29年度POTEK	設置(市内	・水位計や量水畑 カメニハ	診 ⋅H29年度 D7年申	・㈱ウェザニューズへ水防対	審支援業務を承	·\$4 17+14	へ水防対策支援業	
商易水位計や量水標、CCTVカメ 手の設置	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・〜 へのトリハル双ツ組みを		POTEKA、ウェザーニュース等の導 し検討を実施	. 4	. O.L.OVIXIE	1120千皮 四/千茂	・超高密度気象観測POTEK 市内4カ所に設置	-		・無の設置状況を考慮しつう。 要であれば市でも設置を検討 る	す	4力所)	4力所)	-mvm: / (1) F.3	備		・Miフェザーユースへ示い対 託しており、その中で水位予 提供を受けている。	則情報等の情報	・Mil/エザーユール 託しており、その中 提供を受けている	で水位予測情報等	
	· 序条が温水根中原はは~+						・白密森雷壮学の科セルナー	ス . 山20年前 . ロフケー曲	・支所・地区センターの自家	* 0		。序金が温・和中ではリック	LI CONTRACTOR OF THE PROPERTY				・庁全が温・知中ではコー	fr. LI					
浸水時においても災害対応を継 するための施設の整備及び自家 電装置等の耐水化	川 音が皮小心定区域外であり 対象なし						・日家発電装直の耐水化を図・庁舎が浸水想定区域外であ 対象なし	り 11234度 117年度	・文所・地区センターの日家 電装置耐水化の対策を検討	F 0		・庁舎が浸水想定区域外であり 対象外	´				・庁舎が浸水想定区域外で 対象外	207					
電装置等の耐水化			r庫 .海帆乗卯人しホルバルム	(= b	建設業組合との応援協定に	t 0		日 . U00年度 カッケー	・近隣市町村との水防訓練			. 問題を使ししよう。 本は地よりなり	Lung de the locate the	. 田林林州 - 内山地山山 - 一	th militaria i	-U-424 ,Pen.	. 性・上・、一・ 事 事	. LI20在地 107左中	・由业技事に用されます。コ	去離 7 神本	. physiotherap resum	k 中ポンプ用ホース	
内水被害危険箇所の対策、排水 内水被害危険箇所の対策、排水	・水中ポンプの準備	-HZ8年度 -R7:	F度 ・建設業組合との応援協定 り B2年	l l	建設業組合との応援協定に いて、8/15の大雨時、市内1箇 所に排水ポンプの設置を実施	o o	・重要危険個所については共 点検等を計画予定・水防訓練等で水防工法実施	pj -H28年度 H/年度	・近隣印刷村との水防訓練 施。	• •		*関係課とともに対策を検討する	-H28平度 H/年度	・四休宅尤に内水排水ボンフ 置済み	・田伏地先に内水 置済み	水ポンプ設(排水ポンプの整備	*HZ9平度 IR/年度	・内水被害に備え水中ポンプ 倉庫に配備した。	でバ人し、頒答	・内水被害に備えし、備蓄倉庫に配		
ンプの準備			R2年 台風12号時 2箇所排水ポンプ設置	l l	ハーボハヤンノの放星で失能		小明即様々で小明工成長原	·													-		
ま事 ノンスの後处は ロナロフ	重要施設の雨水排水整備の 実施	·R3年度 ·R74		9	育財サイドとの排水設備を確認	W 0	・重要施設の雨水排水整備の 事施	・R3年度 ・R7年度				・重要施設の雨水排水整備の 実施	•R3年度 •R7年度			:	・重要施設の雨水排水整備	の ・R3年度 ・R7年度			・重要施設の雨水	排水整備の実施	
重要インフラの機能確保を図る ち、病院、市役所など重要施設 雨水排水整備の実施	大心						And					大肥					大肥						
可川防災ステーションの整備																							
ハハノ ノコノ V 正順																							
																						11 4- AAAA 196 3	
5	防災拠点の停電対策、災害が第用通信機器の増強等	付 •R3年度 •R74	度	1	非常用電源の補助設備として 000Wタイプ2基、3000Wタイプ	73	防災拠点の停電対策、災害毎用通信機器の増強等	対 ·R3年度 ·R7年度				防災拠点の停電対策、災害等毎用通信機器の増強等	対 ·R3年度 ·R7年度		非常用電源の確保	•	防災拠点の停電対策、災害用通信機器の増強等	■対 ・R3年度 ・R7年度			非常用電源の整備	「やIP無線機の導入	
庁舎等の防災拠点の強化	^{策用通信機器の増強等} 実施内容	実施期間	潮来市 R2年度実績	実施状況	*常用電源の補助設備として 00000タイプ2基、300000タイプ すの整備 R3年度実績	実施状況	・防災拠点の停電対策、災害 業用通信機器の増強等 実施内容	**** *** ****	稲敷市 R2年度実績	実施状況	R3年度実績	- 助政治点の希望対策、災害) 東用通信機器の増強等 実施状況 実施状況 実施状況	実施期間 若手 完了	かすみが う ら市 R2年度実績	非常用電源の値を 実施状況 R3年度	全積 実施	策用通信機器の増強等		神	栖市 責 実		年度実績	
庁舎等の防災拠点の強化 内容 の主な取組 ①逃げ遅れゼ	策用通信機器の増強等 実施内容 「ロに向けた迅速かつ的	実施期間	潮来市 R2年度実績	į	台の整備		策用通信機器の増強等	実施期間	稲敷市	実施状況	R3年度実績	策用通信機器の増強等	実施期間			雲積 実施	策用通信機器の増強等	実施期間	神				
庁舎等の防災拠点の強化 内容 内容 のまな取組 ①逃げ遅れゼ な避難を考慮したハザードマ 想定数大規模時間による浸水想	策用通信機器の増強等 実施内容 「ロに向けた迅速かつ的	実施期間	潮来市 R2年度実績	į	台の整備		策用通信機器の増強等	実施期間	稲敷市	実施状況	R3年度実績	策用通信機器の増強等	実施期間			宝績 実施	策用通信機器の増強等	実施期間	神				
庁舎等の防災拠点の強化 内容 内容 の主な取組 ① 逃げ遅れゼ 及避難を考慮したハザードマ 想定島大規模時間による浸水想 区域図の公表	策用通信機器の増強等 実施内容 「ロに向けた迅速かつ的	実施期間	潮来市 R2年度実績	į	台の整備		策用通信機器の増強等	実施期間	稲敷市	実施状況	R3年度実績	策用通信機器の増強等	実施期間			安績 実施	策用通信機器の増強等	実施期間	神				
庁舎等の防災拠点の強化 内容 の主な取組 ①述げ遅れゼ を選載を考慮したハザードマ 想定数大規模時間による浸水想 区域図の公安 規定終大規模時間による浸水想	策用通信機器の増強等 実施内容 「ロに向けた迅速かつ的	実施期間	潮来市 R2年度実績	į	台の整備		策用通信機器の増強等	実施期間	稲敷市	実施状況	R3年度実績	策用通信機器の増強等	実施期間			宝績 実施	策用通信機器の増強等	実施期間	神				
内容 内容 の主な取組 ①逃げ遅れゼ 成避難を考慮したハザードマ 想定急大規模降雨による浸水想 図域図の公表 想定急大規模降雨による泥水温 コミュレーションの公表	東用連倡機器の物法等 実施内容 「ロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画	実施期間着手 気確な避難行動の	潮来市 ア2年度実績 フための取組	実施状況	の整備 R3年度実績 平成29年2月に神祗、稲飲	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容	実施期間 著手 完了	和敷市 R2年度実績	和	R3年度実績	東用連信機器の増油等 実施状況 実施内容	実施期間 着手 完了	R2年度実績	実施状況 R3年度	を検討(策用通信機器の増強等	実施期間	神 R2年度実 + 	· 黄 · 李 · · · · · · · · · · · · · · · ·	施状況 RG	年度実績	
内容 ウンス	東用選信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等	実施期間着手 気確な避難行動の	瀬来市 ア R2年度実績 フ ための取組 15度 - 瀬来・福敷・神師・書取4。 本名協定をH2024時能 ・協定・自及20情報を形式	実施状況	京の整備 R3年度実績 平成29年2月に神祗、稲飲 現、親東の4市による大量観 及著書時におりては大量観	実施状況	業用通信機器の増強等	実施期間 著手 完了	福敷市 	相の	R3年度実績	東用通信機器の増油等 東施状況 東施状況 東施内容	実施期間 着手 完了	R2年度実績 - 広城遊園計画(家)を検討 - (市場 221、職権の石田市七)・ - (現現機工書所と対応広域型	実施状況 R3年度	を検討「関市と「大広域型構造」		実施期間 着手 一完了	神 R2年度集4 R2年度集4 1429に締結した実現4市に 神格市、書か市)に対機ない。 域型観の選択する協定	製来市、稲敷市、 智物における版	施状况 RS	年度実績 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
内容 ウェス 内容 ウェス 内容 ウェス 中では、 ウェス 中では、 ウェス 中では、 ウェス 中では、 ウェス 中では、 大学	東用連倡機器の物法等 実施内容 「ロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画	実施期間着手 気確な避難行動の	瀬来市 7 R2年度実績)ための取組	実施状況 財IC O iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	3の整備 R3年度実績 平成29年2月に神祗、羅教 BR、樹来の4市による大規	実施状况	策用通信機器の増強等 実施内容	実施期間 著手 完了	和敷市 R2年度実績 - 広域避難協定4市(湯来市 敷市、神橋市、電か所を設 (H222/郷4市/湯来市)大銀 市、神橋市、海南市/北銀	和・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R3年度実績	東用連信機器の増油等 実施状況 実施内容	実施期間 着手 完了	R2年度実績	実施状況 R3年度	を検討「関市と「大広域型構造」		実施期間 着手 一完了	神 R2年度実績 	製来市、稲敷市、 智物における版	施状况 RS	年度実績 水瓜4市(御来市、指 大規模水害等時におい する協定」について 建精場所の設定」について	
内容 内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 避免表現機降雨による浸水想 空息大規模降雨による浸水想 空間の公表 思定最大規模降雨による氾濫 ミュレーションの公表	東用連倡機器の物法等 実施内容 「ロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画	実施期間着手 気確な避難行動の	瀬来市 ア R2年度実績 フ ための取組 15度 - 瀬来・福敷・神師・書取4。 本名協定をH2024時能 ・協定・自及20情報を形式	実施状況 財IC O iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	平成29年2月に神祗、用飲 早取、29年2月に神祗、用飲 春取、湯本の4市による大坂 大坂 等前におって成場関係の 建修に関する協定と結構社成 連続に関する協定と結構社成	実施状况	策用通信機器の増強等 実施内容	実施期間 著手 完了	福敷市 R2年度実績	和・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R3年度実績	東用連信機器の増油等 実施状況 実施内容	実施期間 着手 完了	R2年度実績 - 広城遊園計画(家)を検討 - (市場 221、職権の石田市七)・ - (現現機工書所と対応広域型	実施状況 R3年度	を検討「関市と「大広域型構造」		実施期間 着手 一完了	神 R2年度実績 中292年積極した大調4年六 神器市、毎年市1大規模水 減過初の連携に関する協定、連載報 市で協築を取る。建築場所	製来市、稲敷市、 智物における版	施状況 R3	年度実績 水郷4市(湯来市、耶大規模水害等)におけずる協定について 建精等の形成といいて	
内容 内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 変更素大規模時間による浸水想 登成数の公表 は成別の公表 は成別の公表 は成別の公表	東用連信機器の物法等 実施内容 「ロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 マップの作成・原知等 ・協議会の中で広域避難計画 (策)を策定する	実施期間 着手	潮来市 ア R2年度実績 フための取組 F度 - 海来・電影・神野・景泉へ よる協定をH20 2時候・衛史 ・協定も市及ご類係名示と 別縁をH311実施	東施状況	R3年度実績 R3年度実績 平成29年2月に神祗、用飲 意歌、潮泉の4市による大規 意歌、潮泉の4市によりる広場理機の 最後に関する位場が上がりる広場理機の 最近に関する位場が あってニアルの作成実施	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 ・協議会の中で広域避難計画 (素)を満定する	東施期間 着手 完了	福敷市 R2年度実績 - 広境避難に24年(海末市 級市、神路市、参加市)にお て広域避難所(7箇所)を設 (1422 水郷市・高別市)と設 市・神経市、高別市)にお ・高野・162 元が立て域避難の連 ・「図する協立が立て域避難の連	稲い上数が、	R3年度実績	東用連信機器の増油等 実施状況 実施内容 実施状況 実施内容 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実施期間 着手 完了	R2年度実績 「広城温潤計画(家)を検討 ・「内り27、服装の石画市とけ、 規模水帯等における広城退 た。	実施状況 R3年度 - 広場避難計画(・R1927、開接の 規模水害時におけ の連携に関する値 た。	を検討「大阪とはアナートを持ちます」という。	東用連信機器の増強等 実施内容 ・広域差離計画の策定	実施期間 着手 完了	神	養 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗	施状況 R3 - 1420 2に締結した 神格市・客取市)「地理難の連携性目 市で協議を取る。 ● マニュアル等を作	年度実績 水器4市(福米市 福大規模水管等におけずる協定)について、 関連場所の設定及び 成立した。	
内容 ウまな取組 ①透げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 避定量大規模時間による浸水想 域図の公表 思定量大規模時間による氾濫 ミュレーションの公表	東用連倡機器の物法等 実施内容 「ロに向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画	実施期間 第手	瀬来市 了 R2年度実績 プナンの取組 F度 - 瀬末・福敷・神師・香取・よる協定を付22 海崎・協定・市及と関係を研じ、関係を示し、対策を研じ、フレント・レッチェアップ・アント・レッチェアップ・アント・レッチェアップ・アント・レッチェアップ・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド	実施状況	平成29年2月に神祗、翔教 東東、北京の4市による子規 東東、北京の4市による子規 東京、北京の4市による子規 東海に関する協定と連絡転し 市場でニュアルの作成実施 広項連携を等度したハザート マノブを含む総合的記マップを に成連携を制度したハザート マノブを含む総合的記マップを 原設し、今日4年名男ホームペー	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 ・協議会の中で広域避難計画 (素)を満定する	実施期間 着手 完了 - H28年度 R7年度 R7546 R7546 R7546 R7546 R7546 R7566 R75	福敷市 R2年度実績 - 佐城避렴協定4市(湯未市 教市、神橋市、書版市)にお て広域避開所で開所を設 ・ (1492×8年の(湯末市・)	稲い上数が、	R3年度実績	東用連信機器の増油等 実施状況 実施内容	実施期間 着手 完了	R2年度実績 「広場登野計画」家「を除計・ 中に22、無数のお画」が、 開発人業等により、近畿人で終める。 「の連携に関する協定」を締結 た。 「浸水物定区域の見重しに作 し、、洗水のザードマップを改 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度 - ・ 広域避難計画(第一年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	を検討「大阪とはアナートを持ちます」という。	東用連信機器の増強等 実施内容 ・広域差難計画の策定	実施期間 着手 完了	神 R2年度集4 	選集市、報要市、 報集市、報要市、 はいことがある。 の定及び、初助 に対応した選米 に対応し計画の。	施状況 RS - H29.2に締結した 神橋市・各坂市リー 東温度の選集に でニュアル等を作 ・ 最大規模のアメー ハザードマップを 4月とリヤ政区を 4月とリヤ政区を	年度実績 水器4市(潮来市、利 大規模水階がにおけ する。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	
内容 ウまな取組 ① 遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 避難を考慮したハザードマ 対域図の公表 が成功を表え規模時間による没水想 は図の公表 による犯者 による犯者 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画 ・場定最大限機器時間における。 メを移動に、広域剥散を行動	実施期間 第手	瀬来市 ア R2年度実績 アための取組 - 満来・福敷・神師・音歌・ 仏定を中22 神師・ 仏定を中22 神師・ 仏定・4市及以関係各所と開発を行う。1 実施 ・ 労の免令を信知するため、 ルンフルト(パゲートマン・1) に名称。1 に名称。1 に名称。1 に名称。1 に名称。1 に名称。1 に名称。1 に	実施状況	平成29年2月に神祗、稲敷 東、銀、銀本の4市による「本館」 東、銀、銀本の4市による「本館」 最近に関するはまるは、 最近に関するは、1840年 最近野、(ドナッ所)の設定、4 市でユンハケールの作成実施 は、連進圏を考慮したハゲート に境温圏を考慮したハゲート	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 ・協議会の中で広域型難計 (家)を演定する	実施期間 着手 完了 - H28年度 R7年度 R7546 R7546 R7546 R7546 R7546 R7566 R75	福敷市 R2年度実績 - 広域避難返24市(海東市 東京・神路市、書取市)にお で広域避難所(7箇所)を設 (1812 大郷中市(湘東市 朝 市・神経市、書取市)大郎 ・ 海市、大田本市 ・ 海市、大田本市 ・ 田野 今 協立 ・ 田野 今 田野 今 協立 ・ 田野 今 田野	稲い上数が、	R3年度実績	東用連信機器の増油等 東施状況 東施内容 - 塩腫金の中で圧減避費計画 東定するなど今後東定を検討 する	実施期間 着手 完了	R2年度実績 「広域避難計画(家)を検討 「R1927、開催の石田市とナ 原規末(書等における広域重要 「企業等によける広域重要 」と、ま水ハザードマップを改成 には、ま水ハザードマップと改成 に対する。「企業等に対する。」と、ま水ハザードマップとして記載した。	実施状況 R3年度 - ・ 広域避難計画(第一年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	を検討「大阪とはアナートを持ちます」という。	東用連信機器の増強等 実施内容 ・広域差難計画の策定	実施期間 着手 完了	神(2) 2 に締結した大乗4市(大 神橋市、書市市) 「対機水、 ・ では議を記。 選集 間 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	養 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施状況 RS - H29.2に締結した 神橋市・各坂市リー 東温度の選集に でニュアル等を作 ・ 最大規模のアメー ハザードマップを 4月とリヤ政区を 4月とリヤ政区を	年度実績 大規模水害時において、	
内容 ウまな取組 ① 遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 避難を考慮したハザードマ 対域図の公表 が成功を表え規模時間による没水想 は図の公表 による犯者 による犯者 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画 ・場定最大限機器時間における。 メを移動に、広域剥散を行動	実施期間 第手	瀬来市 了 R2年度実績 プナンの取組 F度 - 瀬末・福敷・神師・香取・よる協定を付22 海崎・協定・市及と関係を研じ、関係を示し、対策を研じ、フレント・レッチェアップ・アント・レッチェアップ・アント・レッチェアップ・アント・レッチェアップ・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド	実施状況	平成20年2月に神祗、稲飲 東歌、瀬本の4市による「大殿 東京、瀬本の4市による「大殿 大震等は、京市では全世の 大震等は、アート から、アート から、アート では、アー	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 ・協議会の中で広域型難計 (家)を演定する	実施期間 着手 完了 - H28年度 R7年度 R7546 R7546 R7546 R7546 R7546 R7566 R75	福敷市 R2年度実績 - 広域避難返24市(海東市 東京・神路市、書取市)にお で広域避難所(7箇所)を設 (1812 大郷中市(湘東市 朝 市・神経市、書取市)大郎 ・ 海市、大田本市 ・ 海市、大田本市 ・ 田野 今 協立 ・ 田野 今 田野 今 協立 ・ 田野 今 田野	稲い上数が、	R3年度実績	東用連信機器の増油等 東施状況 東施内容 - 塩腫金の中で圧減避費計画 東定するなど今後東定を検討 する	実施期間 着手 完了	・広城登園計画(家)を検討・(市) 321、勝様の石岡町に大川・(市) 321、勝様の石岡町に大川・(市) 321、勝様の石岡町に大川・(市) 322、 (東大部定区域の見直しに伴うい、法水・バザードマラブを設置・(東大部定区域の見直しに伴うい、法水・バザードマラブを表現・(東大部)を含取、マラブとして都市に対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りまされが表現が対して新りを持定に対して新りまされが対して新りに対して対対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対しに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対して新りに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに対しに	実施状況 R3年度 - ・ 広域避難計画(第一年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	を検討「大阪とはアナートを持ちます」という。	東用連信機器の増強等 実施内容 ・広域差難計画の策定	実施期間 着手 完了	神	養 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施状況 R: - 1420 21	年度実績 大規模水害時において、	
内容 ウまな取組 ①逃げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 避難を考慮したハガードマ 避難を考慮したハガードマ 対域図の公表 お定義大規模時間による没水想 域図の公表 な成型難計画の策定	東用連信機器の物強等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画 (業)を策定する ・数定最大規模時期における。 水を対象に、広域避難を反映 たる。	策施期限	瀬来市 ア R年度実績 ア ための取組 1 英来・福敷・神師・香取4・ 心流・市及が落めた。	実施状况	平成29年2月に神祗、稲敷 東、東京の4市による「大戦 東、東本の4市による「大戦 藤田に関する医生命輸出」の 設定機能に関する医生命輸出」の 設定機能に対する原文を構造したハザー ・アンアをも数を前なマッフを ・成立をおりまった。 ・パンアンプをよ、文年度製本し ・アンアもなりまった。 ・アンア・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 ・協議会の中で広域避難計画 (家)を策定する ・あ定量大規模時間における 水を対象に、広域遅遅を反映 た洪水ハザードマップを策定 る	実施期間 着手 完了	福敷市 R2年度実績 ・広域避難に24市(湯末市 ・広域避難所に当前に3 で広域避難所で当前を設 に14292水郷4市(湯末市 高水市)における広域避難の連 ・屋大泉水区域を反映した3 アザードマブを作成、H31.	稲□・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R3年度実績	東海通信機器の増強等 東施伏次 東施内容 ・協議会の中で広域避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・海水源水準定区域見順し後 市のハザードマップの作成の に併せて検討	実施期間 着手 完了	R2年度実績 - 広城温潤計画(家)を検討 - 市場1921、解集の石向南と大規模水等時における広域温度 - 「現場大部定区域の見慮しに役成。 - 「現本部では、日本部では、日本部では、日本のでは	実施状況 R3年度 - 広域避難計画(3 元 報 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	を検討 関市だけ、 関市に収差機 別を締結し 対金戸に配 でる引き続	業用通信機器の増強等 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザー マップの策定	- 実施期間 第手 元了 - H26年度 R7年度	神 R2年度実利 R2年度実利 P29 2に締組した大闘4市(神格市、豊東市)「大規模大演選挙の連携に関する位金、連結場所で マニュアル等を中成した。 「大規模の及水岩芝区域は タリナドマップを平成29年度 オリナドス区で選びて全弾、 スパザードマップ内に示して(アリードマップ内に示して(アリードマップ内に示して)	責 事来市、福敷市、福敷市、福敷市、福敷市、おける広について水郷場 総定及び、初助 を設定及び、初助・に作成、H3O、配布を実施。 に作成、H3O、配布を実施。 かる。	施状況 R3 - 1420 21 三輪結した 神格市・寄牧市が「地産難の連携性」 ・ マニュアル等を作 ・ 表大規模の達然・ パゲードマップを・ 4月より行政区と基づ・ 水ハザードマップ・ ホハザードマップ・ ホハザードマップ・ カード・・ マーカー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度実績 水郷4市(棚来市、指大規模水電時における協定)について 避難機所の設定及び 成した。 歴度区域に対応した。 歴度区域に対応した。 歴度区域に対応した。 歴度区域に対応した。 歴度区域に対応した。 歴度区域に対応した。 歴度に対応した。 歴史区域に対応した。	
内容 内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 記意気大規模時間による浸水想 は関節の公表 思定数大規模時間による浸水想 を関節の公表 た以避難計画の策定 た以避難計画の策定	東用連信機器の物強等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画 (業)を策定する ・数定最大規模時期における。 水を対象に、広域避難を反映 たる。	策施期限	瀬来市 ア R年度実績 ア ための取組 1 英来・福敷・神師・香取4・ 心流・市及が落めた。	実施状況 実施状況	平成29年2月に神橋、稲敷 東東、銀本の4市による「大殿 東東、銀本の4市による「大殿 東東、銀本の4市による「大殿 東京、北京の4市による「大殿 東京、北京の4市による「大阪 東京、東京の4年3日 東京、東京の4年3日 市でユュアルの作成実施 は、東京、20年度製工したパザー 中京、20年度製工したパケー 下京、20年度製工した。 下京の4年3日末ームペー にアップラを、20年度製工した。 下京の4年3日末ームペー にアップラを、20年度製工した。 下京の5年度に電性公会で109 下、防災無線BOXを活用し20 下、防災無線BOXを活用し20	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 ・協議会の中で広域避難計画 (家)を策定する ・あ定量大規模時間における 水を対象に、広域遅遅を反映 た洪水ハザードマップを策定 る	実施期間 着手 完了	福敷市 R2年度実績 - 広域避難返24市(海東市 東京・神路市、書取市)にお で広域避難所(7箇所)を設 (1812 大郷中市(湘東市 朝 市・神経市、書取市)大郎 ・ 海市、大田本市 ・ 海市、大田本市 ・ 田野 今 協立 ・ 田野 今 田野 今 協立 ・ 田野 今 田野	稲□・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R3年度実績	東用連信機器の増油等 東施状況 東施内容 - 塩腫金の中で圧減避費計画 東定するなど今後東定を検討 する	実施期間 着手 完了	R2年度実績 - 広城温潤計画(家)を検討 - 市場1921、解集の石向南と大規模水等時における広域温度 - 「現場大部定区域の見慮しに役成。 - 「現本部では、日本部では、日本部では、日本のでは	実施状況 R3年度 - ・ 広域避難計画(第一年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	を検討 関市だけ、 関市に収差機 別を締結し 対金戸に配 でる引き続	業用通信機器の増強等 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザー マップの策定	- 実施期間 第手 元了 - H26年度 R7年度	神	責 事来市、福敷市、福敷市、福敷市、福敷市、おける広について水郷場 総定及び、初助 を設定及び、初助・に作成、H3O、配布を実施。 に作成、H3O、配布を実施。 かる。	施状況 R3 - 1420 21 三輪結した 神格市・寄牧市が「地産難の連携性」 ・ マニュアル等を作 ・ 表大規模の達然・ パゲードマップを・ 4月より行政区と基づ・ 水ハザードマップ・ ホハザードマップ・ ホハザードマップ・ カード・・ マーカー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年度実績 水型4市(潮来市、計大規模水害時における協定別について 避難場所の設定及び 成した。 歴定区域に対応した。 歴史区域に対応した。 歴史区域に対応した。 歴史区域に対応した。 歴史区域に対応した。 歴史区域に対応した。	
内容 内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 変を表大規模時間による浸水想 地域の公表 地域の公表 な成型難計画の策定 な成型難計画の策定	策用連倡機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画 (策)を実定する ・投資量大規模降雨における。 水を資象に、広域避難を反映 た洪水ハザードマップを策定す る ・洗水浸水配地図の公表後、記 置に向けた検討を行う	実施期間 着手	瀬来市 アクト	実施状况 東施状况	平成29年2月に神福、稲飲 規 平成29年2月に神福、稲飲 規 等取、湖末の4市による計大規 が書待における協定とを情報と、 が当たったが がマニュアルの作成実施 はは、国教を考慮したパザード シアを含む総合的以マッフを には、選挙を考慮したパザード による主義的が以マッフを によってアンファン と下配布予定 次年度製本し に、防災無線的公を活用し20 所の計30箇所設置(累計4 所所)	実施状況	集用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 ・返議会の中で広境型難計画 (業)を策定する ・必定最大規模時間における 水を対象に、広境避難を反映 なたが、広境運動を反映 も ・ 選出に同けた検討を行う	変施期間 着手 完了	福敷市 R2年度実績 - 広爆避難協定4市(湯末市 敷市、神路市、毒液市)に関係を設 (H292水郷4市(湯末市、 市・神路市、春放市)に大規 事件事件、春放市)に大規 事件事件、春放市)に大規 事件事件。 最大漫水医校見に送 ハザードマップを作成、H31. 戸配布彦 ・実施済市町村を模様、幕 河町で検討中。	稲田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R3年度楽績	東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 ・塩腫者の中で圧壊避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・洪水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の! に併せて検討 ・洗水浸水器定区域図の企業 後、設置に向けた検討を行う	実施期間 着手 完了	R2年度実績 - 広城温潤計画(家)を検討 - 市場1921、解集の石向南と大規模水等時における広域温度 - 「現場大部定区域の見慮しに役成。 - 「現本部では、日本部では、日本部では、日本のでは	実施状況 R3年度 - 広域避難計画(3 元 報 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	を検討 関市だけ、 関市に収差機 別を締結し 対金戸に配 でる引き続	東用連信機器の増速等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザ・ マップの策定 ・変ることまちごとハザード フを摘	 実施期間 着手 完了 -H28年度 R7年度 -H29年度 R7年度 	神 R2年度集4 14292に締結した英星4市に 神橋市、書か市)に規模が、 が選組の選択する協定 市で協議を割ね、選輯場所の でニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水密定区域に カードマップを平成24年度 ・東書館及に参えて、広境制 ボッサーデックプトでの自然及割に を記載した表示者をを整備す	養 事業市、稲敷市、 ・	施状況 RS - 1420 21 に締結した 神格市・意立像性にあった。 市で協議を取る。 市で協議を取る。 ・ 表大規模の浸水 ハザードマップを ・ おりての言なる。 ・ 対している。 ・ 対して	年度実績 水型4市(個米市、科大規模水害時におけて 大規模域が密向におけて 財政の名を定して 関定区域に対対によって 関定区域に対対によって 関定区域に対対によって 関定区域に対対によって 関定区域に対対によって 関定区域に対対して が、これでは 関連が 対して が、これで が、 が、 にれで が、 が、 にれで が、 が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 が、 にれで が、 が、 にれで が、 にれで が、 が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 にれで が、 にれで にれで にれで にれで にれで にれで にれで にれで	
内容 内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 変を表光規模時間による浸水想 地域の公表 地域の公表 な成型難計画の策定 な成型難計画の策定	策用連倡機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画 (策)を実定する ・投資量大規模降雨における。 水を資象に、広域避難を反映 た洪水ハザードマップを策定す る ・洗水浸水配地図の公表後、記 置に向けた検討を行う	実施期間 着手	潜来市 アントのの取組 下度 - 東京・福祉・海原・香泉ムームとは下されのの取組 下度 - 東京・福祉・市政・香泉ムームとは下されの3種館・加速を1431実施 東京 - 東京 - 東京 - 市内の没水深肥優のたった。 「東京 - 市内の没水深肥優のたった。」 「東京 - 市のおまた。上間・計画・計画・下のおまた。上間・計画・計画・	実施状况 実施状况	平成29年2月に神祗、稲飲 東京、海本の4市による計大規 東京、海本の4市による計大規 水・香帯における協定と各種制に が10分割でニュアルの作成実施 は、10分割でニュアルの作成実施 なは進載を考慮したハザート でニュアルの作成実施 なは、20十年度 が10分割で が10分割で が10分割を が10分割で が10分割を	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・拡減金の中で広域型難計画 (集)を実定する ・処定器大規模時間における状态が終生。広域避難を反映 ・光光が大地・デマップを策定 る。 ・洪水・ボードマップを策定 る。 ・洪水・ボードマップを検定を呼 ・選本・選本・大きが発生を呼 ・選本・大きが表生を呼 ・選本・大きが表生を使	実施期間 着手 完了 - H28年度 R7年度 以 - H29年度 R7年度 (R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度	福敷市 R2年度実績 ・広域避難に24市(湯末市 ・広域避難所に当前に3 で広域避難所で当前を設 に14292水郷4市(湯末市 高水市)における広域避難の連 ・屋大泉水区域を反映した3 アザードマブを作成、H31.	報から数数が表示を	R3年度実績	東海通信機器の増強等 東施伏次 東施内容 ・協議会の中で広域避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・海水源水準定区域見順し後 市のハザードマップの作成の に併せて検討	実施期間 着手 完了	R2年度実績 - 広城温潤計画(家)を検討 - 市場1921、解集の石向南と大規模水等時における広域温度 - 「現場大部定区域の見慮しに役成。 - 「現本部では、日本部では、日本部では、日本のでは	実施状況 R3年度 - 広域避難計画(3 元 報 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	を検討 関市だけ、 関市に収差機 別を締結し 対金戸に配 でる引き続	東用連信機器の増速等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザ・ マップの策定 ・まることまちごとハザード フを摘	 実施期間 着手 完了 -H28年度 R7年度 -H29年度 R7年度 	神	養	施状況 R:	年度実績 本展集を指揮を下標本で、 大規模を書きたい。 を表現しまする他定について、 を表現しまする他定にできません。 を表現しまする他では、 を表現しまする。 を表現しまする。 を表現しまする。 が、このでは、 が、できます。 が、できまます。 が、できます。 が、できます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	
内容 内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 変を表光規模時間による浸水想 地域の公表 地域の公表 な成型難計画の策定 な成型難計画の策定	策用連倡機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 ・協議会の中で広域避難計画 (策)を実定する ・投資量大規模降雨における。 水を資象に、広域避難を反映 た洪水ハザードマップを策定す る ・洗水浸水配地図の公表後、記 置に向けた検討を行う	実施期間 着手	瀬来市 ア R2年度実績 アための取組	実施状況	R3年度実績 平成29年2月に神祗、用飲 要取、湯末の4市による大規 要取、湯末の4市による大規 要取、湯末の4市による大規 選出版に関する広域理理の 選選期所、6村フ州の作成実施 広域理程を考慮したハザート アップを含む総合防収マッフを (成し令和ロギ3月ホームへー にアンプラ定。文学度要本 「原の本等の国所設度、元学年度 原の本等の国所設度、元学年度 原の新るの国所設度、元学年度 原列・高の音楽度に管理公舎で10目 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・低温会の中で広域避難計量 (案)を実定する ・想定最大規模時期における 水を対象に、広域避難を反映 た洗水ハザードマップを策定 直に向けた検討を行う	実施期間 着手 完了 - H28年度 R7年度 以 - H29年度 R7年度 (R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度	福敷市 R2年度実績 - 広爆避難協定4市(湯末市 敷市、神路市、毒液市)に関係を設 (H292水郷4市(湯末市、 市・神路市、春放市)に大規 調味者の(海球市、 一大型大型大型(海球市) 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	稲田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R3年度実績	東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 ・塩腫者の中で圧壊避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・洪水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の! に併せて検討 ・洗水浸水器定区域図の企業 後、設置に向けた検討を行う	実施期間 着手 完了	R2年度実績 - 広城温潤計画(家)を検討 - 市場1921、解集の石向南と大規模水等時における広域温度 - 「現場大部定区域の見慮しに役成。 - 「現本部では、日本部では、日本部では、日本のでは	実施状況 R3年度 - 広域避難計画(3 元 報 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	を検討 関市だけ、 関市に収差機 別を締結し 対金戸に配 でる引き続	東用連信機器の増速等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザ・ マップの策定 ・まることまちごとハザード フを摘	 実施期間 着手 完了 -H28年度 R7年度 -H29年度 R7年度 	神(日) 12年度美術 (日) 12年度美術 (日) 12年度美術 (日) 12年度美術 (日) 12年度 (責 制業市、稲敷市、 総称における広 に対して、 が成した漢水 に作成を実施 に作成を実施 にでいて、 が成した。 はの記録集を表 対応しているか は ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	施状況 RS -H20 2[に締結した 神格市、各取市)「 域差質の連携性を ・ でニュアル等を作 ・ 表大規模の浸水・ ・ 表大規模の浸水・ ・ ボードマップを・ ・ オーギがたびよう。 ・ 対・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	年度実績 本展集を指揮を下標本で、 大規模を書きたい。 を表現しまする他定について、 を表現しまする他定にできません。 を表現しまする他では、 を表現しまする。 を表現しまする。 を表現しまする。 が、このでは、 が、できます。 が、できまます。 が、できます。 が、できます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまます。 が、できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	
内容 ウまな取組 ①述げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 要を最大規模時期による浸水想 な場別の公表 要定量大規模時期による浸水想 要定量大規模時期による必要 まュュレーションの公表 まったージョンの公表 まったージョンの公表 まったージョンの公表 を被避難計画の策定 まるごとまちごとハザードマップ 事・拡充 要応慮者利用施設の避難計画 等成及び別様の促進	策用選倡機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 「協議会の中で広域避難計画 集定まする ・協議会の中で広域避難計画 ・協議会の中で広域避難計画 ・協議会を実施した。広域避難を反映 ・光水浸水肥地図の公表後、記 定にている連載計画の発定計 で定している連載計画の発定計 でにしている連載計画の発定計 ののいて、計画が良いとして位づって、運動調練等を支援する	実施期間 着手	潮来市 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 6 R3 P4 R4 P4	実施状況	平成29年2月に神祗、稲飲 東京、海本の4市による計大規 東京、海本の4市による計大規 水・香帯における協定と各種制に が10分割でニュアルの作成実施 は、10分割でニュアルの作成実施 なは進載を考慮したハザート でニュアルの作成実施 なは、20十年度 が10分割で が10分割で が10分割を が10分割で が10分割を	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・ (塩油会の中で広域避難計画 (家)を策定する ・ 必定最大規模時雨における 水を対象に、広域避難を反映 た 洗水ハザードマップを策定 る。 (満水浸水総地図の公表後、 置に向けた検討を行う ・ 要配面書利用除設において 変している避難計画の東定 の中に水等も効象として位	実施期間 着手 完了 - H28年度 R7年度 以 - H29年度 R7年度 (R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度	福敷市 R2年度実績 - 広爆避難協定4市(湯末市 敷市、神路市、毒液市)に関係を設 (H292水郷4市(湯末市、 市・神路市、春放市)に大規 調味者の(海球市、 一大型大型大型(海球市) 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	稲田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	R3年度実績	東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 ・塩腫者の中で圧壊避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・洪水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の! に併せて検討 ・洗水浸水器定区域図の企業 後、設置に向けた検討を行う	実施期間 着手 完了	R2年度実績 - 広城温潤計画(家)を検討 - 市場1921、解集の石向南と大規模水等時における広域温度 - 「現場大部定区域の見慮しに役成。 - 「現本部では、日本部では、日本部では、日本のでは	実施状況 R3年度 - 広域避難計画(3 元 報 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	を検討 関市だけ、 関市に収差機 別を締結し 対金戸に配 でる引き続	東用連信機器の増速等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザ・ マップの策定 ・まることまちごとハザード フを摘	 実施期間 着手 完了 -H28年度 R7年度 -H29年度 R7年度 	神・ R2年度実利 R2年度実利 R2年度実利 R2年度実利 R2年度実利 R2年度実利 R2年度実利 R2年度実利 R2年度実利 R2年度 R3年間 R3年間 R3年間 R3年間 R3年間 R3年間 R3年間 R3年間	責 制業市、稲敷市、 総称における広 に対して、 が成した漢水 に作成を実施 に作成を実施 にでいて、 が成した。 はの記録集を表 対応しているか は ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	施状況 R:	年度実績 本題(標本市 報本市 報本 を	
内容 内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 避難を考慮したハザードマ を選集大規模時間による浸水想 を関係図の公表 はは上のションの公表 はは避難計画の策定 はは避難計画の策定 はは必要 はないザードマッ はが、周知等 にないザードマップ 高 拡充 要記慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 は指示の発令に着目したター	策用選倡機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 「協議会の中で広域避難計画 集定まする ・協議会の中で広域避難計画 ・協議会の中で広域避難計画 ・協議会を実施した。広域避難を反映 ・光水浸水肥地図の公表後、記 定にている連載計画の発定計 で定している連載計画の発定計 でにしている連載計画の発定計 ののいて、計画が良いとして位づって、運動調練等を支援する	実施期間 着手	潮来市 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 6 R3 P4 R4 P4	実施状况 東施状况 東施状況 東藤状況	平成29年2月に神祗、	実施状況 ・	策用通信機器の増強等 実施内容 ・位請会の中で広域避難計量 (家)を策定する ・一型定最大規模時間における 水を対象に、広域避難を反映 た洗水ハザードマップを策定 る ・「満水浸水総地図の公表後、 窓上では、過難計器の配としてい 定している理解計器の配としてい づけ、避難訓練等を支援する づけ、避難訓練等を支援する	実施期間 着手 完了 <td color="2" color<="" rowspan="2" td=""><td>福敷市 R2年度実績 - 佐城迎祖佐定4市(湯未市 敷市、神植市、香港市)にお て広域型開所(旧原)を設 ・ (1922水陽・ (18年市) (18年市 を 市 神経市、香港市) (大規 ・ (1923水陽・ (18年市 ・</td><td>和から飲飲水</td><td>R3年度実績</td><td>東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 ・塩腫者の中で圧壊避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・洪水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の! に併せて検討 ・洗水浸水器定区域図の企業 後、設置に向けた検討を行う</td><td>実施期間 着手 完了</td><td>・広城温野計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>実施状況 R3年度 ○ ・</td><td>を検討 (同市に「大阪工場」 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)</td><td>業用連信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差離計画の策定 ・変化とまちごとハザー・フ整備 ・変化とまちごとハザー・フ整備 ・変化とまちごとがサード ・変化を有用能能の差極 ・変化を有用を表が変</td><td>実施期間 着手 完了 ・H28年度 R7年度 ・H29年度 R7年度 計: H29年度 R7年度</td><td>神(292に締結した水間4市() 神橋市、香港市)「大坂橋水市() 神橋市、香港市)「大坂橋水市 東京 (1987年年度)、東京 (1987年年度)、東京 (1987年年度)、東京 (1987年度)、東京 (1987年度)、</td><td>養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東</td><td>施状況 R:</td><td>年度楽績 水臓4年(潮来市 期 大規模は大きない。 大規模は大きない。 として全戸配子の設定及び 成した。 以上で全戸配子度に作成。 に、広域避難の避難り 、に、広域避難の避難り 、に、成域避難の避難り が、いましている。 然災害に対応してい 板を整備中 は内の東配慮者難解 が入め防施策と避難解</td></td>	<td>福敷市 R2年度実績 - 佐城迎祖佐定4市(湯未市 敷市、神植市、香港市)にお て広域型開所(旧原)を設 ・ (1922水陽・ (18年市) (18年市 を 市 神経市、香港市) (大規 ・ (1923水陽・ (18年市 ・</td> <td>和から飲飲水</td> <td>R3年度実績</td> <td>東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 ・塩腫者の中で圧壊避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・洪水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の! に併せて検討 ・洗水浸水器定区域図の企業 後、設置に向けた検討を行う</td> <td>実施期間 着手 完了</td> <td>・広城温野計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>実施状況 R3年度 ○ ・</td> <td>を検討 (同市に「大阪工場」 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)</td> <td>業用連信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差離計画の策定 ・変化とまちごとハザー・フ整備 ・変化とまちごとハザー・フ整備 ・変化とまちごとがサード ・変化を有用能能の差極 ・変化を有用を表が変</td> <td>実施期間 着手 完了 ・H28年度 R7年度 ・H29年度 R7年度 計: H29年度 R7年度</td> <td>神(292に締結した水間4市() 神橋市、香港市)「大坂橋水市() 神橋市、香港市)「大坂橋水市 東京 (1987年年度)、東京 (1987年年度)、東京 (1987年年度)、東京 (1987年度)、東京 (1987年度)、</td> <td>養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東</td> <td>施状況 R:</td> <td>年度楽績 水臓4年(潮来市 期 大規模は大きない。 大規模は大きない。 として全戸配子の設定及び 成した。 以上で全戸配子度に作成。 に、広域避難の避難り 、に、広域避難の避難り 、に、成域避難の避難り が、いましている。 然災害に対応してい 板を整備中 は内の東配慮者難解 が入め防施策と避難解</td>	福敷市 R2年度実績 - 佐城迎祖佐定4市(湯未市 敷市、神植市、香港市)にお て広域型開所(旧原)を設 ・ (1922水陽・ (18年市) (18年市 を 市 神経市、香港市) (大規 ・ (1923水陽・ (18年市 ・	和から飲飲水	R3年度実績	東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 ・塩腫者の中で圧壊避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・洪水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の! に併せて検討 ・洗水浸水器定区域図の企業 後、設置に向けた検討を行う	実施期間 着手 完了	・広城温野計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度 ○ ・	を検討 (同市に「大阪工場」 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	業用連信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差離計画の策定 ・変化とまちごとハザー・フ整備 ・変化とまちごとハザー・フ整備 ・変化とまちごとがサード ・変化を有用能能の差極 ・変化を有用を表が変	実施期間 着手 完了 ・H28年度 R7年度 ・H29年度 R7年度 計: H29年度 R7年度	神(292に締結した水間4市() 神橋市、香港市)「大坂橋水市() 神橋市、香港市)「大坂橋水市 東京 (1987年年度)、東京 (1987年年度)、東京 (1987年年度)、東京 (1987年度)、東京 (1987年度)、	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R:	年度楽績 水臓4年(潮来市 期 大規模は大きない。 大規模は大きない。 として全戸配子の設定及び 成した。 以上で全戸配子度に作成。 に、広域避難の避難り 、に、広域避難の避難り 、に、成域避難の避難り が、いましている。 然災害に対応してい 板を整備中 は内の東配慮者難解 が入め防施策と避難解
内容 ウェス 内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 ・位議会の中で広域避難計画 (第)を策定する ・想定最大規模時間における。 水を対象に、広域避難を反映 たた洪水・ゲードマップを策定する ・流水浸水起地図の公表後。 置に向けた機能を行う ・要配定を書料用施別において 変化でいる機能・制度の策定計 では、避難別線等を支援する イムラインの作成	実施期間 着手	潮来市 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 8 R3 神経・香配・香配・香配・香配・松の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水の水	実施状況 実施状況	R3年度実績 平成29年2月に神橋、福飲 表表、選束の4市による大規 表表、選束の4市による大規 表表、選束の4市による大規 表表、選集の4市による大規 表表と時まる位成課題的、1617の介成実施 規 関 を持てニスアルの作成実施 広域型数を考慮したハザート マップを含む場合の4年3月ホームペー におり、おり、大学を表した。 「おり、大学を表現した。「おり、大学を表現した。「おり、大学を表現した。「おり、大学を表現した。「おり、大学を表現した。」 「おり、大学を表現した。」 「まり、大学を表現し	実施状況 ・	策用通信機器の増強等 実施内容 ・位請会の中で広域避難計量 (家)を策定する ・一型定最大規模時間における 水を対象に、広域避難を反映 た洗水ハザードマップを策定 る ・「満水浸水総地図の公表後、 窓上では、過難計器の配としてい 定している理解計器の配としてい づけ、避難訓練等を支援する づけ、避難訓練等を支援する	実施期間 着手 完了 <td color="2" color<="" rowspan="2" td=""><td>福敷市 R2年度実績 - 広爆避難協定4市(湯末市 敷市、神路市、毒液市)に関係を設 (H292水郷4市(湯末市、 市・神路市、春放市)に大規 調味者の(海球市、 一大型大型大型(海球市) 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一</td><td>和から飲飲水</td><td>R3年度実績</td><td>東用連信機器の増強等 東施状況 東施状況 東施内容 「協議会の中で広域避難計画 策定するなど今後東定を検討する 「洗水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の」 に併せて検討 「洗水浸水想定区域回の公表 後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設</td><td>実施期間 着手 完了</td><td>R2年度実績 「広域避難計画(家)を検討 「R1927、解核の石間而と」大 規模水準時間とおける広域建 に関する協定が連続に関する協定が になった。 「没水形定区域の見慮しに伴 い、赤水ハザードマップを改定 におった。「おいこは本人・ サードマップについては検討 中。 ・予算化に向けた内部検討</td><td>実施状況 R3年度 - 広塚遅賀計画(7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -</td><td>を検討 (同市に「大阪工場」 (国际 (国际 (国际)) (国际 (国际) (国际)</td><td>策用通信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザ・ マップの策定 ・変をごとまちごとハザード プ整備 面の作成及び避難制機の3</td><td>実施期間 着手 完了 ・H28年度 R7年度 ・H29年度 R7年度 計: H29年度 R7年度</td><td>神(292)に締結した大型4市(神橋市、香港市)「大規模水 神橋市、香港市)「大規模水 域型線の連携に関する位金、 東京は機能の連携に関する位金、 一型・デマップを平成29年度 4月より行数区を通じて全門、 次割金に上、近、広域組 水・ゲードマップ内に示して を記載した表示者を登録中 を記載した表示者を登録中 であったが、新型コロサウイ(関連などの影響を であったが、新型コロサウイ(関連などの影響を であったが、新型コロサウイ(関連などの影響を であったが、新型コロサウイ(のな変数)。</td><td>養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東</td><td>施状況 R:</td><td>年度実績 水曜4年(樹来市 取入規模と 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 大に 大規模と 大に 大規模と 大規模と 大に 大規模と 大に 大規模と 大規</td></td>		<td>福敷市 R2年度実績 - 広爆避難協定4市(湯末市 敷市、神路市、毒液市)に関係を設 (H292水郷4市(湯末市、 市・神路市、春放市)に大規 調味者の(海球市、 一大型大型大型(海球市) 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一</td> <td>和から飲飲水</td> <td>R3年度実績</td> <td>東用連信機器の増強等 東施状況 東施状況 東施内容 「協議会の中で広域避難計画 策定するなど今後東定を検討する 「洗水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の」 に併せて検討 「洗水浸水想定区域回の公表 後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設</td> <td>実施期間 着手 完了</td> <td>R2年度実績 「広域避難計画(家)を検討 「R1927、解核の石間而と」大 規模水準時間とおける広域建 に関する協定が連続に関する協定が になった。 「没水形定区域の見慮しに伴 い、赤水ハザードマップを改定 におった。「おいこは本人・ サードマップについては検討 中。 ・予算化に向けた内部検討</td> <td>実施状況 R3年度 - 広塚遅賀計画(7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -</td> <td>を検討 (同市に「大阪工場」 (国际 (国际 (国际)) (国际 (国际) (国际)</td> <td>策用通信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザ・ マップの策定 ・変をごとまちごとハザード プ整備 面の作成及び避難制機の3</td> <td>実施期間 着手 完了 ・H28年度 R7年度 ・H29年度 R7年度 計: H29年度 R7年度</td> <td>神(292)に締結した大型4市(神橋市、香港市)「大規模水 神橋市、香港市)「大規模水 域型線の連携に関する位金、 東京は機能の連携に関する位金、 一型・デマップを平成29年度 4月より行数区を通じて全門、 次割金に上、近、広域組 水・ゲードマップ内に示して を記載した表示者を登録中 を記載した表示者を登録中 であったが、新型コロサウイ(関連などの影響を であったが、新型コロサウイ(関連などの影響を であったが、新型コロサウイ(関連などの影響を であったが、新型コロサウイ(のな変数)。</td> <td>養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東</td> <td>施状況 R:</td> <td>年度実績 水曜4年(樹来市 取入規模と 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 一度を 大規模と 大に 大規模と 大に 大規模と 大規模と 大に 大規模と 大に 大規模と 大規</td>	福敷市 R2年度実績 - 広爆避難協定4市(湯末市 敷市、神路市、毒液市)に関係を設 (H292水郷4市(湯末市、 市・神路市、春放市)に大規 調味者の(海球市、 一大型大型大型(海球市) 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	和から飲飲水	R3年度実績	東用連信機器の増強等 東施状況 東施状況 東施内容 「協議会の中で広域避難計画 策定するなど今後東定を検討する 「洗水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の」 に併せて検討 「洗水浸水想定区域回の公表 後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設	実施期間 着手 完了	R2年度実績 「広域避難計画(家)を検討 「R1927、解核の石間而と」大 規模水準時間とおける広域建 に関する協定が連続に関する協定が になった。 「没水形定区域の見慮しに伴 い、赤水ハザードマップを改定 におった。「おいこは本人・ サードマップについては検討 中。 ・予算化に向けた内部検討	実施状況 R3年度 - 広塚遅賀計画(7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	を検討 (同市に「大阪工場」 (国际 (国际 (国际)) (国际 (国际)	策用通信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザ・ マップの策定 ・変をごとまちごとハザード プ整備 面の作成及び避難制機の3	実施期間 着手 完了 ・H28年度 R7年度 ・H29年度 R7年度 計: H29年度 R7年度	神(292)に締結した大型4市(神橋市、香港市)「大規模水 神橋市、香港市)「大規模水 域型線の連携に関する位金、 東京は機能の連携に関する位金、 一型・デマップを平成29年度 4月より行数区を通じて全門、 次割金に上、近、広域組 水・ゲードマップ内に示して を記載した表示者を登録中 を記載した表示者を登録中 であったが、新型コロサウイ(関連などの影響を であったが、新型コロサウイ(関連などの影響を であったが、新型コロサウイ(関連などの影響を であったが、新型コロサウイ(のな変数)。	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R:
内容 ウェス 内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 マップの作成・周知等 ・位議会の中で広域避難計画 (第)を策定する ・歴史最大規模時間におけられた対象に、広域避難を反映 た洪太ハ・ザードマップを策定する ・張水浸水影地図の公表後、記 直に向けた検討を行う ・要型産者制質施設において 実している複雑計画の客変計 面の中に水電大線をして付け では、避難制候等を支援する (ムラインの作成・ウィイムラインの策定を行う)	実施期間 着手	潮来市 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 8	実施状況 実施状況	平成29年2月に神祗、稲飲度 東京、海本の4市による「大戦 東京、海本の4市による「大戦 東京、海本の4市による「大戦 大衛生」が10年の4年の4年の 最温健所、6村フ・所)の効定、1 地でニュアルの作成実施 な、2年度製木したハザーナップをおねるの数で、2ヶヶ が第二、今和4年3月ホームへ 1ペアップ予定、次年度製木し 上の1年の第一年の第一年の 東京、第二年の日本の 東京、第二年の日本の 東京、第二年	実施状況	集用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・位置会の中で広境型難計画 (案)を策定する ・一型定最大規模時雨における 水を対象に、広境避難を原定 る。 ・流水浸水配地図の公表後、 ・流水浸水配地図の公表後、 ・流水浸水配地図の公表後、 ・変配度者利用版図において ・変配度者利用版図において ・変配度者利用版図において ・可能を行う ・対水浸水配地図の当定を行う	実施期間 第4 元字 元字 元字 元字 元字 元字 元字 元	福敷市 R2年度実績 - 広場避損塩型4市(湯末市 敷市、神経市、毒液市)に対しては減差関布(原形を設 (H2922水銀4市(湯末市、利格市、毒液市)大規 (H2922水銀4市(湯末市、利格市、香泉市)大規 (H2927水銀4市(湯末市、利 ・大規 ・一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型を対する。 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を		和から飲飲水	R3年度実績	実施状況 実施内容 ・協議会の中で広域避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・洗水浸水想定区域見遊し後 市のバザードマップの作成の! に併せて検討 ・洗水浸水想定区域同の分表 後、設置に向けた検討を行う	実施期間 着手 完了 6 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度	・広城温野計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度	を検討 (同市に「大阪工場」 (国际 (国际 (国际)) (国际 (国际)	業用連信機器の増強等 大次 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザ・ マップの策定 ・悪心にまちごとおうごとがザード・ ブ整備 副の作成及び避難削減の連 副の作成及び避難削減の ・避難動告の発令に着目し イムラインの策定	実施期間 着手 完了 - H23年度 R7年度 - H23年度 R7年度 - H23年度 R7年度 - H23年度 R7年度	神(292に縁続した大型4市() (14292に縁続した大型4市() 神橋市、香港市)「大規模水 東部の連携に関する協定、選問場所の マニュアル等を中成した。 最大規模の浸水形定区域に 大力サードマップを平成29年度 (4月より行数区を選化で金貨が 大力・デーマップ内に示して を認慮した表示者板を整備する を記慮した表示者板を整備する であったが、新型ニロナルの であったが、新型ニロナル であったが、新型ニロナル 1429年度タイムラインを作成	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R: - 1+20 2 に締結した。 神橋市・書歌市)「城港難像の連携に書き歌市)「城港難像の連携に書き、 ・ マニュアル等を作・ ・ 最大規模の浸水・ソップをという。 タード・マップを 2 上 2 大 2 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大	年度実績 水駅4市(州来市 市 村 大規模水電 市 市 大規模水電 市 市 大規模水電 市 市 大規模水電 市 市
内容 ウまな取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 思定最大規模時間による浸水想 記域図の公表 思定最大規模時間による氾濫 には一ションの公表 には一ションの公表 は、過避難を考慮したハザードマップ 事拡充 要認慮者利用施設の避難計画 特別なび訓練の産差 指示の発令に着目したタイ 2インの作成 開始精示の発令に着目したタイ 2インの作成	策用連信機器の物強等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 「協議会の中で広域避難計画 集治を策定する 「基定最大限時隔雨における) 水をが像に、広域避難を反映 たち。 、洗水浸水泥地域回か全域で 達定に向けた検討を行う 一要配慮者利用施設において になって、選載が減少にない。 「表れ浸水泥地域回か会と反映 でなって、選載が減少をといなける 「スインの作成・アイムラインの作成の原	実施期間 着手	潮来市 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 8	実施状況 実施状況	平成29年2月に神祗、稲飲度 東京、海本の4市による「大戦 東京、海本の4市による「大戦 東京、海本の4市による「大戦 大衛生」が10年の4年の4年の 最温健所、6村フ・所)の効定、1 地でニュアルの作成実施 な、2年度製木したハザーナップをおねるの数で、2ヶヶ が第二、今和4年3月ホームへ 1ペアップ予定、次年度製木し 上の1年の第一年の第一年の 東京、第二年の日本の 東京、第二年の日本の 東京、第二年	実施状況	策用通信機器の増強等 実施内容 ・位請会の中で広域避難計量 (家)を策定する ・一型定最大規模時間における 水を対象に、広域避難を反映 た洗水ハザードマップを策定 る ・「満水浸水総地図の公表後、 窓上では、過難計器の配としてい 定している理解計器の配としてい づけ、避難訓練等を支援する づけ、避難訓練等を支援する	実施期間 第4 元字 元字 元字 元字 元字 元字 元字 元	福敷市 R2年度実績 - 広場避損塩型4市(湯末市 敷市、神経市、毒液市)に対しては減差関布(原形を設 (H2922水銀4市(湯末市、利格市、毒液市)大規 (H2922水銀4市(湯末市、利格市、香泉市)大規 (H2927水銀4市(湯末市、利 ・大規 ・一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型を対する。 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を	和から飲飲水	R3年度実績	東用連信機器の増強等 東施状況 東施状況 東施内容 「協議会の中で広域避難計画 策定するなど今後東定を検討する 「洗水浸水想定区域見直し後 市のハザードマップの作成の」 に併せて検討 「洗水浸水想定区域回の公表 後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設	実施期間 着手 完了 6 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度 -H29年度 -R7年度	・広城温野計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度 ○ ・	を検討 (同市に「大阪工場」 (国际 (国际 (国际)) (国际 (国际)	業用連信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差難計画の策定 ・広域差離計画の策定 ・変化とまちごとハザー・フ整備 ・変化とまちごとハザー・フ整備 ・変化とまちごとがサード ・変化を有用能能の差極 ・変化を有用を表が変	実施期間 着手 完了 - H23年度 R7年度 - H23年度 R7年度 - H23年度 R7年度 - H23年度 R7年度	神(292に縁続した大型4市() (14292に縁続した大型4市() 神橋市、香港市)「大規模水 東部の連携に関する協定、選問場所の マニュアル等を中成した。 最大規模の浸水形定区域に 大力サードマップを平成29年度 (4月より行数区を選化で金貨が 大力・デーマップ内に示して を認慮した表示者板を整備する を記慮した表示者板を整備する であったが、新型ニロナルの であったが、新型ニロナル であったが、新型ニロナル 1429年度タイムラインを作成	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R: - 1+20 2 に締結した。 神橋市・書歌市)「城港難像の連携に書き歌市)「城港難像の連携に書き、 ・ マニュアル等を作・ ・ 最大規模の浸水・ソップをという。 タード・マップを 2 上 2 大 2 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大	年度実績 水駅4市(州来市 市 村 大規模水電 市 市 大規模水電 市 市 大規模水電 市 市 大規模水電 市 市	
内容 内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 避難を考慮したハザードマ 地定量大規模降雨による浸水想 地定量大規模降雨による浸水想 地定量大規模降雨による氾濫 ミュレーションの公表 な城避難計画の策定 本城避難計画の策定 本域避難を考慮したハザードマッ 市 私充 要配慮者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 提指示の発令に着目したタイ ラインの作成 避難指示の発令に着目したタイ	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 「位議会の中で広域避難計画 集治を策定する ・想定最大規模時間におけられたが表対象に、広域避難を反映する ・提れ浸水配数回の公表後、 他に同けた情報を行う ・受配産者利用施設においてう 変化の中心大き者の必要後、 他に同けた情報を行う ・マイ・タイムラインの作成の の メータイムラインの作成の の ・マイ・タイムラインの作成の の を	策施原限	選来市 アンナめの取組 F 及	実施状况 実施状況	平成20年2月に神祗、稲紋 東京、海本の4市による「大殿 東京、森本の4市による「大殿 東京、森本の4市による「大殿 大馬等間におけるがある。 東京、東京の4市による「大殿 東京、東京の4市による「大殿 東京、東京の4市では、 東京、東京、東京、東京、東京 東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東京、東	実施状況	集用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・位置会の中で広域型難計画 (業)を策定する ・必定最大規模時雨における 水を対象に、広域型難を返収 高に、応域型難を返収 直に同いた機能を行う ・要配慮者利用施設において ことでいる避難とび立っていた。 ・要配慮者利用施設において でしている避難を対象とした位づけ、避難訓練等を支援する	実施期間 第手 完了 元 元 元 元 元 元 元 元 元	福敷市 R2年度業績 - 広場避難協定は市(横末市 総市、神路市、海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ファンを作成、H31 東施湾市町村を視察、第7向けて検討中・ - 東施に向けた数り組みを実 中	稲 (A)	R3年度実績	東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 「協議会の中で広域週間計画 東定するなど今後東定を検討 する ・洗水湯水想定区域見直し後 市のパザードマップの作成の別 に併せて検討 ・洗水湯水想定区域同の公表 後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設 ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の負達	実施期間 着手 光了 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度	・広城温難計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度	を検討大 原本が大 広域組織 記さを締結し 記さを持続 (インアーに配 が検討	業用通信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザー マップの策定 ・変るごとまちごとハザード プ整備 画の作成及び避難訓練の3 ・避難勧告の寿令に着目してムラインの策定 ・マイ・タイムラインの作成の	実施期間 第三 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子	神 R2年度実績	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R: - 1+20 2 に締結した。 神橋市・書歌市)「城港難像の連携に書き歌市)「城港難像の連携に書き、 ・ マニュアル等を作・ ・ 最大規模の浸水・ソップをという。 タード・マップを 2 上 2 大 2 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大	年度実績 水郷4市(潮来市・おけける協定)について、 は現場水香時・おけける協定について、 成25年度に作成。上版に、 な、最近の単独にして会子原配布を実施。 が、近、な、最近の要型。 が、近、な、最近の実施を連携が、い、示している。 然災害に対応している。 然災害に対応している。 が、収容を強値中 インを作成。 の改正に併せて更新	
内容 フ主な取組 ① 透げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 起業を考慮したハザードマ 記念最大規模時間による浸水想 領域図の公表 記念出したハザードマ の公表 に対しているの公表 に対していずードマッ では、周知等 には、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 「位議会の中で広域避難計画 集治を策定する ・想定最大規模時間におけられたが表対象に、広域避難を反映する ・提れ浸水配数回の公表後、 他に同けた情報を行う ・受配産者利用施設においてう 変化の中心大き者の必要後、 他に同けた情報を行う ・マイ・タイムラインの作成の の メータイムラインの作成の の ・マイ・タイムラインの作成の の を	策施原限	潮来市 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 7 R2年度実績 8	実施状况 実施状况	平成29年2月に神福、稲敬規 平成29年2月に神福、稲敬規 東歌、湖東の4市による計畫の 北西等における協定とを輸配した。 は他に関する協定とを輸配した。 は他に関する協定とを輸配した。 はかってニカルの作成実施 は、一次では、大学をでした。 は、ため、 は、ため、	実施状況	集用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・位置会の中で広境型難計画 (案)を策定する ・一型定最大規模時雨における 水を対象に、広境避難を原定 る。 ・流水浸水配地図の公表後、 ・流水浸水配地図の公表後、 ・流水浸水配地図の公表後、 ・変配度者利用版図において ・変配度者利用版図において ・変配度者利用版図において ・可能を行う ・対水浸水配地図の当定を行う	実施期間 第手 完了 元 元 元 元 元 元 元 元 元	福敷市 R2年度実績 - 広場避損塩型4市(湯末市 敷市、神経市、毒液市)に対しては減差関布(原形を設 (H2922水銀4市(湯末市、利格市、毒液市)大規 (H2922水銀4市(湯末市、利格市、香泉市)大規 (H2927水銀4市(湯末市、利 ・大規 ・一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型のでは、1831、 一大型を対する。 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を 一大型を	稲 (A)	R3年度実績	実施状況 実施内容 ・協議会の中で広域避難計画 策定するなど今後策定を検討 する ・洗水浸水想定区域見遊し後 市のバザードマップの作成の! に併せて検討 ・洗水浸水想定区域同の分表 後、設置に向けた検討を行う	実施期間 着手 光了 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度	・広城遊園計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度	を検討大・ (原用と避難し と (を検討 大) () () () () () () () () ()	業用連信機器の増強等 大次 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザ・ マップの策定 ・悪心にまちごとおうごとがザード・ ブ整備 副の作成及び避難削減の連 副の作成及び避難削減の ・避難動告の発令に着目し イムラインの策定	実施期間 第三 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子	神 R2年度実績	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R: - 1+20 2 に締結した。 神橋市・書歌市)「城港難像の連携に書き歌市)「城港難像の連携に書き、 ・ マニュアル等を作・ ・ 最大規模の浸水・ソップをという。 タード・マップを 2 上 2 大 2 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大	年度実績 水郷4市(潮来市、おけりる協定)について、 は現場水番等におけずる協定について、 はない。 はないで、 はないで、 はないで、 は、広域量のは、対して、 ないで、 ないで、 は、広域量ので、 は、ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、	
内容 内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ が登載を考慮したハザードマ 想定義大規模時間による浸水想 区域図の公表 想定義大規模時間による児水想 区域図の公表 想定義大規模時間による児童 ユニュレーションの公表 が改集大規模時間による児童 は成果難を考慮したハザードマッ は、域是難計画の策定 は、域と関語を考慮したハザードマッ は、域と関語を考慮したハザードマッ 連幅 が表ったとようといが一ドマッ 連指示の発令に着目したタイ での発令に着目したタイ の発育に着目したタイ の発育に着目したタイ の発育に着目したタイ の発育に着日したタイ の発育に着日したタイ の発育に着日したタイ の発育の発育の発育の発育の発育に基めた。マイルラインの作成 タイムラインに基づく実践的な調 タイムラインに基づく実践的な調	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 「位議会の中で広域避難計画 集治を策定する ・想定最大規模時間におけられたが表対象に、広域避難を反映する ・提れ浸水配数回の公表後、 他に同けた情報を行う ・受配産者利用施設においてう 変化の中心大き者の必要後、 他に同けた情報を行う ・マイ・タイムラインの作成の の メータイムラインの作成の の ・マイ・タイムラインの作成の の を	策施原限	選来市 アンナめの取組 F 及	実施状况 実施状况	R3年度実績 平成29年2月に神風、雨飲、 事歌、潮泉の4市による「大槻 事歌、潮泉の4市による「大槻 事歌、潮泉の4市による「大槻 事歌、潮泉の4市による「大槻 最大豊富川に対する広域製理の 最週間所に対する所はの数で、 がフーユアルの作成実施 のオーユアルの作成実施 に成立を持続したが、 で、大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	実施状況	集用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・位置会の中で広域型難計画 (業)を策定する ・必定最大規模時雨における 水を対象に、広域型難を返収 高に、応域型難を返収 直に同いた機能を行う ・要配慮者利用施設において ことでいる避難とび立っていた。 ・要配慮者利用施設において でしている避難を対象とした位づけ、避難訓練等を支援する	実施期間 第手 完了 元 元 元 元 元 元 元 元 元	福敷市 R2年度業績 - 広場避難協定は市(横末市 総市、神路市、海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ファンを作成、H31 東施湾市町村を視察、第7向けて検討中・ - 東施に向けた数り組みを実 中	稲 (A)	R3年度実績	東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 「協議会の中で広域週間計画 東定するなど今後東定を検討 する ・洗水湯水想定区域見直し後 市のパザードマップの作成の別 に併せて検討 ・洗水湯水想定区域同の公表 後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設 ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の負達	実施期間 着手 光了 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度	・広城温難計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度	を検討大・ (原用と避難し と (を検討 大) () () () () () () () () ()	業用通信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザー マップの策定 ・変るごとまちごとハザード ブ整備 画の作成及び避難訓練の3 ・避難勧告の寿令に着目してムラインの策定 ・マイ・タイムラインの作成の	実施期間 第三 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子	神 R2年度実績	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R: - 1+20 2 に締結した。 神橋市・書歌市)「城港難像の連携に書き歌市)「城港難像の連携に書き、 ・ マニュアル等を作・ ・ 最大規模の浸水・ソップをという。 タード・マップを 2 上 2 大 2 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大	年度実績 水型4市(湯来市、稲/大規模次書時におけ、)する協定について方、 関連協議所の設定及び、 成25年度に作成。日は にて金戸配布を避難、 が、成25年度に作成。日本 が、成25年度に作る。日本 が、成25年度に対応している。 蒸災害に対応している。 蒸災害に対応している。	
内容 ウまな取組 ①透げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 変定最大規模時間による浸水想 を関立を取ります。 変を最大規模時間による浸水想 を関立を表現機時間による必要 を表したハザードマップ のなる を表したハザードマップ のが、原知等 を記さいが一ドマップ のが、原記を考慮したハザードマップ のが、原記を表別関係の促進 は指示の発令に着目したタイ のでは、マイ・タイムラインの作成 のは、マイ・タイムラインの作成 のは、マイ・タイムラインの作成 のなるは、マイ・タイムラインの作成 のなるは、マスを関係的な別様になる のなるは、マスを関係している。 のなるは、マスを見いる。 のなるななななななななななななななななななななななななななななななななな	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 「位議会の中で広域避難計画 集治を策定する ・想定最大規模時間におけられたが表対象に、広域避難を反映する ・提れ浸水配数回の公表後、 他に同けた情報を行う ・受配産者利用施設においてう 変化の中心大き者の必要後、 他に同けた情報を行う ・マイ・タイムラインの作成の の メータイムラインの作成の の ・マイ・タイムラインの作成の の を	策施原限	選来市 アンナめの取組 F 及	実施状况 実施状况	平成29年2月に神福、稲敬規 平成29年2月に神福、稲敬規 東歌、湖東の4市による計畫の 北西等における協定とを輸配した。 は他に関する協定とを輸配した。 は他に関する協定とを輸配した。 はかってニカルの作成実施 は、一次では、大学をでした。 は、ため、 は、ため、	実施状況	集用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・位置会の中で広域型難計画 (業)を策定する ・必定最大規模時雨における 水を対象に、広域型難を返収 高に、応域型難を返収 直に同いた機能を行う ・要配慮者利用施設において ことでいる避難とび立っていた。 ・要配慮者利用施設において でしている避難を対象とした位づけ、避難訓練等を支援する	実施期間 第手 完了 元 元 元 元 元 元 元 元 元	福敷市 R2年度業績 - 広場避難協定は市(横末市 総市、神路市、海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ファンを作成、H31 東施湾市町村を視察、第7向けて検討中・ - 東施に向けた数り組みを実 中	稲 (A)	R3年度実績	東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 「協議会の中で広域週間計画 東定するなど今後東定を検討 する ・洗水湯水想定区域見直し後 市のパザードマップの作成の別 に併せて検討 ・洗水湯水想定区域同の公表 後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設 ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の負達	実施期間 着手 光了 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度	・広城遊園計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度	を検討大・ (原用と避難し と (を検討 大) () () () () () () () () ()	業用通信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザー マップの策定 ・変るごとまちごとハザード ブ整備 画の作成及び避難訓練の3 ・避難勧告の寿令に着目してムラインの策定 ・マイ・タイムラインの作成の	実施期間 第三 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子	神 R2年度実績	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R: - 1+20 2 に締結した。 神橋市・書歌市)「城港難像の連携に書き歌市)「城港難像の連携に書き、 ・ マニュアル等を作・ ・ 最大規模の浸水・ソップをという。 タード・マップを 2 上 2 大 2 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大	年度実績 水駅4市(州来市 市 村 大規模水電 市 市 大規模水電 市 市 大規模水電 市 市 大規模水電 市 市	
内容 力主な取組 ①遂げ遅れゼ 避難を考慮したハザードマ 変な 担機時期による浸水想 変な 担機時期による浸水想 を表現機時期による浸水想 を表現機時期による浸水想 を表現機時期による浸水想 を表現機時期による必要 を表現機能が関係を表現したハザードマップ 情が充 変配虚者利用施設の避難計画 作成及び訓練の促進 建樹指示の発令に着目したタイラインの作成 の発行に着目したタイラインの作成 の発行に着目したタイラインの作成 の名人ムラインの作成 の名人ムラインに基づく実践的な訓 を表情報を保持の信意論の対象となる の名人ムラインに基づく実践的な訓 を表情報を保持の信意論の対象となる	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 「位議会の中で広域避難計画 集治を策定する ・想定最大規模時間におけられたが表対象に、広域避難を反映する ・提れ浸水配数回の公表後、 他に同けた情報を行う ・受配産者利用施設においてう 変化の中心大き者の必要後、 他に同けた情報を行う ・マイ・タイムラインの作成の の メータイムラインの作成の の ・マイ・タイムラインの作成の の を	策施原限	選来市 アナルかの取組 F 及	実施状况 実施状况	平成29年2月に神福、稲敬規 平成29年2月に神福、稲敬規 東歌、湖東の4市による計畫の 北西等における協定とを輸配した。 は他に関する協定とを輸配した。 は他に関する協定とを輸配した。 はかってニカルの作成実施 は、一次では、大学をでした。 は、ため、 は、ため、	実施状況	集用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・位置会の中で広域型難計画 (業)を策定する ・必定最大規模時雨における 水を対象に、広域型難を返収 高に、応域型難を返収 直に同いた機能を行う ・要配慮者利用施設において ことでいる避難とび立っていた。 ・要配慮者利用施設において でしている避難を対象とした位づけ、避難訓練等を支援する	実施期間 第手 完了 元 元 元 元 元 元 元 元 元	福敷市 R2年度業績 - 広場避難協定は市(横末市 総市、神路市、海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ファンを作成、H31 東施湾市町村を視察、第7向けて検討中・ - 東施に向けた数り組みを実 中	稲 (A)	R3年度実績	東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 「協議会の中で広域週間計画 東定するなど今後東定を検討 する ・洗水湯水想定区域見直し後 市のパザードマップの作成の別 に併せて検討 ・洗水湯水想定区域同の公表 後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設 ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の負達	実施期間 着手 光了 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度	・広城遊園計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度	を検討大・ (原用と避難し と (を検討 大) () () () () () () () () ()	業用通信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザー マップの策定 ・変るごとまちごとハザード ブ整備 画の作成及び避難訓練の3 ・避難勧告の寿令に着目してムラインの策定 ・マイ・タイムラインの作成の	実施期間 第三 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子	神 R2年度実績	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R: - 1+20 2 に締結した。 神橋市・書歌市)「城港難像の連携に書き歌市)「城港難像の連携に書き、 ・ マニュアル等を作・ ・ 最大規模の浸水・ソップをという。 タード・マップを 2 上 2 大 2 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大	年度実績 水型4市(潮来市、福 大規模水帯時におけ ける協定)について力 域と20年度に作成、H 成22年度に作成、H になる単位に大力にある 表現 が、M が、M が、M が、M が、M が、M が、M が、M が、M が、M	
庁舎等の防災拠点の強化	東用連信機器の物法等 実施内容 「口に向けた迅速かつ的 アップの作成・周知等 「位議会の中で広域避難計画 集治を策定する ・想定最大規模時間におけられたが表対象に、広域避難を反映する ・提れ浸水配数回の公表後、 他に同けた情報を行う ・受配産者利用施設においてう 変化の中心大き者の必要後、 他に同けた情報を行う ・マイ・タイムラインの作成の の メータイムラインの作成の の ・マイ・タイムラインの作成の の を	策施原限	選来市 アナルかの取組 F 及	実施状况 実施状况	平成29年2月に神福、稲敬規 平成29年2月に神福、稲敬規 東歌、湖東の4市による計畫の 北西等における協定とを輸配した。 は他に関する協定とを輸配した。 は他に関する協定とを輸配した。 はかってニカルの作成実施 は、一次では、大学をでした。 は、ため、 は、ため、	実施状況	集用通信機器の増強等 実施内容 実施内容 実施内容 ・位置会の中で広域型難計画 (業)を策定する ・必定最大規模時雨における 水を対象に、広域型難を返収 高に、応域型難を返収 直に同いた機能を行う ・要配慮者利用施設において ことでいる避難とび立っていた。 ・要配慮者利用施設において でしている避難を対象とした位づけ、避難訓練等を支援する	実施期間 第手 完了 元 元 元 元 元 元 元 元 元	福敷市 R2年度業績 - 広場避難協定は市(横末市 総市、神路市、海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市市)と設 (H292水場市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・海市・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・ファンを作成、H31 東施湾市町村を視察、第7向けて検討中・ - 東施に向けた数り組みを実 中	稲 (A)	R3年度実績	東用連信機器の増強等 実施状況 実施内容 「協議会の中で広域週間計画 東定するなど今後東定を検討 する ・洗水湯水想定区域見直し後 市のパザードマップの作成の別 に併せて検討 ・洗水湯水想定区域同の公表 後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設 ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の負達	実施期間 着手 光了 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度 - H29年度 - R7年度	・広城遊園計画(家)を検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実施状況 R3年度	を検討大・ (原用と避難し と (を検討 大) () () () () () () () () ()	業用通信機器の増強等 大次 実施内容 ・広域避難計画の策定 ・広域避難計画の策定 ・広域避難を考慮したハザー マップの策定 ・変るごとまちごとハザード ブ整備 画の作成及び避難訓練の3 ・避難勧告の寿令に着目してムラインの策定 ・マイ・タイムラインの作成の	実施期間 第三 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子 元子	神 R2年度実績	養 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	施状況 R: - 1+20 2 に締結した。 神橋市・書歌市)「城港難像の連携に書き歌市)「城港難像の連携に書き、 ・ マニュアル等を作・ ・ 最大規模の浸水・ソップをという。 タード・マップを 2 上 2 大 2 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大 3 大	年度実績 水郷4市(潮来市、 大規模水害等におけげる協定について、 関連は無所の設定及び 及した。 一般で区域に対応した。 一般で区域に対応して、 の成20年度に作成、 と が、 の変配産者利用 の水防施策と避難強 インを作成。 の改正に併せて更新	

OR3取り組み状況について(個票)3/6

)水災害に事前準備に関する問い わせ窓口の設置	実施内容・問い合わせ窓口を設置する	実施期 着手	完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	夫他期间	Do for storth //#				min Administration	実施期間						- 夫他别间	R2年度実績	実施状況	R3年度実績
水災害に事前準備に関する問い わせ窓口の設置 ・3	・問い合わせ窓口を設置する						X115 V 170	天旭門在	実施期間 着手 完了	, R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	着手 完了	R2年度実績	実施状	R3年度実績	実施状況	実施内容	着手 完了	RZ年及美額	X/IE1X/	10千及天根
水災害に事前準備に関する問い わせ窓口の設置 ・3	・問い合わせ窓口を設置する																							
		•H28年度 R7	7年度 ・市	5役所総務課に設置	•	市役所総務課に設置	•	・設置を検討中。	•H28年度 R7年度	・質問内容に応じた問合せ窓 を担当部毎に設置	§□ •			・設置を検討する	・H29年度 ・R7年度	・設置について内部検討中	0	・設置について内部検討中	0	問い合わせ窓口の設置	-H28年度 R7年度	・平時は、問い合わせ内容に応じて、担当調 で対応。災害時は、防災安全課を窓口として 対応。	Ę .	・平時は、問い合わせ内容に応じて、担当部で対応。災害時は、防災安全課を窓口としず対応。
	・実施について検討する	·H29年度 ·F	R7年度 ·実	実施に向けた取り組みを継続		5月に市議会議員に対し、災害 対策基本法の一部改正による 避難レベルの変更点や重ねる ハザードマップの見方等勉強を	_	・実施について検討する	・H29年度 R7年度	 行政区代表者や民生委員等の会議において、へ防災に対る説明会を実施 			, h	・常陸川水門現地見学会に参 加	・H28年度 R7年度	・R1.8.29自主防災組織をつくろう研修会(参加者:浸水想定区域を有する地域の区長)	5 •	令和4年度以降も継続して実施 予定	•	・国、県による出前講座等の開催	1 ·H28年度 R7年度	・常陸川水門現地見学会に参加	•	
を かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ	・浸水想定区域にある小中学校 を対象に講習会を実施する	·H29年度 ·F	اخا	した防災教育が契機となり、	0	・平成30年度の小学生を対象 とした防災教育が契機となり	0	浸水想定区域にある小学校を 対象に講習会を実施する	・H29年度 R7年度	H31(R1)年度に中学校にて、 習会を実施。	講・			・実施に向けて検討する	・H29年度 ・R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	π Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・国. 県による出前講座等の開催	1 ·H29年度 R7年度	・小学校をフィールドに筑波大学から講師を き震災に関する講演会を実施	招	
員を対象とした講習会の実施 ・3	・実施について検討する	·H29年度 ·F	検1 27年度 会1	員間で情報共有。勉強会の 討 和元年度において市内の全	0	教員間で情報共有。勉強会の 検討 令和元年度~市内全小学校に	0	浸水想定区域にある小学校を	・H29年度 R7年度	・霞ヶ浦河川事務所職員によ マイタイムライン講習会を市/	ಕಿ ●			・実施に向けて検討する	・H29年度 R7年度	・風水害を対象とした市総合原	5 ●	・風水害を対象とした市総合防	•	・国. 県による出前講座等の開] ·H29年度 R7年度	・小学校をフィールドに筑波大学から講師を き震災に関する講演会を実施	招	
学生を対象とした防災教育の			小	学校において各2回、計12 実施(今後 継続)		おいて各2回、計10回実施				学校にて実施。	小											き震災に関する講演会を実施	•	
前講座等を活用した講習会の	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度 •F	77年度			実施に向けた取組を継続	Δ	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度 •R7年月	·			0	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度 -R7年度	·R1.9.15 茨城県住民避難力 会事業(東野寺地区)	協・	新たな地域での住民避難力強 化事業の実施を検討予定	•	・出前講座等を活用した講習会の実施	è H28年度 ・R7年度			
・3プッシュ型の洪水予報等の情報	・実施に向けて検討する	·H29年度 R7	員、対抗	* 地区区長、民生委員児童委 、消防(水防)団員、市職員を 象とし防災に特化したメール 配信サービスを整備	•	各地区区長、民生委員児童委員、消防(水防)団員、市職員を 対象とし防災に特化したメール 等配信サービスを整備	•	・実施に向けて検討をする	・H29年度 R7年度	・広報車、行政防災無線、メール配信、エリアメール等により配信	- U		5	・メール、ツイッター等による周 知 やその他の方法を検討	•H29年度 R7年度	・防災無線親局の発令判断シ テム(音声合成装置)整備に付 い、メール、市アブリ、ツイッタ へ避難情報を発信可能となる	ス - - -	・防災無線親局の発令判断システム(音声合成装置)整備に伴い、メール、市アプリ、ツイッターへ避難情報を発信可能となる。	•	・ブッシュ型の洪水予報等の情報入手手段の周知	+H28年度 R7年度	・エリアメール/緊急速報メールを利用し、避 難情報と併せて洪水予報を発信している。	•	・エリアメール/緊急速報メールを利用し、返 難情報と併せて洪水予報を発信している。
・3 (位計やライブカメラ等の情報を ルタイムで提供	・実施に向けて検討する	•H28年度 •F	R7年度 ·予	多算化に向けた内部検討	0	・市ホームページに川の防災 情報等をリンクして市民に提 供	•	ホームページで川の防災情報等をリンク先で提供する	*H28年度 R7年度	R1.9, 10の一連の風水害にまて、川の防災情報の内容をリクや資料として提供した	おい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		9	・ホームページで川の防災情報 等をリンク先で提供する	•H28年度 R7年度	市HPへ霞ヶ浦減災対策協議 や川の防災情報をリンク。区引 会総会や自主防災組織をつう う研修会で各種防災情報を取 得するアプリ等を周知する。	長	市HPへ震ヶ浦減災対策協議会 や川の防災情報をリンク。区長 会総会や自主防災組織をつうろ う研修会で各種防災情報を取 得するアプリ等を継続して周知	•	・ホームページ、スマートフォン やテレビなどに水位計やライブ カメラの情報をリアルタイムで打 供	·H29年度 R7年度 是	市ホームページに「川の防災情報」へのリン を設定している	•	市ホームページに「川の防災情報」へのリンを設定している
・3 可工作物管理者への防災教 実施	・実施に向けて検討する	·H29年度 ·F	R7年度 · 実	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けて検討をする	・H29年度 ・R2年』	・実施に向けた取り組みを継	装続 △			・実施に向けて検討する	·H29年度 ·R7年度	・実施に向けた取り組みを継制	π Δ	していく。 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	操作規則の制定履行検査における周知	*H28年度 *H28年度	・策定に向け内部検討中	0	-策定に向け内部検討中
 D主な取組 ②洪水氾濫によ	よる被害の軽減、避難時	間の確保の	ための水	、防活動の取組																				
効果的な水防活動の実施及	及び水防体制の強化																							
・: 防団等への連絡体制の再確 伝達訓練の実施	・これまでにも水防訓練に併せ 伝達訓練を実施している	·H28年度 ·F	施。	P無線を活用し伝達訓練実 。また、11月の情報伝達訓練 於いて防災に特化したメール 一斉配信実施		・IP無線を活用し伝達訓練実施。また、6・11月の情報伝達訓練に於いて防災に特化したメールの一斉配信実施	- 0	・これまでにも水防訓練等で伝 達訓練を実施している	*H28年度 R7年度	伝達訓練を実施	•			・水防訓練に併せ伝達訓練を身 施していく	・H29年度 R7年度	・実施済み 消防団兼任のため、普段から 続実施	継	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継 続実施	•	・水防団等への連絡体制の再 確認と伝達訓練の実施	·H28年度 R7年度	・消防団への連絡手段として、無線機やメールを整備している。	•	・消防団への連絡手段として、無線機やメルを整備している。
防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	•H28年度 R7	7年度 ・消	当防系統で確保済み		消防系統で確保済み	•	・連絡体制は確保済	・H28年度 R7年度	・消防・水防団として連絡体制 確保	制を			・連絡体制を確保する	・H29年度 R7年度	・無線機と簡易無線機を分団名部に配備済み	ě •	無線機と簡易無線機を分団各部に配備済み	•	・水防団同士の連絡体制の確 保	·H28年度 R7年度	- 小型無線機を各分団へ配備済み	•	・小型無線機を各分団へ配備済み
・決 ・誘団や地域住民が参加する洪 防対しリスクが高い区間の共同 る	河川事務所が実施する重要水 防箇所等の共同点検に参加する	-H28年度 -F	77年度 ·河(5 出)	可川事務所主催の共同点検 月)、潮来土木事務所主催の 水期前点検(6月)に参加 年度は実施なし	1	 令和3年5月河川事務所の共 同点検(水防団員の参加無し) 及び潮来土事務所の出水前点 検(本部員6名参加)を実施 		・河川事務所が実施する重要オ 防箇所等の共同点検に参加す る	·H28年度 ·R7年	・R1.6河川事務所が実施した 要水防箘所等の共同点検に 加	·重 O		B	・河川事務所が実施する重要が 防箇所等の共同訓練に参加する	・H28年度 ・R7年度	R1.5.31共同訓練実施	0	令和3年6月共同訓練実施	0			-河川事務所の共同点検に参加	•	・河川事務所の共同点検に参加
・系 引係機関が連携した実働水防訓 実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・利根川水系連合水防演習に参 加する ・広域水防訓練の実施	·H29年度 ·F	R7年度 · 実	K能に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取組を継続		・利根川水系連合水防演習に参加する・広域水防訓練の実施		・広域避難協定4市において、 域連携図上訓練を実施			自栽	毎年、消防本部主導の水防訓 練を実施	·H28年度 ·R7年度	R1.6.9消防水防訓練実施	0	令和4年度以降も消防水防訓 線を実施予定	0	・利根川水系連合水防演習への参加・関係機関と連携した広域水防訓練の実施	・H29年度 R7年度	・災害協定に基づき、水郷4市(香取市、潮来市、稲敷市、神栖市)の合同DIG訓練を実施	•	
・」 ・「 ・」 ・」 ・」 ・」 ・」 ・」 ・」 ・」 ・」 ・」 ・」 ・」 ・」	・広報誌やホームページ等で募 集していく	·H30年度 ·F	R7年度			・実施に向けた取組を継続	Δ	・広報誌・ホームページ等で募 集していく	・H29 年度 R7年度	・水防団を兼務する消防団員加入促進を実施し、団員を募した	真の 事集		11	広報誌やホームページ等で募 集していく	・H29年度 ・R7年度	実施に向けた取り組みを継易	売 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・広報紙やホームページ等で水 防協力団体を募集	K ·H28年度 R7年度	 水災害時には、消防団が管轄区域内の内 被害の対応をしている。消防団の募集につ では、経常的に実施しているが、水防協力B 体の募集については実施していない。 	ر، ا	・水災害時には、消防団が管轄区域内の 被害の対応をしている。消防団の募集にては、経常的に実施しているが、水防協力 体の募集については実施していない。
・3 は域の建設業者による水防支援 の検討・構築	・実施を検討する	•H28年度 •F	令	を 存の災害応援協定で対応 和元年の台風15・19号を教 に協定内容を一部見直し、令 3年1月再締結		・既存の災害応援協定で対応 令和元年の台風15・19号を教 創に協定内容を一部見直し、作 和3年1月再締結		・実施を検討する	・H29年度 R7年度	担当課で個別に災害時協定で対応	定等 ●		3	実施を検討する	·H29年度 ·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	売 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・建設業者と災害時における応 急復旧に関する協定の締結済	-H23年度 R7年度	・H23年度に建設業組合と災害時における所急復旧に関する協定を締結している。	•	・H23年度に建設業組合と災害時における 急復旧に関する協定を締結している。
・パーク 内水被害危険箇所の把握及び 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	・水防団等と情報共有、点検を 行う	·H29年度 ·F	R7年度 · 德 防[12 ⁻¹	意島地区及び洲崎地区の水 団との情報共有を実施(台風 号)	0	令和3年7・8月に2地区の水削団と情報共有を実施	0	·水防団等と情報共有、点検を 行う	・H29年度 R7年度	・R1.9, 10の台風被害に遭っ 箇所を取りまとめ、水防団等 情報共有した。	t: ● }		·	・水防団等と情報共有、点検を 行う	・H28年度 R7年度	上記の共同訓練の際、地元水 防団に参加をいただき、情報共 有を図っている。	.	上記の共同訓練の際、地元水 防団に参加をいただき、情報共 有を図っている。	•	・水防団等と点検を実施し、内 水被害危険箇所の把握及び情報共有	・H28年度 ・R7年度	・過去の台風等風水害災害時の被害状況を 蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把握 できるように、データベースを作成している。		・過去の台風等風水害災害時の被害状況 蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把 できるように、データベースを作成している
	・重要水防箇所・水防資機材等のサロムを含まった	·R3年度 ·F	77年度			・水防団本部との牛堀特殊堤の	0	重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	•R3年度 •R7年	t				・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	•R3年度 •R7年度			・実施に向けた取り組みを検討していく	Δ	・重要水防箇所・水防資機材等 の共同点検を実施。	F •R3年度 •R7年度			・重要水防箇所・水防資機材等の共同点 ・変数
要水防箇所の見直し及び水防の制材の確認・		•R3年度 •F	7年度			現地確認を実施(コロナにより 角落とし装着訓練は中止) ・継続的な水防団員の募集を9	F 0	水防団昌の墓集。自主防災組	·R3年度 ·R7年					水防団昌の募集。自主防災銀	•R3年度 •R7年度			・実施に向けた取り組みを検討	Δ	・水防団員の募集。自主防災組	1 ⋅R3年度 ⋅R7年度			- 水防団員の募集、自主防災組織、企業等
・7 ・防に関する広報の充実(水防 ・直確保に係る取組)						施 水防用土のうステーションの蓼		織、企業等の参画を促すための 広報の検討、実施						織、企業等の参画を促すための 広報の検討、実施				していく		織、企業等の参画を促すための 広報の検討、実施	מ			参画を促すための広報の検討、実施
防訓練の充実施	実践的な水防訓練の検討、実施・広域的、効率的な水防活動の					水防用エのラステーションの登 備のため土のラ作製を実施 ・実施に向けた取組を継続		・実践的な水防訓練の検討、実施・広域的、効率的な水防活動の					Ħ	実践的な水防訓練の検討、実施広域的、効率的な水防活動の				多くの団員に水防訓練を経験させる。 ・実施に向けた取り組みを検討	0	・実践的な水防訓練の検討、実施・広域的、効率的な水防活動の				・実践的な水防訓練の検討、実施・広域的、効率的な水防活動の実施に向け
防関係者間での連携、協力に 実 る検討	実施に向けた関係者との連携、協力	1048	U+R			大郎に同け/これ組と他が		実施に向けた関係者との連携、協力	1104/2				多世	実施に向けた関係者との連携協力	1104/2 1174/2			していく	4	実施に向けた関係者との連携、協力	、			関係者との連携、協力
主な取組 ③一刻も早い生		舌動の回復る	を可能とす	るための排水活動の取	取組																			
計画(案)の作成及び排水		Lugo de mir Lu	7年度 曜:	ちの「ム宮・十不」 # きょっす		市職員向けマニュアル「台風・		検討する	Lunderth Lunder	・建設課にて実施中。				計画策定の検討を行う	1.1100年度 1.07年度	実施に向けた取り組みを継ぎ	* 1 ^	・実施に向けた取り組みを継続		・徐・ナン・ゴの処果然でも復立	2	・計画策定までは至っていないが、災害時に	- 1	・計画策定までは至っていないが、災害時
*水機場・樋門・水門等の情報共 ・禁 排水手法等の検討を行い、大 域水害を想定した排水計画(案) F成	成する。		施			大雨に備えた事前行動計画」に 排水機場、樋門、水門等の一覧 を盛り込み確認	=	* 作成前 9 名	·H29年度 -K/年/	E *建款課に《美能中。								* 失肥に同けた取り組みを揺れ	Δ	・排水ホンノの設直圏所を選定 した排水計画(案)の作成	E *H28年度 *K/年度	*計画来走までは至っていないが、火香時には、関係各課と連携して、水中ポンプの設置等の対応を行っている。	0	・計画策定までは至っていないが、災害時は、関係各課と連携して、水中ポンプの設計等の対応を行っている。
	・防災訓練と合同で実施する検 討を行う		L.			防災訓練に於いて担当課によ る操作訓練の実施	0	・防災訓練と合同で実施する	*H29年度 R7年度		6 ●		8			・実施に向けた取り組みを継続		・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災訓練と合同で実施	·H30年度 ·R7年度			
	・排水ポンプ等の設置箇所の選定まで行った排水計画(案)の ・排水設備の耐水化		R7年度 ・排の! R7年度	#水ポンプ設置箇所(2箇所) 設定及び「台風・大雨に備え	0	・排水ポンプの設置箇所(2箇所)及び過去の浸水箇所の一 ・実施に向けた取組を継続	Ο Δ	・検討する・排水設備の耐水化	•H29年度 •R7年 •R3年度 •R7年		0			・計画策定の検討を行う・排水設備の耐水化	 H29年度 ·R7年度 R3年度 ·R7年度 	・実施に向けた取り組みを継制	ž Δ	・実施に向けた取り組みを継続・実施に向けた取り組みを検討	Δ	・排水ポンプの設置箇所を選定 した排水計画(案)の作成 ・排水設備の耐水化	*R3年度 *R7年度 *R3年度 *R7年度	・作成に向け内部検討中	0	・作成に向け内部検討中
水設備の耐水化		·R3年度 ·F				・実施に向けた取組を継続		・作成に必要な情報の提供	·R3年度 ·R7年					・作成に必要な情報の提供	·R3年度 ·R7年度			していく ・実施に向けた取り組みを検討	_	・作成に必要な情報の提供	·R3年度 ·R7年度			

OR3取り組み状況について(個票)4/6

内容		実施期間	行方市	_			-	施期間	鉾田市					実施期間	小美玉市					-	施期間	美浦村			——
N-B	実施内容	着手 完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績 実	施状況 実施内容		完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	着手 完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容		完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実
策の主な取組 ②洪水氾濫に。	よる被害の軽減、避難時間	の確保のための水	防活動の取組																						
より効果的な水防活動の実施及	び水防体制の強化																								
①水防団等への連絡体制の再確認 と伝達訓練の実施		・H28年度 ・R7年度	・災害時優先携帯等を用い訓練を実施	. 0	・災害時優先携帯等を用い訓練を実施	○ ・水防訓練に併せ伝達訓練を 施する	実 ・H29年原	度 ·R7年度	E・デジタル簡易無線機で伝達制 線を実施		・デジタル簡易無線機で伝達語 練を実施 ・消防団が兼務しており、分団 とは日常からメール配信を実施	長〇	水防訓練時に実施	・H28年度 ・R7年度	・連絡体制の再確認を実施	0	・連絡体制の再確認を実施		・既に、村の防災訓練に併せf 達訓練を実施している	云 ·H28年月	雙 •R7年度	新型コロナの影響で未実施	0		
②水防団同士の連絡体制の確保	·双方向通信機を配備し、マニュ アル作成済み	・H28年度 R7年度	・簡易無線機を各部に配備し、 領を作成、配布済み	要 ●	・簡易無線機を各部に配備し、要 領を作成、配布済み	・連絡体制を確保する	・H28年月	度 R7年度	・デジタル簡易無線機を配備		デジタル簡易無線機を配備		検討する	•H28年度 R7年度	・消防団が水防団を兼務しており、連絡体制は、火災現場等で 実施している ・消防団車両に無線機を配備	•	 消防団が水防団を兼務しており、連絡体制は、火災現場等で実施している 消防団車両に無線機を配備 	•	連絡体制確保の検討	・H28年月	度 R7年度	・消防車両に無線機及び小型無線機を配備	•		
③水防団や地域住民が参加する洪 水に対しリスクが高い区間の共同点 総	吐佐花笠の井田よ台に会加	・H28年度 R7年度	・水防訓練のほか、出水期前に 水防重点箇所の共同点検において、行政区民、消防団員が多		・水防訓練のほか、出水期前に 水防重点箇所の共同点検にお いて、行政区民、消防団員が参	・河川事務所が実施する重要 防箇所等の共同点検に参加る	水 ·H28年度	度 ·R7年度	・河川事務所が実施する共同が 検に参加	ė Ο	・河川事務所が実施する共同 検に参加(未実施)	å ○ ·	河川事務所が実施する共同点 ほに消防団等とともに参加	·H28年度 ·R7年度	・R2年度は共同点検未実施のため不参加	E 0		施 ● -	・河川事務所が実施する重要 防箘所等の共同点検に参加する	水 ·H28年月	度 ·R7年度	河川事務所が実施する合同点検に参加	0		
(4)関係機関が連携した実働水防訓 練の実施		・H29年度 ・R7年度 ・H29年度	加(今年度は新型コロナウイル ・実施に向けた取り組みを継続 ・消防夏季訓練の際に水防訓練			△ ・利根川水系連合水防演習に 加する	参 ·H29年序	度 ·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	ħ Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ .	水防訓練を5月に実施	・H28年度 ・R7年度	・R2年度は未実施	0	未実施	ī	・既に美浦村、稲敷市、阿見町 市町村で合同の水防訓練を身 施している	[3 ・H28年]	度 ·R7年度	新型コロナの影響で未実施	0		+
⑤水防活動の担い手となる水防協 力団体の募集・指定を促進	-募集を検討	・H28年度 ・R7年度	を実施 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	を実施 ・実施に向けた取り組みを継続	△ ・広報誌やホームページ等で 集していく	募 ・H29年月	度 ·R7年度	・広報誌やホームページ等で事 集	夢 O	・広報誌やホームページ等で3 集・消防団員による勧誘	0 .	自主防災組織の活動促進	・H28年度 ・R7年度	・広報紙やホームページで水防 団を兼務する消防団員の募集を 行った	0	・広報誌やホームページで水瓜 団を兼務する消防団員の募集 行った	方 を が	・広報誌やホームページ等で! 集を検討する	募 ・H29年月	变 ・R7年度	・水防団を兼務する消防団員の加入促進を実施し、団員を募集			
⑥地域の建設業者による水防支援 体制の検討・構築	-実施を検討	・H28年度 R7年度	・災害時における資機材のリース協定や市内建設業者と連携 み	済	・災害時における資機材のリー ス協定や市内建設業者と連携済 み	● ・災害協定締結済み	・H19年月	度 R7年度		•	・災害協定締結済み	•	検討する	・H28年度 R7年度	・建設業協会と災害協定を締結している	•	・建設業協会と災害協定を締ま している	å • ·	実施を検討する	・H29年	变 •R7年度	・実施に向けた内部検討	0		+
⑦内水被害危険箇所の把握及び情 報共有	・消防団と情報共有、点検を行う	-H28年度 -R7年度	・台風まえに消防団等と点検を 実施	0	・ 台風まえに消防団等と点検を 実施	○ ·水防団等と情報共有, 点検I 努める	- H28年度	度 R7年度	河川事務所が実施する共同的検に参加		・河川事務所が実施する共同 検に参加		水防団等と情報共有、点検に 8める	・H28年度 ・R7年度	・水防団等と情報共有. 点検	0	浸水想定区域のある行政区の 区長と水位警報装置の点検を 施した。	実 ・	・水防団等と情報共有及び点 等の検討	検 ・H28年原	度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	0		
⑧重要水防箇所の見直し及び水防 資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等 の共同点検を実施。	•R3年度 •R7年度				・重要水防箇所・水防資機材 の共同点検を実施。	序 ・R3年度	F -R7年度			・新庁舎建設に併せ、水防資料 材を集約できる倉庫建設を検 ・先進事例を参考に水防資機 の配備を検討する	tat of the	重要水防箇所・水防資機材等)共同点検を実施。	•R3年度 •R7年度			消防、消防団と自主点検を実施した。	施 • -	・重要水防箇所・水防資機材 の共同点検を実施。	等 ・R3年度	•R7年度				
⑨水防に関する広報の充実(水防団 員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための 広報の検討、実施	•R3年度 •R7年度				・水防団員の募集、自主防災 総、企業等の参画を促すため 広報の検討、実施	組 ・R3年度 の	·R7年度			広報誌やホームページ等で3 集・消防団員による勧誘	0 #	水防団員の募集、自主防災組 は、企業等の参画を促すための 報の検討、実施	・R3年度 ・R7年度			・広報誌やホームページで水瓜団を兼務する消防団員の募集 行った	を #	・水防団員の募集、自主防災 機、企業等の参画を促すため 広報の検討、実施	組 ・R3年度 の	*R7年度				
⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度 •R7年度				・実践的な水防訓練の検討、 施	実 ·R3年度	·R7年度			・訓練方法等の内部検討	Δ .	実践的な水防訓練の検討、実 [•R3年度 •R7年度			実施内容について内部検討中	0 1	- 実践的な水防訓練の検討、 施	実 ·R3年度	*R7年度				
①水防関係者間での連携、協力に 関する検討	・広域的、効率的な水防活動の 実施に向けた関係者との連携、 協力	•R3年度 •R7年度				・広域的、効率的な水防活動 実施に向けた関係者との連携 協力		·R7年度			・他機関で実施される訓練. 議会等に参加し、連携強化を図		広域的、効率的な水防活動の 8施に向けた関係者との連携、 3力	•R3年度 •R7年度			実施内容について内部検討中		・広域的、効率的な水防活動の 実施に向けた関係者との連携 協力		•R7年度				
↓ 策の主な取組 ③一刻も早い≤		助の回復を可能とす	 - るための排水活動の取約	B.																					_
非水計画(案)の作成及び排水 ①排水機場・樋門・水門等の情報共	建設部や関係機関と協議し排	・H28年度 ・R7年度	・建設部や消防団と協議し、排	ж O	・建設部や消防団と協議し、排水	○ ・排水ポンプの設置箇所の選	定 -H29年月	度 -R7年度	機場管理者との情報共有、排	# I O	機場管理者との情報共有、技	F 0 1-	関係機関との排水施設の情報	-H28年度 -R7年度	・排水区域の選定について内部	3 0	排水機場等の所在地の確認、	管 〇 一	排水施設等が無いが、検討。	f -H30年月	变 ⋅R7年度		1		
有、排水手法等の検討を行い、大規 模水害を想定した排水計画(案)の 作成			ポンプ設置箇所を選定済み。 水計画(案)の作成に向けた検 討を実施	F	ボンブ設置箇所を選定済み。排 水計画(案)の作成に向けた検 討を実施	まで行った排水計画(案)を作する	成		水計画の検討		水計画の検討		有		検討		理者の調査を実施した。		8						
②排水訓練の実施	- 防災訓練等で実施	-H29年度 -R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・防災訓練と合同で実施する	•H29年月	度 ·R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ .	防災訓練での実施を検討	•H28年度 •R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ	・村の防災訓練と合同で実施 るよう検討する	・H30年月	*R7年度				
③内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	・建設部や関係機関と協議し排 水ポンプ設置箇所の選定までを 行った排水計画(案)を作成	・H28年度 ・R7年度	・県河川管理者と協議の上、排水計画の検討を実施・土地改良区と連携継続	0	・県河川管理者と協議の上、排水計画の検討を実施 ・土地改良区と連携継続	○ ・排水ポンプ等の設置箇所の 定まで行った排水計画(案)の 成	選 ・H29年度	度 ·R7年度	・排水計画(案)について内部検 討	0	・排水計画(案)について内部核 討	0	検討する	•H28年度 •R7年度	・計画策定を検討中	0	・計画策定を検討中	0	検討する	·H30年月	₹ •R7年度				
④排水設備の耐水化	- 排水設備の耐水化	-R3年度 -R7年度				・排水設備の耐水化	•R3年度	·R7年度			・段階的な耐水化対策を検討る	Φ .	排水設備の耐水化	•R3年度 •R7年度			検討中	0	排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度				
⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度 •R7年度				・作成に必要な情報の提供	-R3年度	-R7年度			・必要な情報の整理	Δ.	作成に必要な情報の提供	·R3年度 ·R7年度			検討中	0	・作成に必要な情報の提供	·R3年度	•R7年度				\top

事項 内容				हता 🗏 सिर						河内町				利根町					香取市			
	実施内容	実施基		阿見町 R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	河内町 R2年度実績	実施状況 R3年度実績	実施状況 実施内容	実施期間	D2年度宝结	実施状況 R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	間 D2年度宝徒	実施状況	R3年度実績	実施
ード対策の主な取組		/B F	/b 1						, AD 1 76 1				1 40 1 120	- 1				, re J 7				
(1)洪水を河川内で安全に流すす	対策																					
①優先的に実施する堤防整備																						
②優先的に実施する波浪対策																						
③危機管理型ハード対策																						
(2)避難行動、水防活動、排水活																						
①雨量・水位等の観測データ及び 水時の状況を把握・伝達するための 基盤の整備	洪 の																					
SE 302 - F 302 NO	・同報系、移動系(デジタル式) 無線は整備済		R7年度	<u>・同報系、移動系(デジタル式)</u> 無線は整備済	•		・防災無	無線のデジタル化	·H30年度 R2年度	防災無線のデジタル化整備完 (R3.2)	了 ● 前年度に整備完了済	 ・防災無線(同報系)のデジー 化実施設計(H28年度) 			● ·実施設計完了		・防災無線が聴き取りずらい世 帯に対し戸別受信機の貸与を進	·H28年度 ·R7	7年度 ・市町合併以前から、貸与1 施しており現在も継続中。*	寺に	 防災行政無線のデジタル化 に向け実施設計業務を実施 	化
②防災行政無線の改良、防災ラジ	・町主要施設、企業、土砂災害 警戒区域内の世帯(希望者)へ	-H28年度 、		無線は整備済 ・戸別受信機を設置	•							・防災無線(同報系)デジタノ 工事	レ化 ・H29年度	・防災無線(同報系)デジタル化工事(H29年度~H30年度)	 ・防災無線(同報系)デジタル 工事(H29年度~H30年度) 	-1t •	める		浸水想定区域にある要配成 設へ積極的な配布を実施	*者施		
等の配布	・難聴エリアへの増設等を検討する	·R2年度		・難聴エリアの特定、防災行政 無線の増設について検討を行っ	-																	
				<u>ている。</u>																		
③水防活動を支援するための新技 術を活用した水防資機材等の配備	りながら検討する	-H28年度 F	R7年度	・消防団員用安全管理資機材 (ライフジャケット)配備済	•		・資機材(材の充実を検討する。	-H28年度 -R7年度	・導入資材の選定について検討	村 〇 特になし	× ・水防団員の安全を図る資格 の充実	機材 ・H29年度 ・R7年	度 ・水防団(消防団)の安全を確保 するための資機材を整備	・水防団(消防団)の安全を するための資機材を整備	保〇	・新技術を活用したものではないが、基本的な水防資機材は配備している	N · H28年度 R7年	・新技術を活用したものでは が、基本的な水防資機材は 済	はない ・配備	 新技術を活用したものではいが、基本的な水防資機材は 備済 	
	検討する	·H28年度	R7年度	・国や県が設置している既存の	•				・H28年度 R7年度		県へ県管理河川への監視力	ラ	を提・H30年度 H30年月	g e	・町で作成した防災の手引き	[<u>.</u> •	・利根川以北が対象となる事か	·H28年度 R7年	年度・川の防災情報へのリンク派	斉み ●	川の防災情報へのリンク済	斉
④簡易水位計や量水標、CCTVカ ラ等の設置	*			設備を活用する (新たな設置は 予定していない)							設置を要望	供するサイトの情報を周知			国土交通省が提供する河川 報サイトへのリンクを掲載す	M 5.	ら、横利根川の水位データを市 のホームページにリンク貼り付け をする	t				
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自帰	・庁舎は浸水想定区域外						・霞ヶ浦が策を要し	#流域の浸水想定では対 しない。				・庁舎は浸水想定区域外で 発電装置有り	自家				濫水が貯留される事から避難誘	·H29年度 ·R7	7年度 ・実施に向けた取り組みを終	継続 △	実施に向けた取り組みを組	継続
発電装置等の耐水化	・災害協党を締結している事業	-H26年度	R7年度	・レンタル機材等の協力に関する	5 •		・音材の	の配備拡充	-H30年度 -R7年度		特になし	× ・内水被害危険箇所の対策	排 ·H28年度 R7年度		内水被害危険箇所の対策。		導を優先する ・漫水実績図の作成を行う	-H28年度 -R7	7年度 ・内水ハザードマップを配布	iL啓 O	・災害時の巡視を実施	
⑥内水被害危険箇所の対策、排力 ポンプの準備	所の協力を得る			協定の締結済				- 1010 2070				水ボンブの準備			水ボンブの準備				発を行っており、災害時の を実施	巡視	X2.4.4.2.50CX.50	
⑦重要インフラの機能確保を図る	・重要施設の雨水排水整備の9	₹ ·R3年度	·R7年度				・重要施	施設の雨水排水整備の実	·R3年度 ·R7年度		特になし	× ・重要施設の雨水排水整備 施	の実 ·R3年度 ·R7年	度	・重要施設の雨水排水整備 施	D実 Δ						
め、病院、市役所など重要施設の 水排水整備の実施	南																					
⑧河川防災ステーションの整備																						
	防災拠点の停電対策、災害対	•R3年度	•R7年度				 防災拠. 	拠点の停電対策、災害対	·R3年度 ·R7年度		導入に向けた内部検討	△ ・防災拠点の災害対策用備	蓄品 ・R3年度 ・R7年月	度	・水防センター内の備蓄品の	補〇						
⑨庁舎等の防災拠点の強化	策用通信機器の増強等						策用通信	信機器の増強等				の整備等			元。							
	1																					
再項 内容	実施内容	実施		阿見町 R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	河内町 R2年度実績	実施状況 R3年度実績	実施状況 実施内容	実施期間	利根町 R2年度実績	実施状況 R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	香取市 間 R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実
 対策の主な取組 ①逃げ遅れ・		着手 な避難行動(7	着手 完了				着手 完了	1				着手	元 [
広域避難を考慮したハザード	マップの作成・周知等																					
①想定最大規模降雨による浸水を 定区域図の公表	B.																					
②想定最大規模降雨による氾濫シ ミュレーションの公表	/a																					
	(案)を策定する		·R7年度	・稲敷広域市町村圏事務組合構成市町村を対象とした広域避難 計画が策定された。(H30.3)	0		-隣接市	市町村との協定締結	・H28年度 R2年度	・H29.1稲敷地方広域市町村事 務組合構成7市町村にて相互の	● 締結済	● ·稲敷広域組合構成市町村 討開始	で検 ・H28年度 R2年度	り災害時相互応援協定(広域差	り災害時相互応援協定(広場	よ ・	・隣接自治体との協定締結など 事前の調整を図った上で、広域 路職は両本等でする。	•H28年度 •R7	て広境避難所(7箇所)を設定した。計 に向け、引き結ち位標を進める	兩策定	 市町村災害対応統合システム(IDR4M 実務訓練を通じた、情報共有要領及び連 要領について確認 	M)の 連携
③広域避難計画の策定	稲敷広域圏内市町村で検討	・H28年度		・上記広域避難計画に基づき、河内町からの避難受入に関する						援協定締結 ・R2.6 稲敷市・阿見町・美浦村 と広域避難所の提供に係る党制	t de			難含む)を締結	難含む)を締結		避難計画を策定する		- H31.1.24 協定市間で計画策定への表 抽出のため、DIG訓練を実施した。	可經点		
				<u> </u>						柳梧												
-				励走の締結(H29.11)			1				1 1		1 1	1								1
	・広域避難計画策定後、広域避難を考慮したハザードマップの5	·H28年度 ·	·R7年度	協定の締結(H29.11) ・策定に向けた内部検討 ・想定最大規模降雨における浸	Δ.		·利根川 定区域図	川下流管内の洪水浸水想 図の公表後検討を行う	-H30年度 R2年度	ハザードマップ・防災ガイドブック の作成・周知(R2.8)	ク ● ハザードマップ・防災ガイドマ の作成及び配布済み	水を対象に、広域避難を反映	央し	度 ・防災の手引き及びハザードマ プを作成し、防災の手引きの中	プを作成し、防災の手引きの	中	水を対象に、新たな洪水ハザー	·H28年度 -R7	7年度 ・想定最大規模降雨における洪水を外たハザードマップを作成するため、仕村調整を行った。		 3回の説明会を実施。回数が少ないのコロナ禍のため、開催ができないため 	のは、
④広域避難を考慮したハザードマ・ ブの作成・周知等	難を者庫したハザードマップの	•H28年度 •	•R7年度	・策定に向けた内部検討	△		•利根川 定区域図	川下流管内の洪水浸水想 図の公表後検討を行う	·H30年度 R2年度	ハザードマップ・防災ガイドブックの作成・周知(R2.8) 【利根川・小貝川・霞ケ浦】	ク	ップ ● ・想定最大規模降雨におけて 水を対象に、広域避難を反 た洪水ハザードマップを策定 る	央し	度 ・防災の手引き及びハザードマ ブを作成し、防災の手引きの中 にはマイタイムラインを掲載し、 各戸配布により周知を図る	y ・防災の手引き及びハザート ブを作成し、防災の手引きの にはマイタイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る	中	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、新たな洪水ハザードマップを策定する	•H28年度 •R7	にハサートマックを作成するにおい、は1 調整を行った。 ・H30年度に想定最大規模降雨におけ を対象としたハザードマップを作成した ロビーコンを開始されてより	おお洗水 〇 こ。翌年		のは、
ノの作成·周知寺	難を考慮したハザードマップの5 定を検討する	E .	•R7年度	・策定に向けた内部検討 ・想定最大規模降雨における浸水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月)	Δ •		定区域图	図の公表後検討を行う		の作成・周知(R2.8) 【利根川・小貝川・霞ケ浦】	の作成及び配布済み	水を対象に、広域避難を反 た洪水ハザードマップを策定 る	吹 し です	ブを作成し、防災の手引きの中 にはマイタイムラインを掲載し、 各戸配布により周知を図る	ブを作成し、防災の手引きの にはマイタイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る	ф 	水を対象に、新たな洪水ハザー ドマップを策定する		12/ケー・マッノを下版するにお、な 調整を行った。 ・H30年度に想定最大規模時間におけ を対象としたパザードマップを作成した 度に配布関助を図る予定。 ・H31年度に前年度に作成したパザー を全戸配布し、ホームページへも掲載 民への関知を行った。	#る洪水 ○ co型年 ドマップ にし、市	コロナ視のため、開催ができないため	olt.
④広域避難を考慮したハザードマ・ブの作成・周知等⑤まるごとまちごとハザードマップ。 備・拡充	難を考慮したハザードマップの5 定を検討する	E .	•R7年度	・策定に向けた内部検討 ・想定最大規模降雨における浸水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月)	Δ Δ		定区域区	図の公表後検討を行う 川下流管内の洪水浸水想 図の公表後、整備に向け	-H30年度 R7年度	の作成・周知(R2.8) 【利根川・小貝川・霞ケ浦】 ・町内各所に想定浸水深を表示した看板を設置(利根川) 公共施設20カ所	 ク	水を対象に、広域避難を反映	吹 し です	プを作成し、防災の手引きの中 にはマクダムラインを掲載し 各戸配布により周知を図る ・1430年度に指定避難所の案内 看板を設置する ・浸水憩定深の表示看板につし	ブを作成し、防災の手引きの にはマイタイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る ・ 1+30年度に指定避難所の3 看板を設置する ・ 浸水想定変の表示看板に	中	水を対象に、新たな洪水ハザー ドマップを策定する	・H29年度 ・R7	12/ケート・マジェヤル のにの、なく 調整を行った。 +130年度に想定最大規模時間におけ を対象としたハザードマップを作成した 度に配布周知を図る予定。 +131年度に前午度に作成したハザー を全下配布し、ホームページへも掲載	#る洪水 ○ co型年 ドマップ にし、市		
プの作成・周知寺 (5)まるごとまちごとハザードマップ!	難を考慮したハザードマップの5 定を検討する	€ •H28年度	·R7年度 ·R7年度	・東定に向けた内部検討 ・変態の対す。 ・遊児最大規模等而における浸水を定区域のハザードマップを 東定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討	Δ		定区域区 ・利根川 定区域区 て検討す	図の公表後検討を行う 川下流管内の洪水浸水想 図の公表後、整備に向け する。	-H30年度 R7年度	の作成・周知(R2.8) 【利根川・小貝川・霞ケ浦】 ・町内各所に想定漫水深を表示 した看板を設置(利根川)	の作成及び配布済み	水を対象に、広域避難を反 た洪水ハザードマップを策定 る ・洪水浸水総地図の公表後	失し とす 設 -H29年度 -R7年	プを作成し、防災の手引きの中 にはマイタイムラインを掲載し、 各戸配布により周知を図る 度 ・1430年度に指定避難所の案内 看板を設置する ・浸水想定深の表示看板につし では、今後検討 度 ・要配慮検利用施設の避難計	ブを作成し、飲奴の手引をの にはマクタムラインを掲載 各戸配布により開知を図る ・ 1810年度に指定混動所の3 事態を設置する ・ 浸水型定深の表示看板に では、今後検討	中 内 O い 十画	水を対象に、新たな洪水ハザー ドマップを策定する ・避難所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び	·H29年度 ·R7	1回を手下が、全地球をはいません。 1回を手下が、と地球を対象はは1回を手下が、 1回を乗りたが、生きなが、 東京都帯域が単位の子型、 大学を大きなが、 本子を全が取れ、ホームページンも開業 長の周節を行った。 本方のの一部に設置済であ が、拡充について検討か。 大部の公司集、市成等等を示し、 をは、または用条件が、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	# 本	コロナ視のため、開催ができないため	
)の作成・同知寺 (5)まるごとまちごとハザードマップ!	数を考慮したハザードマップの1 空を検討する ・洪水浸水総地図の公表後、整 備に向けて検討する ・避難訓練等を支援する	€ •H28年度	·R7年度 ·R7年度	・東定に向けたの部域計 型定是大規模時間における浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・登備に向けた内部検討 ・支単に向けた内部検討 ・支単に向けた内部検討 等へ避難線繋計画の説明を開 を(H31.2月)	Δ		定区域区 ・利根川 定区域区 て検討す	図の公表後検討を行う 川下流管内の洪水浸水想 図の公表後、整備に向け する。	-H30年度 R7年度	の作成、周知(R2.8) 【利根川・小貝川・霞ケ浦】 ・町内各所に想定浸水深を表示 した電板を設置(利根川) 公共施設20ヵ所 電柱40カ所	の作成及び配布済み前年度に実施済	水を対象に、広域避難を反 た決水ハザードマップを楽え る ・洗水浸水総地図の公表後 置に向けた検討を行う	失し とす 設 -H29年度 -R7年	プを作成し、防災の手引きの中 にはマイタイムラインを掲載し、 各戸配布により周知を図る ・ は、1430年度に指定避難所の案内 看板を設置する ・浸水想定深の表示看板につし では、今後検討	ブを作成し、飲奴の手引をの にはマクタムラインを掲載 各戸配布により開知を図る ・ 1810年度に指定混動所の3 事態を設置する ・ 浸水型定深の表示看板に では、今後検討	中 内 O い 十画	水を対象に、新たな洪水ハザー ドマップを策定する ・避難所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する	·H29年度 ·R7	1/19年1-7-2/2 で作成すのにおいて 関係をデーカン。を作成すると思想を支援機関は記憶を は、を開発したパデーマップを存成した 関定を展開を匿名を受え ・101年度に関係変に作成したパデー を全市配布、キームペーンの一部に設置済であ が、拡充について検討中。	# 本	コロナ級のため、関催ができないため - 見直しを検討中	
プの作品、周知寺 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 情 払充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画・ 作成及び訓練の役差	関を考慮したパザードマップの? 東を検討する ・洪水浸水総地図の公表後、整整 備に向けて検討する ・避難訓練等を支援する の	€ •H28年度	·R7年度 ·R7年度	・要定に向けた内部検討 ・要定書人規模解而における浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部検討 ・現主権で委配席者施設管理者 令人避難保存計画の説明を問	Δ Ο		定区域区 ・利根川 定区域区 て検討す	図の公表後検討を行う 川下流管内の洪水浸水想 図の公表後、整備に向け する。	-H30年度 R7年度	の作成、周知(R2.8) 【利根川・小貝川・霞ケ浦】 ・町内各所に想定浸水深を表示 した電板を設置(利根川) 公共施設20ヵ所 電柱40カ所	の作成及び配布済み前年度に実施済	水を対象に、広域避難を反 た決水ハザードマップを楽え る ・洗水浸水総地図の公表後 置に向けた検討を行う	失し とす 設 -H29年度 -R7年	プを作成し、防災の手引きの中 にはマイタイムラインを掲載し、 各戸配布により周知を図る 度 ・1430年度に指定避難所の案内 看板を設置する ・浸水想定深の表示看板につし では、今後検討 度 ・要配慮検利用施設の避難計能	ブを作成し、飲奴の手引をの にはマクタムラインを掲載 各戸配布により開知を図る ・ 1810年度に指定混動所の3 事態を設置する ・ 浸水型定深の表示看板に では、今後検討	中 内 O い 十画	水を対象に、新たな洪水ハザー ドマップを策定する ・避難所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び	·H29年度 ·R7	1回を手下が、全地球をはいません。 1回を手下が、と地球を対象はは1回を手下が、 1回を乗りたが、生きなが、 東京都帯域が単位の子型、 大学を大きなが、 本子を全が取れ、ホームページンも開業 長の周節を行った。 本方のの一部に設置済であ が、拡充について検討か。 大部の公司集、市成等等を示し、 をは、または用条件が、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	# 本	コロナ級のため、関催ができないため - 見直しを検討中	
のまることまちごとハザードマップ! 情・拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目した5	関を考慮したパザードマップの! 東を検討する ・洗木湯木服地図の公表後、整 (個に向けて検討する ・遅期訓練等を支援する の 3イムラインの作成 「タイムラインを策定する	€ ・H28年度 ・H28年度	-R7年度 -R7年度	・東定に向けた内部検討・受定者、対象に向けた内部検討・受定者、対象時間を対象に対して、対象定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部検討・東土催で季配庫者施設管理者 等へ遅難確定計画の説明を開 様の上部に2月) ・対象となる整配庫者施設・選	Δ Ο		定区域区 - 利根川 定区域区 て検討す - 避難訓	図の公表後検討を行う 川下流管内の洪水浸水您 図の公表後、整備に向け する。 訓練等を支援する。	*H30年度 R7年度 *H30年度 -R7年度	の作成、周知(R2.8) 【利根川・小貝川・霞ケ浦】 ・町内各所に想定浸水深を表示 した電板を設置(利根川) 公共施設20ヵ所 電柱40カ所	の作成及び配布済み前年度に実施済	水を対象に、広域避難を戻 た洪水・ゲードマップを強度 る ■ 流水浸水を始回の公表後 置に向けた検討を行う × ・避難訓練等を支援する	失し。 ・	プを作成し、防災の手引きの中にはマクタイムライと複数し、各戸配布により周知を図る 度 1400年度に指定温程所の案内 者をお選する。 2次水影変の表示者板については、令後検討 度 ・最近の表示者域については、令後検討 で、手配底者利用施設の避難計 の作成及び訓練美施を促進す	ブを作成し、飲の手引をの にはマグイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る ・ 1400年度に指定議録所の海 報をお設定なの表示者板に ・ 「足水設定なの表示者板に ては、令後検討 の作成及び訓練実施を使達	中	水を対象に、新たな洗水ハザー ドマップを策定する ・避難所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	-H29年度 -R7 -H28年度 -R7	の関係であっています。 (1.2.) に いっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	# 母の	20 + 級のため、簡単ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 3.4 ***********************************	
のまるごとまちごとハザードマップ 債 拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進	関を考慮したパザードマップの! 東を検討する ・洗木湯木服地図の公表後、整 (個に向けて検討する ・遅期訓練等を支援する の 3イムラインの作成 「タイムラインを策定する	€ ・H28年度 ・H28年度	-R7年度 -R7年度	・策定に向けたの部域計 を定義人規模解画における浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けを記載等 ・支援を ・対して ・対し ・対して ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が	Δ Ο		定区域区 - 利根川 定区域区 て検討す - 避難訓	図の公表後検討を行う 川下流管内の洪水浸水您 図の公表後、整備に向け する。 訓練等を支援する。	*H30年度 R7年度 *H30年度 -R7年度	の作成・勝知(R28) 【利規川・小貝川・震ケ浦】 ・町内各所に起定浸水深を表示 した看板を設置(利規川) 公共施設20カ所 電社40カ所 ・対象施設への個別説明		水を対象に、広域避難を反 た洪水・ゲードマップを策定 る ・洪水浸水配地図の公表後 面に向けた検討を行う × ・避難訓練等を支援する ・温難に着目した利根川・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(共元年度 → R7年) ・H29年度 → R7年 → H29年度 → R7年 →	プを作成し、防災の手引きの中にはマグタイムライと構動し、各戸配布により周知を図る 度 * H30年度に指定運難所の案内 着格を設置する。 ・浸水要と深の表示者板につしては、今後表と深の表示者板につしては、今後表 の作成及び訓練実施を促進す が作成及び訓練実施を促進す ようインを作成済み。(令和元4 8月更新)	ブを作成し、飲の手引をの にはマグイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る ・ 1400年度に指定議録所の海 報をお設定なの表示者板に ・ 「足水設定なの表示者板に ては、令後検討 の作成及び訓練実施を使達	中	水を対象に、新たな洗水ハザー ドマップを策定する ・避難所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	-H29年度 -R7 -H28年度 -R7	調整を行うな。 10年代に変更を対議解解に対す 10年代に変更を対議解解に対す 対策をしたパイナーマップを作成した。 第11年機能が見ると変。 4年度 ・	# 母の	20 + 祭のため、開催ができないため - 見直しを検討中 - 54 * 59 * 14 * 14 * 15 * 15 * 15 * 15 * 15 * 15	
(5)まることまちごとハザードマップ! 備 拡充 (5)要配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目したタイラインの作成 (2)遅軽指示の発令に着目したタイラインの作成	関を考慮したパザードマップの! ・ 定を検討する ・ 洗水浸水起地図の公表後、整	H28年度 · H28年度 · H28年度 · H28年度 · H28年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度	・策定に向けたの部域計 を定義人規模解画における浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けを記載等 ・支援を ・対して ・対し ・対して ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が	Δ Ο		定区域図・利根川東西の大学・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一	図の公表後検討を行う 川下流管内の洪水浸水您 図の公表後、整備に向け する。 訓練等を支援する。	-H30年度 R7年度 -H30年度 -R7年度 -H30年度 R7年度	の作成・勝知(R28) 【利根川・小貝川・霞ケ浦】 ・町内各所に恕定浸水深を表示 した看板を設置(利根川) 公共施設20カ所 電社40カ所 ・対象施設への個別説明		水を対象に、広域避難を戻 た機大・パゲードマップを強度 6 ・淡水浸水配地図の公表後 置に向けた検討を行う × ・避難訓練等を支援する ・遊離訓練等を支援する	(共元年度 → R7年) ・H29年度 → R7年 → H29年度 → R7年 →	プを作成し、防災の手引きの中にはマグタイムライと構動し、各戸配布により周知を図る 度 * H30年度に指定運難所の案内 着格を設置する。 ・浸水要と深の表示者板につしては、今後表と深の表示者板につしては、今後表 の作成及び訓練実施を促進す が作成及び訓練実施を促進す ようインを作成済み。(令和元4 8月更新)	プを作成し、飲の手引きのにはマクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 「はママクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 「はなりを開発しまする。 「おいるで度に指定避難所の済 者態を設置する。「それでは、今後検討 「「な、今後検討」 「「本ので成した到検実施を促進 の作成及び割検実施を促進 「カードームケージや 別で 成した数の手引きに、マイ 成した数の手引きに、マイ	中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	水を対象に、新たな洗水ハザー ドマップを策定する ・避難所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援	-H29年度 -R7	のサード・ウェアル 6 clast に からか、 clast に からか、 clast に からか clast に clast	# 母の	20 + 級のため、開催ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 3.4 ***********************************	:o
の示なごとまちごとハザードマップ! 備・拡充 ⑤東配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目した5イ ⑦避難指示の発令に着目した5イ	対象を対象したパザードマップの! ツ 定を検討する ツ 定を検討する ツ 定を検討する ・	H28年度 · H284年度 · H2	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・東定に向けたの部域計 ・変定是大規模解画とおける浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部域計 ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援となる多配虚者施設 ・支援 ・支援にのが ・大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	Δ		定区域原	図の公表後検討を行う 川下語管内の洗水浸水想 図の公表後、整備に向けする。 川水路を支援する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-H30年度 R7年度 -H30年度 -R7年度 -H38年度 R2年度 -R3年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表示した看板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への個別説明		水を対象に、広域避難を戻した た規木パザードマップを強度 ・ 選末浸水影性図の公養後 置に向けた検討を行う × ・ 避難訓練等を支援する ・ 選難に着目した刺刺川・・・・ ・ 現底しを図る。 ・ マイ・タイムラインの作成の 進	快。 一般	プを作成し、防災の手引きの中にはマクタイムラインを掲載し、各戸配布により周知を図る 使 1430年度に指定連難所の家兵 事態を設置する。 「水水形深の表示者板については、令後検討 度 予疑記慮予用階級の連難計 で、予疑記慮予用階級の連難計 で、予疑記慮予用階級の連難計 をの作成及び訓練実施を促進す は、一種機川・小貝川に対応したタームラインを作成済み。(令和元4 8月更新)	フを作成し、飲の手引をのにはマクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 「はママクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 場が整定深の表示を看板に ては、今後検討 「	中	水を対象に、新たな湯水ハザードマップを東定する ・避難所等の施設に、避難経路に関するる案内表示板等の設置を検討する。 ・タイムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・震災に対する訓練のみであっ	- H29年度 - R7 - H29年度 - R7 - H28年度 - R7 - R3年度 - R7 - R3年度 - R7	の報告でいっています。 60点、に のはのは、10点の	#####	2019級のため、開催ができないため - 見直しを検討中 - 34.5034541 戸道暦前長行の近年間 - 作成中、広域避難協変市との 調整を今後更に行う - 174.3.23 マイタイムライン講習会を 施	の
②原本なごとまちごとハザードマップ! 像・拡充 ②要記慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成	対を考慮したパザードマップの! ツ 定を検討する ・洗水浸水服地図の公表後、整 備に向けて検討する ・遅難訓練等を支援する の パイムラインの作成 ・ディムラインを策定する ム ・マイ・ティムラインの作成の促 基 進	H28年度 · H284年度 · H2	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・策定に向けたの部域計 を定義人規模解画における浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けを記載等 ・支援を ・対して ・対し ・対して ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が ・が	Δ		定区域原	図の公表後検討を行う 下流管内の浜水浸水憩 図の公表後、整備に向けする。 連帯を支援する。	-H30年度 R7年度 -H30年度 -R7年度 -H38年度 R2年度 -R3年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表示した看板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への個別説明		水を対象に、広域避難を戻した た規木パザードマップを強度 ・ 選末浸水影性図の公養後 置に向けた検討を行う × ・ 避難訓練等を支援する ・ 選難に着目した刺刺川・・・・ ・ 現底しを図る。 ・ マイ・タイムラインの作成の 進	快。 一般	プを作成し、防災の手引きの中にはマグタイムライと構動し、各戸配布により周知を図る 度 * H30年度に指定運難所の案内 着格を設置する。 ・浸水要と深の表示者板につしては、今後表と深の表示者板につしては、今後表 の作成及び訓練実施を促進す が作成及び訓練実施を促進す ようインを作成済み。(令和元4 8月更新)	フを作成し、飲の手引をのにはマクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 「はママクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 場が整定深の表示を看板に ては、今後検討 「	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザー ドマップを東定する ・避難所等の施設に、避難経路 に関する案中表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・タイムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 進	- H29年度 - R7 - H29年度 - R7 - H28年度 - R7 - R3年度 - R7 - R3年度 - R7	のサード・ウェアル 6 clast に からか、 clast に からか、 clast に からか clast に clast	#####	20 + 級のため、開催ができないため - 見直しを検討中 - 34 10 10 10 11 ア産業計画を作成を確認 - 作成中、広域避難協定市との 開整を今後更に行う	の
のまることまちごとハザードマップ! 歯・拡充 ⑤更配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目したら ①避難指示の発令に着目したタインの作成 ②連難指示の発令の判断基準によ づいた。マイ・タイムラインの作成 ③タイムラインに基づく実践的な訓 減イムラインに基づく実践的な訓 (多数情報発促師の「危険確のを	対を考慮したパザードマップの! ツ 定を検討する ・洗水浸水起地回の公表後、整整 備に向けて検討する ・避難訓練等を支援する の が パータイムラインの作成 ・マイ・タイムラインの作成の促 基連・実践的な訓練を実施する	H28年度 · H284年度 · H2	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・東定に向けたの部域計 ・変定是大規模解画とおける浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部域計 ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援となる多配虚者施設 ・支援 ・支援にのが ・大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	Δ		定区域版	図の公表後検討を行う 下流管内の浜水浸水憩 図の公表後、整備に向けする。 連帯を支援する。	-H30年度 R7年度 -H30年度 -R7年度 -H38年度 R2年度 -R3年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表示した看板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への個別説明		水を対象に、広域避難を戻した た規木パザードマップを強度 ・ 選末浸水影性図の公養後 置に向けた検討を行う × ・ 避難訓練等を支援する ・ 選難に着目した刺刺川・・・・ ・ 現底しを図る。 ・ マイ・タイムラインの作成の 進	快。 一般	プを作成し、防災の手引きの中にはマクタイムラインを掲載し、各戸配布により周知を図る 使 1430年度に指定連難所の家氏 事を設置する。 「水形型深の表示者板については、令後検討 使 予報配率の利用協同の連難計 の作成及び訓練実施を促進す ・利機川・小貝川に対応したタームラインを作成済み。(令和元4 の月更新)	フを作成し、飲の手引をのにはマクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 「はママクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 場が整定深の表示を看板に ては、今後検討 「	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザー ドマップを東定する ・・ ・ 型観所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する ・ 作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・ タイムラインの策定、見直しを行 う ・ 電災に対する訓練のみであっ ・ ・ ・ 電災に対する訓練のみであっ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- H29年度 - R7 - H29年度 - R7 - H28年度 - R7 - R3年度 - R7 - R3年度 - R7	の報告でいっています。 60点、に のはのは、10点の	#####	2019級のため、開催ができないため - 見直しを検討中 - 34.5034541 戸道暦前長行の近年間 - 作成中、広域避難協変市との 調整を今後更に行う - 174.3.23 マイタイムライン講習会を 施	の
の作成・周知寺 「赤衣ごとまちごとハザードマップ! 情・拡充 ②要配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の受差 避難指示の発令に着目したタイラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイラインの作成 ②連難指示の発令に着目したタイラインの作成 ②第イムラインに基づく実践的な訓練	関を考慮したパザードマップの! 東を検討する ・	H28年度 · H284年度 · H2	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・東定に向けたの部域計 ・変定是大規模解画とおける浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部域計 ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援となる多配虚者施設 ・支援 ・支援にのが ・大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	Δ		定区域版	図の公表後検討を行う 下流管内の浜水浸水憩 図の公表後、整備に向けする。 連帯を支援する。	-H30年度 R7年度 -H30年度 -R7年度 -H38年度 R2年度 -R3年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表示した看板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への個別説明		水を対象に、広域避難を戻した た規木パザードマップを強度 ・ 選末浸水影性図の公養後 置に向けた検討を行う × ・ 避難訓練等を支援する ・ 選難に着目した刺刺川・・・・ ・ 現底しを図る。 ・ マイ・タイムラインの作成の 進	快。 一般	プを作成し、防災の手引きの中にはマクタイムラインを掲載し、各戸配布により周知を図る 使 1430年度に指定連難所の家氏 事を設置する。 「水形型深の表示者板については、令後検討 使 予報配率の利用協同の連難計 の作成及び訓練実施を促進す ・利機川・小貝川に対応したタームラインを作成済み。(令和元4 の月更新)	フを作成し、飲の手引をのにはマクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 「はママクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 場が整定深の表示を看板に ては、今後検討 「	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザー ドマップを東定する ・・ ・ 型観所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する ・ 作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・ タイムラインの策定、見直しを行 う ・ 電災に対する訓練のみであっ ・ ・ ・ 電災に対する訓練のみであっ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- H29年度 - R7 - H29年度 - R7 - H28年度 - R7 - R3年度 - R7 - R3年度 - R7	の報告でいっています。 60点、に のはのは、10点の	#####	2019級のため、開催ができないため - 見直しを検討中 - 34.5034541 戸道暦前長行の近年間 - 作成中、広域避難協変市との 調整を今後更に行う - 174.3.23 マイタイムライン講習会を 施	のの
②京をごとまちごとハザードマップ! 優、拡充 ③実配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ②連輯指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ②連輯指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ②連輯指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ②タイムラインに基づく実践的な訓練 (④気候情報を暗論の「危険度のを 分け表示」、「警報級の現象になる 能性の情報提供」や「メッシュ情報 ・「シストリートラーマン。」 「シストリートラーマン。 「シストリートラーマン。」 「シストリートラーマン。	対き事態したパザードマップの! *** ・洪大淳水総地図の公表後、整備に向けて検討する ・避婚訓練等を支援する ・避婚訓練等を支援する ・ 必得が必要がある。 ・ でイ・タイムラインの作成の促 ・ でイ・タイムラインの作成の促 ・ 実践的な訓練を実施する ・ 実践的な訓練を実施する	H28年度 · H284年度 · H2	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・東定に向けたの部域計 ・変定是大規模解画とおける浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部域計 ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援となる多配虚者施設 ・支援 ・支援にのが ・大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	Δ		定区域版	図の公表後検討を行う 下流管内の浜水浸水憩 図の公表後、整備に向けする。 連帯を支援する。	-H30年度 R7年度 -H30年度 -R7年度 -H38年度 R2年度 -R3年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表示した看板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への個別説明		水を対象に、広域避難を戻した た規木パザードマップを強度 ・ 選末浸水影性図の公養後 置に向けた検討を行う × ・ 避難訓練等を支援する ・ 選難に着目した刺刺川・・・・ ・ 現底しを図る。 ・ マイ・タイムラインの作成の 進	快。 一般	プを作成し、防災の手引きの中にはマクタイムラインを掲載し、各戸配布により周知を図る 使 1430年度に指定連難所の家氏 事を設置する。 「水形型深の表示者板については、令後検討 使 予報配率の利用協同の連難計 の作成及び訓練実施を促進す ・利機川・小貝川に対応したタームラインを作成済み。(令和元4 の月更新)	フを作成し、飲の手引をのにはマクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 「はママクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 場が整定深の表示を看板に ては、今後検討 「	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザー ドマップを東定する ・・ ・ 型観所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する ・ 作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・ タイムラインの策定、見直しを行 う ・ 電災に対する訓練のみであっ ・ ・ ・ 電災に対する訓練のみであっ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- H29年度 - R7 - H29年度 - R7 - H28年度 - R7 - R3年度 - R7 - R3年度 - R7	の報告でいっています。 60点、に のはのは、10点の	#####	2019級のため、開催ができないため - 見直しを検討中 - 34.5034541 戸道暦前長行の近年間 - 作成中、広域避難協変市との 調整を今後更に行う - 174.3.23 マイタイムライン講習会を 施	co の を実
3から、海知寺 ・ 一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一次の一	対き事態したパザードマップの! *** ・洪大淳水総地図の公表後、整備に向けて検討する ・避婚訓練等を支援する ・避婚訓練等を支援する ・ 必得が必要がある。 ・ でイ・タイムラインの作成の促 ・ でイ・タイムラインの作成の促 ・ 実践的な訓練を実施する ・ 実践的な訓練を実施する	H28年度 · H284年度 · H2	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・東定に向けたの部域計 ・変定是大規模解画とおける浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部域計 ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援にのが ・支援となる多配虚者施設 ・支援 ・支援にのが ・大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	Δ		定区域版	図の公表後検討を行う 下流管内の浜水浸水憩 図の公表後、整備に向けする。 連帯を支援する。	-H30年度 R7年度 -H30年度 -R7年度 -H38年度 R2年度 -R3年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表示した看板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への個別説明		水を対象に、広域避難を戻した た規木パザードマップを強度 ・ 選末浸水影性図の公養後 置に向けた検討を行う × ・ 避難訓練等を支援する ・ 選難に着目した刺刺川・・・・ ・ 現底しを図る。 ・ マイ・タイムラインの作成の 進	快。 一般	プを作成し、防災の手引きの中にはマクタイムラインを掲載し、各戸配布により周知を図る 使 1430年度に指定連難所の家氏 事を設置する。 「水形型深の表示者板については、令後検討 使 予報配率の利用協同の連難計 の作成及び訓練実施を促進す ・利機川・小貝川に対応したタームラインを作成済み。(令和元4 の月更新)	フを作成し、飲の手引をのにはマクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 「はママクイムラインを掲載 音戸配布により周知を図る 場が整定深の表示を看板に ては、今後検討 「	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザー ドマップを東定する ・・ ・ 型観所等の施設に、避難経路 に関する案内表示板等の設置を 検討する ・ 作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・ タイムラインの策定、見直しを行 う ・ 電災に対する訓練のみであっ ・ ・ ・ 電災に対する訓練のみであっ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- H29年度 - R7 - H29年度 - R7 - H28年度 - R7 - R3年度 - R7 - R3年度 - R7	の報告でいっています。 60点、に のはのは、10点の	#####	2019級のため、開催ができないため - 見直しを検討中 - 34.5034541 戸道暦前長行の近年間 - 作成中、広域避難協変市との 調整を今後更に行う - 184.323 マイタイムライン講習会を 施	co の を実
プの作成・周知寺 「京本るごとまちごとハザードマップ! 機・拡充 「京東配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目したタイプ・シャス・フィータイムラインの作成 「認難指示の発令に着日したタイプ・シャス・フィータイムラインの作成 「別を情報条の場合にある「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる能性の情報提供・グイメンュ情報表表化」等の改善 「京洪木時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築 防災教育や防災知識の普及	対象を対象にたハザードマップの! ツ 定を検討する ・ 洗水浸水泥地面の公表後、整 備に向けて検討する ・ 避難訓練等を支援する の が ・ 必要 では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度 · H28年度 · H28年度 · H28年度 · H28年度 · H29年度 · H29年度	- R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度	・東定に向けたの影検討 ・変定是大規模所における浸水思定区域のハゲードマップを 東定し住民へ周如(H30.7月) ・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・表温値で悪配線者施設管理者 等へ避難破役計画の説明を開 (H31.2月) ・労業となる悪配慮者施設へ避 強強を計画のの地域を呼ばかけて ・水密タイムライン策定済 ・タイムラインに基づく実践的な 訓練手法等について検討	Δ O		定区域原 ・	図の公表後検討を行う 川下滅管内の浜水浸水想 図の公表後、整備に向け する。 ・ウリストの作成 タイムラインの作成の促 対応制機が町内全域で完 カムに、水書を想定した到 う。	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H28年度 R2年度 -R3年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表示した看板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への個別説明		水を対象に、広域避難を反 た機大・ゲードマップを強変 の : 漢水浸水影地図の公養後 数に向けた検討を行う × ・避難回線等を支援する ・避難に着目した料根川・小 ・現を対イムケインを策定し、「 ・マイ・タイムラインの作成の 進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	規・ ・	プを作成し、防災の手引きの中にはマクイクスクを複数し、各戸配布により周知を図る 度 H30年度に指定連難所の案内 ・ 第2を設置する ・ 浸水整定変の表子者はについ では、令後終討 度 予報度用限級の避難計 の作成及び訓練実施を促進す ・ 利機川・小貝川に対応したシームラインを作成清み。(令和元4 度 東延章本列形態の過難計 変 ・ 事践的な訓練の実施を検討す を	フを作成し、飲飲の手引をの にはマグイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る ・ 140年度に指定避難所の名 者能を設置する。 ・ 浸水型定深の表示者板に では、今後検討 ・ 一・	中 内 い い	水を対象に、新たな洗水ハザードマップを東定する ・避難所等の施設に、避難経路に関する架内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・タイムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・変災に対する訓練のみであっ が表し、解年で水災等対象の訓練を実施するなど検討する	- H29年度 - R77 - H28年度 - R77 - R3年度 - R77 - H28年度 - R77	の歌手から、できない。 (15年) に	####	- 見直しを検討中 - 見直しを検討中 - 見直しを検討中 - 14/19/04/1/延期計画を介成を報道 - 作成中、広域避難協定市との 調整を今後更に行う - 124.3.23 マイタイムテイン議習会を 施 - 実施に向けた取り組みを網 - 水南に関連する担当額が連	のを実
の作成・周知寺 (京東配虚寺利用施設の避難計画・ 作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 (②避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 (②避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 (②避難指示の発令の判断基準によ 3.5 イムラインの作成 (3.5 イムラインの作成 (4.5 イムラインの作成 (5.5 木)等における河川管理者からの情報提供等・ボットラインの構築 (5.5 木)等における河川管理者からの情報提供等・ボットラインの構築	対象を対象にたハザードマップの! ツ 定を検討する ・洪水浸水総地図の公表後、整 像 (場に向けて検討する) オームラインの作成 ・ 一般面にのなるを実施する ・ 一般面にのなるを実施する ・ 実践的な訓練を実施する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度 · H28年度	· R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度	・東学に向けたの部域計 ・変児最大規模解制における浸 水想定区域のハザードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・整備に向けた内部域計 ・支部に向けた内部域計 ・支部に向けた内部域計 ・支部を対象が ・支部を対象が ・大部を ・大がまた。 ・大のがまたる。 ・大のがまたる。 ・大のがまたる。 ・大のがまたる。 ・大のがまたる。 ・大のがまたる。 ・大のがまたる。 ・大のがまたる。 ・たのがまたる。	Δ O		定区域図 ・	図の公表後検討を行う 下滅管内の浜水浸水想 図の公表後、整備に向けする。 沙リストの作成 タイムラインの作成の促 対応制機が町内全域で完 カムに、水書を想定した訓 こついて検討する	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H28年度 R2年度 -R3年度 -R7年度 -H31年度 R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者な設置(利根川) ・メ末筋辺の方所 電社40万所 電社40万所 ・デェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討		水を対象に、広域避難を反けた ・選大浸水ドグードマップを強度 ・選大浸水影性図の公表後 面に向けた検討を行う ・ 選問訓練等を支援する ・ 選問訓練等を支援する ・ 選問訓練等を支援する ・ 選問訓練等を支援する ・ 選問がないるないを ・ でインを集定し、 ・ でインタイムラインの作成の 達 ・ ・ で表していて検討 る	 規29年度・R7年。 -H29年度・R7年。 -H29年度 R元年。 -H29年度 R元年。 -H29年度 R元年。 -H29年度 R7年。 	プを作成し、防災の手引をの中にはマクイクスを入り、 にはマクインを複数し、各戸配布により周知を図る 度 H30年度に指定登離所の案内 ・ 第版を設置する。 ・ 3人を想定の表子者板については、令機終計 度 予報期ー小覧川に対応したシームラインを作成済み。(令和元4 の作成及び訓練実施を促進す ・ 2月で表示。(令和元4 の作成及び訓練実施を促進す ・ 2月で表示。(令和元4 の作成及び訓練実施を検討する。)	フを作成し、飲の手引をの にはマクイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る ・ 1840年度に指定過難所の3 有能を設置する。 ・ 1840年度に指定過難所の3 有能を設置する。 ・ 1840年度に指定過難の3 「	中 内 い	水を対象に、新たな泳水ハザードマップを東定する ・型観所等の施設に、避難経路に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・ クイムラインの策定、見直しを行う ・ 選以に対する訓練のみであったが、解係で水災害対象の訓練を実施するなど検討する ・ 選以に対する訓練のみであったが、解析で水災害対象の訓練を実施するなど検討する ・ 提供を執って、問い合わせ窓口を 提供している	- H25年度 - R7	日本の (1985年)	7-00m	207 場のため、簡単ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 見直しを検討中 ・ 作成中、広域避難協定市との 「特成中、広域避難協定市との 「特成中、広域避難協定市との 「特成中、広域避難協定市との 「禁犯」 ・ 実施に向けた取り組みを組 ・ 水素に関連する担当語が連 ・ 水素に関連する担当語が連 ・ 水素に関連する担当語が連 ・ 水素に関連する担当語が連 ・ 水素に関連する担当語が連 ・ 水素に関連する担当語が連	のを実際機械
の作成・周知寺 「原本るごとまちごとハザードマップ! 情	対象を対象にたハザードマップの! ツ 定を検討する ・ 洗水浸水泥地面の公表後、整 備に向けて検討する ・ 避難訓練等を支援する の が ・ 必要 では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度 · H28年度	· R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度	・東定に向けたの影検討 ・変定是大規模所における浸水思定区域のハゲードマップを 東定し住民へ周如(H30.7月) ・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・表温値で悪配線者施設管理者 等へ避難破役計画の説明を開 (H31.2月) ・労業となる悪配慮者施設へ避 強強を計画のの地域を呼ばかけて ・水密タイムライン策定済 ・タイムラインに基づく実践的な 訓練手法等について検討	Δ O		定区域図 ・	図の公表後検討を行う 下滅管内の浜水浸水想 図の公表後、整備に向けする。 沙リストの作成 タイムラインの作成の促 対応制値が町内全域で完 カムに、水書を想定した訓 こついて検討する	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H28年度 R2年度 -R3年度 -R7年度 -H31年度 R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者な設置(利根川) ・メ末筋辺の方所 電社40万所 電社40万所 ・デェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討		水を対象に、広域避難を反けた ・選大浸水ドグードマップを強度 ・選大浸水影性図の公表後 面に向けた検討を行う ・ 選問訓練等を支援する ・ 選問訓練等を支援する ・ 選問訓練等を支援する ・ 選問訓練等を支援する ・ 選問がないるないを ・ でインを集定し、 ・ でインタイムラインの作成の 達 ・ ・ で表していて検討 る	 規29年度・R7年。 -H29年度・R7年。 -H29年度 R元年。 -H29年度 R元年。 -H29年度 R元年。 -H29年度 R7年。 	プを作成し、防災の手引きの中にはマクイクスクを複数し、各戸配布により周知を図る 度 H30年度に指定連難所の案内 ・ 第2を設置する ・ 浸水整定変の表子者はについ では、令後終討 度 予報度用限級の避難計 の作成及び訓練実施を促進す ・ 利機川・小貝川に対応したシームラインを作成清み。(令和元4 度 東延章本列形態の過難計 変 ・ 事践的な訓練の実施を検討す を	フを作成し、飲の手引をのにはマグイムラインを掲載 合 F 配布により周知を図る にはマグイムラインを掲載	中 内	水を対象に、新たな泳水ハザードマップを東定する ・型観所等の施設に、避難経路に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・ クイムラインの策定、見直しを行う ・ 選以に対する訓練のみであったが、解係で水災害対象の訓練を実施するなど検討する ・ 選以に対する訓練のみであったが、解析で水災害対象の訓練を実施するなど検討する ・ 提供を執って、問い合わせ窓口を 提供している	- H25年度 - R7	日報子 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	7-00m	- 見直しを検討中 - 見直しを検討中 - 見直しを検討中 - 14/19/04/1/延期計画を介成を報道 - 作成中、広域避難協定市との 調整を今後更に行う - 124.3.23 マイタイムテイン議習会を 施 - 実施に向けた取り組みを網 - 水南に関連する担当額が連	のを実
のから、周知寺 (の東るごとまちごとハザードマップ! 情、拡充 (の要配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目したタイ プインの作成 (の運動指示の発令に着目したタイ プインの作成 (の変数情報免債時の「危険度の使 がた、マイ・タイムラインの作成 (の変数情報免債時の「危険度の使 が大き、「無報義の研察になる が性をの情報提供がイタケンに構む で決化」等の改善 (の情報提供がイタケンに持つの改善 防災教育や防災知識の普及 (小火裏に事的学者に関する問し 高力せ窓口の設置	対象を対象にたハザードマップの! ツ 定を検討する ・洪水浸水総地図の公表後、整 像 (場に向けて検討する) オームラインの作成 ・ 一般面にのなるを実施する ・ 一般面にのなるを実施する ・ 実践的な訓練を実施する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度 · H28年度	- R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度	・東定に向けたの部域計 ・変定是大規模所における浸 水思定区域のハゲードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・登備に向けた内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・支単に向けを内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・大変となる要配慮者施設へ避 整確保計312月 ・分像となる要配慮者施設へ避 整確保計312月 ・水密タイムライン(定差) ・水密タイムライン(定差) ・水密タイムラインに差づく実践的な 加減手、法等について検討 ・開催に向けた内部検討	Δ O		定区域版	図の公表後検討を行う 川下滅管内の浜水浸水想 図の公表後、整備に向け する。 ウリストの作成 タイムラインの作成の促 対応制値が町内全域で完 あとに、水害を想定した訓 こついて検討する	+H30年度 R7年度 +H30年度 +R7年度 -H28年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者な設置(利根川) ・メ末筋辺の方所 電社40万所 電社40万所 ・デェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討		水を対象に、広域避難を反けた ・ 次大災水・ゲードマップを強度 ・ 選大災水を地図の公表後 ・ 選問 に向けた検討を行う ・ 必難訓練等を支援する ・ 必難訓練等を支援する ・ でイ・タイムラインの作成の 進 ・ 「マイ・タイムラインの作成の 進 ・ 「マイ・タイムラインの作成の ・ でイ・タイムラインの作成の ・ できる。	規・ (京	プを作成し、防災の手引きの中にはマクタイムライと機関、 使 H30年度に指定差難所の案所 等を診理する。 浸水整定の表示者板については、今後検討 皮 受配金素力用態吸の過難計 の作成及び訓練実施を促進す ・利根川・小貝川に対応したシームラインを作成深み。(令和元4 カラインを作成深み。(令和元4 カラインを作成深み。(令和元4 方 を検討する。 ・実践的な訓練の実施を検討する。 を使う。 を使う。 ・一般務課担当課において間合せ に対応 度 可の出前調産を実施し、ハ ザードマップや収音機関の収集 方・可数有変具食会に開整し、実施 度 ・一町教育委員会と開整し、実施	フを作成し、飲の手引をのにはマグイムラインを掲載 合 F 配布により周知を図る にはマグイムラインを掲載	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザードマップを東定する ・避難所等の施設に、避難経路に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・タイムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの情成の促進 ・震災に対する訓練のみであったが、解年でを収置す後の訓練を実施するなど検討する ・水災害・保証・必要を実施するなど検討する ・水災害・に関連する相当課が連接を執って、問い合わせ窓口を 設置している ・自治会等への出前講座による 周知を図る	- H25年度 - R7	の報告でした。 「おきのまた。 「中度 「作成中、広域避難協定市 「ののは、 「中度 「作成中、広域避難協定市 「ののは、 「のいは、 「のいは、	10	2017級のため、開催ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 見直しを検討中 ・ 44/903年以が選替協定市との 「保証中、広域避難協定市との 「保証・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・	を実
の作品、周知寺 ⑤まるごとまちごとハザードマップ: 優・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画(作成及び副線の促進 整難指示の発令に着目したタイ ライムの作成 ②避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ②定避難指示の発令の判断基準に づいた、マイ・タイムラインの作成 ③タイムラインに基づく実践的な訓練 (多女条情報発信時の「危険度の使 がけ表示」、「警報級の現象になる 数性の情報提供、パケッシュ情報 万実化」の分の 情報提供等、パットラインの情報 万実化」のの設置 方災教育や防災知識の普及 (①水災害に事前準備に関する問し のかり返回に関する問し	対象の表現したハザードマップの1 対象を検討する	H28年度 · H28年度	- R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度 - R7年度	・東定に向けたの部域計 ・変定是大規模所における浸 水思定区域のハゲードマップを 策定し住民へ周知(H30.7月) ・登備に向けた内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・支単に向けを内部域計 ・支単に向けた内部域計 ・大変となる要配慮者施設へ避 整確保計312月 ・分像となる要配慮者施設へ避 整確保計312月 ・水密タイムライン(定差) ・水密タイムライン(定差) ・水密タイムラインに差づく実践的な 加減手、法等について検討 ・開催に向けた内部検討	Δ O		定区域版	図の公表後検討を行う 川下滅管内の浜水浸水想 図の公表後、整備に向け する。 ウリストの作成 タイムラインの作成の促 対応制値が町内全域で完 あとに、水害を想定した訓 こついて検討する	+H30年度 R7年度 +H30年度 +R7年度 -H28年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした看板を設置(利根川) ・大大会を設置(利根川) ・対象施設への個別説明 ・チェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討 ・表施に向けた内部検討 ・表施に向けた取り組みを継続		水を対象に、広域避難を反 た	規・ (京	プを作成し、防災の手引をの中にはマクイとを機能し、 度 H30年度に指定連難所の案内 ・接触を設置する。 ・浸水整定変の表示者板については、令機検討 度 予報側川・小貝川に対応したシームラインを作成素が。(令和元年 支 受配達者利用施設の避難計 の作成及び訓練実施を促進す ・製機的な訓練の実施を検討す を というない。(令和元年 を というない。) を というない。(令本のない。) を というない。(やない。) を というない。(やない。) を というない。(やない。) を というない。(やない。) を というない。(やない。) を というない。(やない。) を というない。(やない。) を というない。(やない。) を というない。(を というない。) を というない。(を というない。) を というない。(やないない。) を というない。(やないない。) を というない。(やないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	フを作成し、飲の手引きの にはマグイムラインを掲載 合戸配布により周知を図る 「はマグイムラインを掲載 合戸配布により周知を図る 「はなで食に指定避難所の3 者能を設置する。 ・浸水型深深の表示者板にては、令後検討 「	中 内 いい	水を対象に、新たな洗水ハザードマップを東定する ・避難所等の施設に、避難経路に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・タイムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・変災に対する訓練のみであっ 法を実施するなど検討する ・水災害に関連する担当課が連接を実施するなど検討する ・自治会等への出前調産による ・自治会等への出前調産による ・自治会等への出前調度による	- H28年度 - R7	の表示しています。 (1) には (1) に	### 0	207 場のため、開催ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 見直しを検討中 ・ 4作成中、広域避難協変市との (成域避難協変市との (成域)を今後更に行う ・ 7443.23 マイタ(ムライン)構習金を 施 ・ 実施に向けた取り組みを組 を執って、限い合わせ窓口を 置渡。 ・ 自治金等からの 要請により3 能している	のを実理機
の作成・周知寺 ⑤束るごとまちごとハザードマップ: 億 拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画(対策を検討する ・ 法太陽水配地図の公表後、整 像に向けて検討する ・ 連翹訓練等を支援する の が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度 · H28年度	· R7年度 · R7年度 · R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度	・東定に向けた内部検討 ・変児最大規模所制における浸水想定区域のハゲードマップを 東定し住民へ周知(H30.7月) ・登欄に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・対象となる要配慮者施設・避難強度計画の提明を開催(H31.2月) ・分象となる要配慮者施設・避難強度計画のと明在ボデリン・大帝タイムラインに基づく実践的な訓練手法等について検討 ・防御に向けた内部検討 ・関係に向けた内部検討	Δ O		定区域版 ・	図の公表後検討を行う 下流管内の浜水浸水憩 図の公表後、整備に向けする。 空リストの作成 タイムラインの作成の促 対応制御が町内全域で完めたに、水害を想定した割う。 こついて検討する こついて検討する	+H30年度 R7年度 +H30年度 -R7年度 +H30年度 -R7年度 -R3年度 -R7年度 -H30年度 -R7年度 -H31年度 -R7年度 -H31年度 -R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした看板を設置(利根川) ・大大会を設置(利根川) ・対象施設への個別説明 ・チェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討 ・表施に向けた内部検討 ・表施に向けた取り組みを継続		水を対象に、広域避難を反けた ・	 (元年) (元日) (元日)	プを作成し、防災の手引をの中 にはマクインを複数し、 各戸配布により周知を図る 度 H30年度に指定温難所の案内 者を診理する。 浸水想定の表示者板については、令後検討 度 受配金者利用股の受難がの作成及び訓練実施を促進す ・ 予経度を受進す ・ 予経度を対している。 ・ 予経度を対している。 ・ 予経度を対している。 ・ 予度をである。 ・ 予度をである。 ・ 実践的な訓練の実施を検討する。 ・ 実践的な訓練の実施を検討する。 を といるのでは、 ・ では、 ・	フを作成し、飲の手引を回 にはマイタインターンを掲載 各戸配布により周知を図る ・ 1830年度に指定温難所の済 有をを設置する。 ・ 283世度深の表帯板にて では、今後検討 ・ 9 回返車利用能の避難 の作成及び訓練実施を促進 ・ 19 回の上のでは、でイイ ムラインを作成済み。(令和・ ・ 19 回の上の計算では、マイイ イムラインに関する情報の表 ・ 19 回の上の計算では、マイイ ・ 19 回の上の計算では、マイイ ・ 19 回の上の計算では、マイイ ・ 19 回の上の計算では、マイイ ・ 19 回の上の計算を検索 ・ 19 回の上の計算を表 ・ 19 回の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上	中 内 いい	水を対象に、新たな湯水ハザードマップを実定する ・避難所等の施設に、避難経路に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 第定を支援 ・今イムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・選災に対する訓練のみであったため、隔年で水災等対象の訓練を実施するなど検討する ・形式に対するでは、学校で水災を対象の訓練を実施するなど検討する ・活光の一部では、学校で水災を対象を ・ 1 自治会等への出前講座による 周知を図る ・ 1 日治会域・ 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	- H28年度 - R7 - H28年度 - R7 - R3年度 - R7 - R3年度 - R7 - H28年度 - R7	日本の (1997年)	### 0	2017級のため、開催ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 見直しを検討中 ・ 44/903年以が選替協定市との 「保証中、広域避難協定市との 「保証・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・	を実施機・
の作及、周知寺 「恋まるごとまちごとハザードマップ! 情・拡充 ②要配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 整難指示の発令に着目したタイラインの作成 「温難指示の発令に着目したタイラインの作成 「公理難指示の発令に着目したタイラインの作成 「会集情報を理時の「危険すの性」がしまって、「会議の情報と関係の可能になる無性の情報提供」が「メッシュ情報 天実化」等の改善 「洗水時によける河川管理者からの情報提供等「ベットラインの構築 が、教育や防災知識の普及 「洗水時によける河川管理者からの情報提供等「ベットラインの構築 防災教育や防災知識の普及 「水災害に革前準備に関する間に合わせ窓口の設置	対象の は、	H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度	· R7年度	・東定に向けた内部検討 ・変児最大規模所制における浸水想定区域のハゲードマップを 東定し住民へ周知(H30.7月) ・登欄に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・対象となる要配慮者施設・避難強度計画の提明を開催(H31.2月) ・分象となる要配慮者施設・避難強度計画のと明在ボデリン・大帝タイムラインに基づく実践的な訓練手法等について検討 ・防御に向けた内部検討 ・関係に向けた内部検討	Δ O		定区域度 ・	図の公表後検討を行う 下流管内の浜水浸水憩 図の公表後、整備に向けする。 空リストの作成 タイムラインの作成の促 対応訓練が町内全域で完別 から訓練が町内全域で完別 された。大書を想定した訓 こついて検討する こついて検討する こついて検討する	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H28年度 R2年度 -R3年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への値別説明 ・チェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた内部検討	の作成及が配布済み		 規29年度・R7年 -H29年度・R7年 	プを作成し、防災の手引をの中にはマクタインイを掲載し、 を戸配布により周知を図る を戸配布により周知を図る を一般を設定の表示者板については、今後検討 度 一般視別を図るの作成及び訓練実施を促進す の作成及び訓練実施を促進す の作成及び訓練実施を促進す の作成及び訓練実施を促進す を表示する。(令和元4 の月度数の訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す のが高いに対応したかった。 ののは、 ののと ののは、 のの	フを作成し、飲の手引をの にはマグイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る ・ 1430年度に指定避難所の3 者能を設置する。 ・ 2水形を深の表示者板にては、今後検討 ・ 3・2水形を深の表示者板にては、今後検討 ・ 5 の作成及び訓練実施を促進 ・ 5 の作成及び訓練実施を促進 ・ 5 の作成及び訓練実施を促進 ・ 5 の作成及び訓練実施を促進 ・ 5 の作成及び訓練変施を促進 ・ 5 の作成及び訓練変施を促進 ・ 5 の作成及び訓練の運搬と ・ 5 の作成及び訓練の運搬と ・ 5 の作成及び訓練の実施を検討 ・ 5 の作成の実施を検討 ・ 5 の の	中 内	・差関所等の施設に、混雑経路に関する架内表示を対象に、新たな湯水ハザードマップを東定する ・・登録所等の施設に、避難経路に関する架内表示板等の設置を ・作成に必要な情報の提供及び 東定を支援 ・・クイムラインの策定・見直しを行う ・・マイ・タイムラインの作成の促進 ・・表別では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	- H23年度 - R7	「野東子」で、では、10-10年では、	### 0	2017級のため、開催ができないため - 見直しを検討中 - 見直しを検討中 - 体成中、広域避難協定市との - 体成中、広域避難協定市との - 体成中、広域避難協定市との - 保名323 マイタイムケノノ溝雷全を - 実施に向けた取り組みを組 - 大都に関連する担当語が走 - 大都に関連する担当語が正さり - 表施に向けた取り組みを組 - 本教って、別しらわせ窓口を 直済。 - 自治会等からの要請により別 - により表した防災 - 東那に向けた取り組みを組続 - 東那に向けた取り組みを組続 - 東那に向けた取り組みを組続	のを実施機・
の作成・周知寺 ⑤束るごとまちごとハザードマップ: 億 拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画(関を考慮したパザードマップの! ツ 定を検討する ・ 決大漫水般地図の公表後、整 像に向けて検討する ・ 避難訓練等を支援する の が ・ ・ でイ・タイムラインの作成 ・ マイ・タイムラインの作成の促 基 進 ・ 実践的な訓練を実施する ・ 実践のな訓練を実施する ・ 実践のな訓練を実施する ・ 表音変異会と連携して検討し、 ・ 数音変異会と連携して検討し、 ・ 数音変異会と連携して検討し、 ・ 数音変異会と連携して検討し、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度 -H28年度	· R7年度	・東定に向けた内部検討 ・変児最大規模所制における浸水想定区域のハゲードマップを 東定し住民へ周知(H30.7月) ・登欄に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・支脚に向けた内部検討 ・対象となる要配慮者施設・避難強度計画の提明を開催(H31.2月) ・分象となる要配慮者施設・避難強度計画のと明在ボデリン・大帝タイムラインに基づく実践的な訓練手法等について検討 ・防御に向けた内部検討 ・関係に向けた内部検討	Δ O		定区域度 ・	図の公表後検討を行う 川下原管内の洪水浸水想 図の公表後、整備に向け 可るの公表後、整備に向け する。 ・クリストの作成 タイムラインの作成の促 対応訓練が何内全域で完 あとに、水着を想定した訓 こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H28年度 R2年度 -R3年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への値別説明 ・チェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた内部検討	の作成及び配布済み		 規29年度・R7年 -H29年度・R7年 	プを作成し、防災の手引をの中にはマクタインイを掲載し、 を戸配布により周知を図る を戸配布により周知を図る を一般を設定の表示者板については、今後検討 度 一般視別を図るの作成及び訓練実施を促進す の作成及び訓練実施を促進す の作成及び訓練実施を促進す の作成及び訓練実施を促進す を表示する。(令和元4 の月度数の訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す の作成及び訓練の実施を検討す のが高いに対応したかった。 ののは、 ののと ののは、 のの	フを作成し、飲の手引をの にはマグイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る ・ 1430年度に報定避難所の3 者能を設置する。 ・ 2水型を深の表帯板にては、今後検討 「	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザードマップを実定する ・避難所等の施設に、避難経路に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 第定を支援 ・今イムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・選災に対する訓練のみであったため、隔年で水災等対象の訓練を実施するなど検討する ・形式に対するでは、学校で水災を対象の訓練を実施するなど検討する ・活光の一部では、学校で水災を対象を ・ 1 自治会等への出前講座による 周知を図る ・ 1 日治会域・ 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	- H23年度 - R7	「野東子」で、では、10-10年では、	### 0	2017級のため、開催ができないため - 見直しを検討中 - 見直しを検討中 - 体成中、広域避難協定市との 調整を今後更に行う - R43.23 マイタイムケノノ溝雷全を 施 - 実施に向けた取り組みを組 - 水割に関連する担当部が走 を執って、別しらわせ窓口を 直流。 - 自治会等からの要請により3 能している。 - R3.2 教員を対象とした防災 両の実施	を実施機械
②原配慮者利用施設の避難計画(②原配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイ ラインの作成 ③方くようインの作成 ③方くようインの作成 ③方くようインの作成 ③方くようインの作成 ③方くようインの作成 ⑤表集情報条信時の「危険度の行うが表示」、無報の可求をしても を能むの情報とは、「イッシュ情報 大変形し、同様をは、「イッシュ情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	対象の は、	H28年度 - H28年度	· R7年度 · R7年度 · R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度	・東定に向けた内部検討 ・変化を大規模を開こまける浸水思定区域のハザードマップを 東定し住民へ周如(H30.7月) ・登備に向けた内部検討 ・支単に向けた内部検討 ・支単に向けた内部検討 ・支単に向けた内部検討 ・支援を支配線者施設や避 等へ避難強度計画の設明を開催(H31.2月) ・分を上なる受配線者施設や避 護強保計画の作成を呼びかけて ・水密タイムライン(策定済 ・クイムラインに基づく実践的な 別様手法等について検討 ・関係に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討			定区域図 ・	図の公表後検討を行う 下流管内の浜水浸水想 図の公表後、整備に向けする。 ヴリストの作成 タイムラインの作成の促 対応訓練が町内全域で完 から計画が町内全域で完 さついて検討する ごついて検討する ごついて検討する ごついて検討する ごついて検討する	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H30年度 R2年度 -R3年度 R7年度 -R3年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度	の作成。無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者を設置(利根川) ・女丼施設との所 電社40の所 ・対象施設への値別説明 ・チェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討	の作成及び配布済み ● 前年度に実施済 ● 前年度に実施済 ● 特になし ・ 特になし ・ 特になし ・ 大エックリスト作成済み ・ 広報にて周知 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ マイタイムラインを活用した当 ・ 会の内部検討			プを作成し、防災の手引を中にはマクストを構設し、各戸配布により周知を図る 度 H30年度に指定登離所の家庭、	フを作成し、飲の手引をのにはマイムラインを掲載 ・	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザードマップを東定する ・・型観所等の施設に、避難経路 に関する架内表示板等の設置を 検討する ・・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- H25年度 - R7	の報告でして、「いっていましていました。」 「おいっていました」という。 「おいっていました」 「おいっ	10	- 見直しを検討中 - 見直しを検討中 - 見直しを検討中 - 1,1973年以及関節を中産を報道 - 作版中、広域避難協定市との調整を今後更に行う - 144,323 マイタイムライン講習会を検え - 末部に関連する担当題が連合を検えに関連する担当題が連合を検えに対し、対し、合わせ窓口を可違法。 - 自治会等からの要請により関の実施 - 163,82 教員を対象とした防災関の実施 - 東部に向けた取り組みを報差 - 東部に向けた取り組みを報差 - 東部に向けた取り組みを報差	の を実 継続 乗 災 教
②の作成・周知等 ⑤まることまちごとハザードマップ! ⑥ 本名 教利用施設の避難計画(⑥ 東尼連者利用施設の避難計画(f 作成及び訓練の促進 避難指示の発令に着目したタイラインの作成 ② 避難指示の発令に着目したタイラインの作成 ② 連難排示の発令に着目したタイラインの作成 ③ タイムラインに基づく実践的な訓練 ⑤ 気象情報条信時の「危険度の行動を達している。 (対策の表したパザードマップの1 対策を検討する ・洪太陽水影地図の公表後、整 像 (E向けて検討する ・避難訓練等を支援する の が (A	H28年度 - H28年度	· R7年度 · R7年度 · R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度	・東定に向けた内部検討 ・型度を規模を削における浸水想定区域のハゲードマップを 東定し住民へ周如(H307月) ・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・変化を変配虚者施設へ避 理途を対象の作成を呼びかけて ・水密タイムライン策定済 ・タイムラインで検討 ・水密タイムラインで検討 ・変能に向けた内部検討 ・要能に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討			定区域図 ・	図の公表後検討を行う 下原管内の洪水浸水想 図の公表後、整備に向けする。 少リストの作成 タイムラインの作成の促 対応訓練が何内全域で完 あとに、水着を想定した訓 こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H30年度 R2年度 -R3年度 R7年度 -R3年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度	の作成、無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者板を設置(利規川) 公共施設との所 電社40万所 ・対象施設への値別説明 ・チェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた内部検討	の作成及び配布済み ● 前年度に実施済 ● 前年度に実施済 ● 特になし ・ 特になし ・ 特になし ・ 大エックリスト作成済み ・ 広報にて周知 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ マイタイムラインを活用した当 ・ 会の内部検討			プを作成し、防災の手引を中にはマクストを構設し、各戸配布により周知を図る 度 H30年度に指定登離所の家庭、	フを作成し、放災の手引をのにはマグイムラインを掲載 合 F 配布により周知を図る にはマグイムラインを掲載 合 F 配布により周知を図る	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザードマップを実定する ・避難所等の施設に、避難経路に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 第定を支援 ・今イムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの策定・見直しを行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・選災に対する訓練のみであったため、隔年で水災等対象の訓練を実施するなど検討する ・選災に対する訓練のみであっ加 様を実施するなど検討する ・ 1 日泊会域の「一部では、一部では、1 日泊会域の「一部で、1 日泊会域の「一部で、1 日泊会域の「一部の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上	- H25年度 - R7	の報告でして、「いっていましている」では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	1-00m	207 場のため、簡単ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 見直しを検討中 ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 不審に関連する担当語が連 ・ 未続って、別い合わせ窓直差 ・ 実施に向けた取り組みを組 ・ 不審に関連する担当語が連 ・ 実施に向けた取り組みを組 ・ 実施に向けた取り組みを組 ・ 実施に力が ・ 実施に対り ・ 実施に対り ・ 実施に対した防災 ・ になる ・ 実施に対した ・ 実施している ・ 実施に対した ・ 実施が対した ・ 実施に対した ・ 実施が対した ・	の を実 継続 実 災 教 りま 〇
の作成・周知寺 (京家をはまちごとハザードマップ! 情 拡充 (京家をはまちごとハザードマップ! 情 拡充 (京家をはま利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 ()避難指示の発令に着目したタイラインの作成 ()避難指示の発令に着目したタイラインの作成 ()返費指示の発令の判断基準に対した、マイ・タイムラインの作成 ()多々ムラインに基づく実践的な訓練 ()魚条情報発信時の「危険度のを分け表示」、「意味経の現象になる配性の情報提供、アメンニ情報表の現象になる配性の情報提供、マンニ情報表示した。「一般な事を表した。」 ()別次数育や防災知識の普及 ()水災害に事前準備に関する間に合わせ窓口の設置 ()水災害に事前準備に関する間に合わせ窓口の設置 ()水災害に事前準備に関する間に合わせ窓口の設置 ()水災害に事前準備に関する間に合わせ窓口の設置 ()水災害に事前準備に関する間に合わせ窓口の設置 ()水災害に事前準備に関する間に合わせ窓口の設置 ()水災害に事前準備に関する間に合わせ窓口の設置 ()水災害に事前準備を対象とした訴災教育の施	対きの表にたハザードマップの19 定を検討する ・洪大淳水総地図の公表後、整備に向けて検討する ・避難訓練等を支援する の スイムラインの作成 ・タイムラインを策定する ・マイ・タイムラインの作成の促 ・マイ・タイムラインの作成の促 ・・実践的な訓練を実施する ・実践的な訓練を実施する ・表質更負金と連携して検討して検討して検討して検討・・・表質要負金と連携して検討しい、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	H28年度	- R77年度	・東定に向けた内部検討 ・型度も規模を開こさける浸水思定区域のハゲードマップを 東定し住民へ周如(H307月) ・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・変化を変配虚者施設へ選 理確保計画の投列を開 (H312月) ・対象となる変配虚者施設へ選 理確保計画の作成を呼びかけて ・水害タイムライン策定済 ・タイムラインで表示 ・かまりないで検討 ・実施に向けた内部検討			定区域原 を	図の公表後検討を行う 下原管内の洪水浸水想 図の公表後、整備に向けする。 少リストの作成 タイムラインの作成の促 対応訓練が何内全域で完 あとに、水着を想定した訓 こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H30年度 R2年度 -R3年度 R7年度 -R3年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度 -H31年度 R7年度	の作成。無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者を設置(利根川) ・女丼施設との所 電社40の所 ・対象施設への値別説明 ・チェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討	の作成及び配布済み ● 前年度に実施済 ● 前年度に実施済 ● 特になし ・ 特になし ・ 特になし ・ 大エックリスト作成済み ・ 広報にて周知 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ マイタイムラインを活用した当 ・ 会の内部検討	水を対象に、広域避難を反けた機大・パードマップを強さる	規・ ・	フを作成し、防災の手引をの中にはマイタイスを得販し、 を用配布により周知を図る 度 H30年度に指定型難所の案内 ・ 第をを設置する。 ・ 3人を受変の表示者板については、令後検討 度 受配金庫利用施設の過難計算 の作成及び訓練実施を促進す ・ 4月間に対応したシームラインを作成済み。(令和元4 の作成及び訓練実施を促進す の作成及び訓練実施を促進す の作成及び訓練実施を促進す の作成及び訓練で選手を の作成及び訓練で表述を の作成及が訓練で表述を の作成及が訓練で表述を の作成及が訓練で表述を の作成及が訓練で表述を の作成及が訓練で表述を の作成済み。(令和元4 の月更新) 度 事の出間調産を実施し、バーサードマップで収益明 度 可数育を具金と関型し、実施 のして、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の	フを作成し、飲の手引きの にはマグタイムラインを提施 各戸配布により周知を図る ・ 1840年度に指定重難所の ・ 1840年度に指定重難所の ・ 1840年度に指定重難所の ・ 1840年度に指定重難所の ・ 1840年度に指定重難所の ・ 1840年度に指定重難所の ・ 1840年度に指定重難所の ・ 1840年度に指定重難の ・ 1840年度に指定重難の ・ 1840年度に対しては、今後検討 の作成及び訓練実施を促進 ・ 1840年度が表す。(令和: ・ 1840年度を提供を ・ 1840年度を ・	中 内	・差対系に、新たな湯水ハザードマップを東定する ・差替所等の施設に、避難経路に関する案内表示板等の設置を 検討する ・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・今イムラインの作成の促 ・変災に対する訓練のみであっ加 様を実施するなど検討する ・変災に対する訓練のみであっ加 様を実施するなど検討する ・過数を表して、間い合わせ窓口を ・過数を繋んの出前講座による 周知を図る ・洗水ハザードマップにより、浸火 ・水筋関の再雑態と学校で図して ・一次が実施施の向上のため、深 を ・一次数異ないいではます。 ・一次数異ないでは、まずを ・一次数異ないでは、まずを ・一次数異ないでは、まずを ・一次数異ないでは、まずを ・一次数異ないでは、まずを ・一次数異ないで、では、まずを ・一次数異ないで、では、まずを ・一次数異ないで、では、まずを ・一次数異ないで、では、まずを ・一次数異ないで、では、まずを ・一次数異ないで、では、まずを ・一次数異ないで、では、まずを ・一次数異ないで、まずを ・一次を ・一次数異ないで、まずを ・一次数異ないで、まずを ・一次数異ないで、まずを ・一次を ・一次を ・一次を ・一次を ・一次を ・一次を ・一次を ・一次	- H25年度 - R7	の報告のできまり、19年度 (19年度)	10	207 場のため、簡単ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 見直しを検討中 ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 不審に関連する担当語が連 ・ 未続って、別い合わせ窓直差 ・ 実施に向けた取り組みを組 ・ 不審に関連する担当語が連 ・ 実施に向けた取り組みを組 ・ 実施に向けた取り組みを組 ・ 実施に力が ・ 実施に対り ・ 実施に対り ・ 実施に対した防災 ・ になる ・ 実施に対した ・ 実施している ・ 実施に対した ・ 実施が対した ・ 実施に対した ・ 実施が対した ・	のの を実 継続 接換 実 災教 の
3年の一次、原知等 (「京本のごとまちごとハザードマップ! 情 拡充 (「京東配慮者利用施設の避難計画(作成及び訓練の促進 (「別避難指示の発令に着目したタイラインの作成 (「記題指示の発令に着目したタイラインの作成 (「記題指示の発令の判断基準によった。マイ・タイムラインの作成 (「会な集情報発信時の「危険度のセラインの作成 (「会な集情報発信時の「危険度のセラインの情報を表した。マイ・タイムラインに基づく実践的な訓練を表したは、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で	対象の では、	H28年度	·R7年度 -R7年度	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			定区域原 を	図の公表後検討を行う 下原管内の洪水浸水想 図の公表後、整備に向けする。 少リストの作成 タイムラインの作成の促 対応訓練が何内全域で完 あとに、水着を想定した訓 こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -R3年度 R7年度 -H31年度 R7年度	の作成。無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者を設置(利根川) ・女丼施設との所 電社40の所 ・対象施設への値別説明 ・チェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討	の作成及び配布済み ● 前年度に実施済 ○ 特になし ・ サエックリスト作成済み ・ 体になし ・ 大エックリスト作成済み ・ 体化で周知 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ なの内部検討 ・ なの内部検討		規・ ・	フを作成し、防災の手引をの中にはマクイクスクを複数し、各戸配布により周知を図る 度 H30年度に指定型難所の案所 常板を設置する。 浸水憩度の表示者板については、令機終計度 受 受配金庫利用施設の過難計度 受 受配金庫利用施設の過難計度 受 手級 (令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(中央元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(令和元4年代表示。(中央元4年代表示。(中央元4年代表示。(中央元4年代表示。(中央元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(中央元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中于代表示,中年代表示,中于代表示,中于代表示,中年代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表的,中于代表示,中于代	フを作成し、飲の手引を成 にはマイタイムラインを掲載 各戸配布により開知を図る ・ 140年度に報定避難所の名 ・ 1840年度に報定避難所の名 ・ 1840年度に報定避難所の名 ・ 1840年度に報定避難所の名 ・ 1840年度に報定避難所のる ・ 1840年度に報定避難所のる ・ 1840年度に報じます。 ・ 1840年度に報じませる。 ・ 1840年度に報じませる。 ・ 1840年度に報じませる。 ・ 1840年度に報じませる。 ・ 1840年度に報じませる。 ・ 1840年度に報じませる。 ・ 1840年度に報じませる。 ・ 1840年度に報じませる。 ・ 1840年度に報じませる。 ・ 1840年度を表し、 ・ 1840年度を表し、 1840年度を表し、 1840年度を表し、 1840年度を表し、 1840年度を表し、 1840年度を表し、 1840年度を表し、 1840年度を表し、 18	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザードマップを東定する ・・型観所等の施設に、避難経路 に関する架内表示板等の設置を 検討する ・・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- H25年度 - R7	日本の (1987年)	# 40 A M A M A M A M A M A M A M A M A M A	207年級のため、開催ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 見直しを検討中 ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 表して ・ また ・ リンク先の更新 ・ リンク先の更新 ・ リンク先の更新 ・ リンク先の更新 ・ リンク先の更新 ・ リンク先の更新 ・ リンク先の ・ アーカル	ののを実施機械・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
プの作成・周刈寺 ⑤速るごとまちごとハザードマップ: 備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画・ 作成及び訓練の促進 ②避難指示の発令に着目したタイラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイラインの作成 ②変情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現金になる能性の情報提供、等(ホットラインの情報を表実化)等の改善 ⑤洪水時における河川管理者からの情報提供、等(ホットラインの構築力をあり、数数音や防災知識の普及 ②水防災に関する説明会の開催 ③水災害に事前準備に関する間、合わせ窓口の設置 ②水防災に関する説明会の開催 ③教員を対象とした講習会の実施 ⑥ブッシュ型の泉水予報等の情報信 ⑤ブッシュ型の泉水予報等の情報信	対策を検討する ・	H28年度	- R77年度	・要定に向けた内部検討 ・型と表力規範を開こさける浸水想定区域のハザードマップを 変定と、関連のは、1007月) ・整備に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・支援に向けた内部検討 ・変化の変配虚治施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			定区域原 を	図の公表後検討を行う 下原管内の洪水浸水想 図の公表後、整備に向けする。 少リストの作成 タイムラインの作成の促 対応訓練が何内全域で完 あとに、水着を想定した訓 こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する こついて検討する	+H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -H30年度 R7年度 -R3年度 R7年度 -H31年度 R7年度	の作成。無知(R2.8) [利根川・小貝川・震ケ浦] ・町内各所に想定浸水深を表すした者を設置(利根川) ・女丼施設との所 電社40の所 ・対象施設への値別説明 ・チェックリスト作成済み ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた取り組みを継続 ・実施に向けた内部検討 ・実施に向けた内部検討	の作成及び配布済み ● 前年度に実施済 ○ 特になし ・ サエックリスト作成済み ・ 体になし ・ 大エックリスト作成済み ・ 体化で周知 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ 実施に向けた内部検討 ・ なの内部検討 ・ なの内部検討	水を対象に、広域避難を反けた機大・パードマップを強さる		フを作成し、防災の手引をの中にはマクイクスクを複数し、各戸配布により周知を図る 度 H30年度に指定型難所の案所 常板を設置する。 浸水憩度の表示者板については、令機終計度 受 受配金庫利用施設の過難計度 受 受配金庫利用施設の過難計度 受 手級 (令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。(令和元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(中央元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(令和元4年代表示。(中央元4年代表示。(中央元4年代表示。(中央元4年代表示。(中央元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(中央元4年代表示。) 中央 (中央元4年代表示。(中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中年代表示,中年代表示,中年代表示,中年代表示。(中年代表示,中于代表示,中年代表示,中于代表示,中于代表示,中年代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表示,中于代表的,中于代表示,中于代	フを作成し、飲の手引をの にはマグイムラインを掲載 各戸配布により周知を図る ・ 140年度に指定避難所の名 有能を設置する。 ・ 12枚型度深の表帯板にて では、今後検討 「	中 内 い	水を対象に、新たな湯水ハザードマップを東定する ・・型観所等の施設に、避難経路 に関する架内表示板等の設置を 検討する ・・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・作成に必要な情報の提供及び 策定を支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- H25年度 - R7	日本の (1997年)	# 40 A M A M A M A M A M A M A M A M A M A	207 場のため、開催ができないため ・ 見直しを検討中 ・ 見直しを検討中 ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 作成中、広域避難協変市との ・ 不楽にの ・ 不楽にの ・ 大小の ・ 大	の を実 継続 単様数 実 災教 の り 実 〇

OR3取り組み状況について(個票)5/6

				阿見町					河内町						利根町			_				香取市			
事項 内容		実施内容	実施期間	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況 実施内	容 実施期間		実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容		施期間 完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施
対策の主な取組 ②洪水	k氾濫による	被害の軽減、避難時	間の確保のための2	水防活動の取組				1,1,1,1	- 1		'		'	7.1.7 7.0.1	-		1		1	1 -11 -	, ,,,	<u>'</u>			
1)より効果的な水防活動			.,	2-19311111193-1-1911111																					
., , , , , , , , , , , , , , , , ,			↑ H28年度 ・R7年度	・消防団が水防団を兼務し			伝達訓練の実施	・H28年度 R2年月		云達 ●	令和3年度は総合防災訓練未	実 ×	・水防団への連絡体制の確保	·H28年度 ·R7年度	・消防団が水防団を兼務してお		・消防団が水防団を兼務してお	0	・国の情報伝達訓練に合わせ	訓 ·H28年度	·R7年度	·R2.5.26の国の情報伝達訓練!	= 0	・R3.7.14の国の情報伝達訓練	
①水防団等への連絡体制 と伝達訓練の実施	の再確認			体制は火災対応や訓練で ている	実施し				訓練を実施している。		Title.				り、防災無線(移動系)及び消 団登録メールによる連絡体制 取っている。伝達の確認や実力 については、日頃の訓練や火 現場等で行っている	を	り、防災無線(移動系)及び消防 団登録メールによる連絡体制を 取っている。伝達の確認や実施 については、日頃の訓練や火災 現場等で行っている		練を実施する			合わせ訓練を継続して実施している		合わせ訓練を継続して実施しいる	υ τ
②水防団同士の連絡体制		絡体制を確保する	·H28年度 ·R7年度	・消防団が水防団を兼務し体制は火災対応や訓練ででいる・消防団車両に無線機を配	実施し		・連絡体制は確保	* +H28年度 R2年度	要年、町総合防災訓練時に 訓練を実施している。	云達	令和3年度は総合防災訓練未 施	<u></u> ×	・水防組合による会議・訓練によ り連絡体制を確保している	-H28年度 -R7年度	・消防団が水防団を兼務してあり、連絡体制は、訓練や火災 場等で実施している ・稲敷広域水防協議会によりる 絡体制を確保している	見	・消防団が水防団を兼務しており、連絡体制は、訓練や火災現場等で実施している・稲敷広域水防協議会により連絡体制を確保している		・水防団(消防団)連絡網(連絡 体制)は既に整っている	各 •H28年度	F •R7年度	・水防団(消防団)連絡網(連絡 体制)を整えており、R2.4.1現在 の情報に更新した。	0	・水防団(消防団)連絡網(連 体制)を整えており、R3.4.1現 の情報に更新した。	E絡 見在
③水防団や地域住民が参 水に対しリスクが高い区間 始	加する浜 社会	川事務所が実施する重要2 箇所等の共同点検に参加す	K ·H28年度 ·R7年度	・河川事務所が実施する共 検へ参加。	同点 〇		・共同点検への参加	D +H28年度 R2年月	・利根川下流管内での共同点 に参加	点検 ●	・利根川下流管内での共同点相 に参加	*	・利根川区間の共同点検を実施 している	·H28年度 ·R7年度		ā O	・河川事務所が実施した合同点検に参加	0	・合同巡視の際に、地域住民の参加を検討する	D ・H29年度	-R7年度	・地域住民へ合同巡視の参加事業を検討中	Б О	・地域住民へ合同巡視の参加 請を検討中	加要(
(4)関係機関が連携した実体 線の実施	働水防訓 市町	に美浦村、稲敷市、阿見町 T村で合同の水防訓練を実 ている	3 ·H28年度 ·R7年度	・水防訓練を実施	0		・実施について検書	+H28年度 R2年度	2組合・3組合合同水防訓練 実施	o •	令和3年度は合同水防訓練未 施	¥ ×	・水防組合による水防訓練に参加	+H28年度 +R7年度	・水防組合による合同水防訓組に参加	* 0	・水防組合による合同水防訓練に参加	0	・毎年度、実施している	・H28年度	-R7年度	・コロナウイルスにより未実施	0	・コロナウイルスにより未実施	施 (
⑤水防活動の担い手となる 力団体の募集・指定を促進	る水防協 いる	防団が水防活動を兼務して 。消防団員募集は、広報 HP等で実施している	-H28年度 -R7年度	・広報誌やHP、地区ごとの 掛けを実施	0呼び 0		・募集・指定の促進 討する	について検 ・H31年度 R2年月	ボスターの掲示及び地区ごと 呼びかけを実施している。	:o •	ポスターの掲示及び地区ごとの 呼びかけを実施している	•	・促進について検討する	•H29年度 •R7年度	・水防協力団体の募集・指定を 検討する	0	・水防協力団体の募集・指定を 検討する	0	・水防に関し広報紙により募集 指定の促進を図っている	- H28年度	-R7年度	・香取広域消防本部の消防団 募集に合わせてホームページに て募集を実施した。	0	・香取広域消防本部の消防 募集に合わせてホームページ て募集を実施した。	団員 (ジに
⑥地域の建設業者による7 体制の検討・構築	・建 水防支援 結	設業組合等との災害協定終	* ·H19年度 R7年度 ·H22年度	-町内建設業組合等との災 定締結済	害協●		・水防支援体制にる。	-R7年 ・H31年度 -R7年	度・実施に向けた内部検討	0	・実施に向けた内部検討	0	・町建設業協会と災害協定を締結し支援体制を確立している	·H18年度 H18年度	・町建設業協会と災害協定を終 結し支援体制を確立している		・町建設業協会と災害協定を締結し支援体制を確立している	•	・実施を検討する	・H28年度	R7年度	・建設業協会と「地震・風水害そ の他の災害応急対策業務協定 を締結した		・建設業協会と「地震・風水害 の他の災害応急対策業務協 を締結済	書そ 品定」
⑦内水被害危険箇所の把 報共有		防団等と情報を共有し点検 ・	を -H29年度 -R7年度	・担当課において点検を実 ・災害時は危険箇所の点材 い情報を共有している	施。 負を行			H28年度 -R7年	g .		特になし	×	・把握および情報共有を行う	+H29年度 +R7年度	・危険箇所の把握・情報共有を 検討する	0	・危険箇所の把握・情報共有を検討する	0	・浸水実績図の作成を検討する	る ・H29年度	R7年度	・内水ハザードマップを配布し替発を実施。	•	内水ハザードマップを配布し 発を実施。	し啓
⑧重要水防箇所の見直し 資機材の確認	・重 及び水防 の共	要水防箇所・水防資機材等 も同点検を実施。	-R3年度 -R7年度				・重要水防箇所・水 の共同点検を実施	防資機材等 ·R3年度 ·R7年	度		水防箇所の点検を実施	•	・堤防の共同点検を実施。	•R3年度 •R7年度			・堤防の共同点検を実施。	0	・重要水防箇所・水防資機材等 の共同点検を実施。	序 ・R3年度	•R7年度			- 重要水防箇所の共同点検を 施した。	を実
⑨水防に関する広報の充 員確保に係る取組)	寧(水防団 織、	防団員の募集、自主防災線 企業等の参画を促すための 吸の検討、実施	1 ·R3年度 ·R7年度				・水防団員の募集、 総、企業等の参画 広報の検討、実施	自主防災組 ・R3年度 ・R7年 を促すための	度		毎年募集している	0	・水防団員の募集、自主防災組 織、企業等の参画を促すための 広報の検討、実施	•R3年度 •R7年度			町ホームページにて、水防団募 集に関する情報を掲載		・水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すため 広報の検討、実施	祖 ・R3年度	•R7年度			・実施に向けた取り組みを継	建続
⑩水防訓練の充実	·実 施	践的な水防訓練の検討、実	-R3年度 -R7年度				・実践的な水防訓練 施	東の検討、実 ・R3年度 ・R7年	度		令和3年度は合同水防訓練未 施	ġ ×	・実践的な水防訓練の検討、実 施	•R3年度 •R7年度			・実践的な水防訓練の実施	0	・実践的な水防訓練の検討、3 施	更 ∙R3年度	•R7年度			・コロナウイルスにより未実施	é
①水防関係者間での連携 関する検討	・広: 、協力に 実施 協力	域的、効率的な水防活動の 医に向けた関係者との連携。 コ	・R3年度 ・R7年度				・広域的、効率的な 実施に向けた関係 協力	水防活動の -R3年度 -R7年 者との連携、	度		特になし	×	・広域的、効率的な水防活動の 実施に向けた関係者との連携、 協力	•R3年度 •R7年度			水害時に、消防署・警察署との 連絡調整を行う		・広域的、効率的な水防活動の 実施に向けた関係者との連携 協力		•R7年度			・実施に向けた取り組みを継	継続 ∠
ト対策の主な取組 ③一刻	明も早い生活	再建及び社会経済活	動の回復を可能と	 するための排水活動の	取組																Į.				
)排水計画(案)の作成及	及び排水訓網	東の実施																							
①排水機場・樋門・水門等 有、排水手法等の検討を行 模水害を想定した排水計員 作成	行い、大規 討し	係機関と情報を共有して検 でいく	・H29年度 ・R7年度	・実施に向けた内部検討	Δ			H28年度 •R7年	度		未実施	×	・排水機場・樋門・水門等の情報 共有、排水手法等の検討を行 い、大規模水害を想定した排水 計画(案)の作成	H28年度 -R7年度			・排水機場・樋門・水門等の情報 共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水 計画(案)の作成		・排水ポンプの設置箇所の選別 まで行った排水計画(案)の作 を検討する	定 ・H29年度 成	-R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを終	継続
②排水訓練の実施	・水		・H29年度 ・R7年度	・実施に向けた内部検討	Δ			H28年度 -R7年	g	1/	未実施	×	・排水訓練の実施	H28年度 •R7年度			・排水訓練の実施		・防災訓練と合同で実施するよ 検討する	:う・H29年度	-R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	実施に向けた取り組みを終	継続
③内水被害危険箇所の排 (案)の作成		係機関と情報を共有して検 .ていく	·H29年度 ·R7年度	-実施に向けた内部検討	Δ			H28年度 -R7年	g	1/	未実施	×	・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	i H28年度 ・R7年度			・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	Δ	・内水被害危険箇所の排水計 (案)の作成を検討する	画 ·H29年度	-R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・ 実施に向けた取り組みを終	継続
④排水設備の耐水化	•排.	水設備の耐水化	•R3年度 •R7年度				・排水設備の耐水(·R3年度 ·R7年	度		未実施	×	・排水設備の耐水化	•R3年度 •R7年度			・排水設備の耐水化	Δ							
⑤排水準備計画の作成	•作』	成に必要な情報の提供	·R3年度 ·R7年度				・作成に必要な情報	その提供 ・R3年度 ・R7年	度		未実施	×	・作成に必要な情報の提供	•R3年度 •R7年度			・作成に必要な情報の提供	Δ	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	作成に必要な情報の提供	ŧ (

OR3取り組み状況について(個票)6/6

●:実施済み、 ○:実施中(検討中を含む)、 △:実施に向けた取り組みを継続、 ×:実施していない、 ■:対象外 稲敷地方広域市町村事務組合 項目 事項 内容 実施状況 R2年度実績 実施状況 R3年度実績 実施状況 実施内容 R3年度実績 実施状況 実施内容 R3年度実績 実施状況 H28年度実績 1. ハード対策の主な取組 (1)洪水を河川内で安全に流す対策 ①優先的に実施する堤防整備 ②優先的に実施する波浪対策 ③危機管理型ハード対策 (2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ②防災行政無線の改良、防災ラジ 才等の配布 ④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置 ⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家 発電装置等の耐水化 ⑥内水被害危険箇所の対策、排水 ポンプの準備 ⑦重要インフラの機能確保を図る ため、病院、市役所など重要施設 の雨水排水整備の実施 ⑧河川防災ステーションの整備 ⑨庁舎等の防災拠点の強化 日本貨物鉄道(株) 実施期間 着手 完了 鹿島臨海鉄道(株) 実施期間 着手 完了 稲敷地方広域市町村事務組合 項目 事項 内容 R2年度実績 実施状況 R3年度実績 実施状況 R3年度実績 実施状況 実施状況 実施内容 H28年度実績 実施状況 実施内容 実施内容 実施内容 R3年度実績 2. ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組 (1)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想 定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫 シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ 整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画 の作成及び訓練の促進 (2)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に 基づいた、マイ・タイムラインの作成 ③タイムラインに基づく実践的な訓 ④気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善 ⑤洪水時における河川管理者から の情報提供等(ホットラインの構築)

OR3取り組み状況について(個票)6/6

_	4.4			祖男	效地方広域市町村事務 組	H-F				日本貨物鉄道	(休)			鹿島臨海欽 実施期間	(体)			±+++1000		
頁	内容	実施内容	美施 着手	期間 完了	R2年度実績	実施状況	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間	R3年度実績	実施状況	実施内容	美施期间 着手 完了	R3年度実績	実施状況	実施内容	実施期間 着手 完了	H28年度実績	実施
防災教	教育や防災知識の普及																			
①水災合わせ	災害に事前準備に関する問い せ窓口の設置	,																		
②水防	防災に関する説明会の開催																			
③教員	員を対象とした講習会の実施																			
④小学 実施	学生を対象とした防災教育の																			
⑤出前 実施	前講座等を活用した講習会の																			
⑥プッ 発信	ッシュ型の洪水予報等の情報																			
⑦水位 リアル	位計やライブカメラ等の情報を レタイムで提供																			
⑧許可 育の実	可工作物管理者への防災教 実施																			
対策の主	主な取組 ②洪水氾濫(による被害の軽減、避難	推時間の確保	そのための	水防活動の取組															
より効果	果的な水防活動の実施	施及び水防体制の強化																		
①水防認と伝	防団等への連絡体制の再確 云達訓練の実施																			
②水防	防団同士の連絡体制の確保	井戸上枠に巡げすがして	- -	D0左座	河川東教託松安休士7米豆上	i O														
③水防 水に対 点検	防団や地域住民が参加する洪 対しリスクが高い区間の共同			1.	河川事務所が実施する共同点 検に参加していたが、コロナウ イルスの感染拡大により、R2年 度は消防本部のみで点検を 研年実施している霞ヶ浦地区			Ш												
④関係 練の実	係機関が連携した実働水防訓 実施	実施	** 11204/2	7	水防訓練が、コロナウイルスの 感染拡大をうけ中止となった。			ш												
⑤水防 力団体	防活動の担い手となる水防協 体の募集・指定を促進																			
⑥地域 体制の	域の建設業者による水防支援 の検討・構築	L.																		
⑦内水 情報共	水被害危険箇所の把握及び 共有	・重要水防箇所・水防資機材	t空 .D2年度	.D7年 帝																
⑧重要 資機材	要水防箇所の見直し及び水防 材の確認	・水防団員の募集、自主防災																		
⑨水防 団員研	防に関する広報の充実(水防 確保に係る取組)	織、企業等の参画を促すた8 の広報の検討、実施 ・実践的な水防訓練の検討、	\$5					Ш												
	防訓練の充実	施 · 広域的 动家的乔水陈汗面	hの -P3年度																	
関する	る検討	実施に向けた関係者との連携協力	携、																	
			済活動の回行	复を可能と	するための排水活動の耳	取組														
	十画(案)の作成及び排; 水機場・樋門・水門等の情報																			$\overline{}$
共有、 大規模 (案) Ø	水機場・樋門・水門等の情報、排水手法等の検討を行い、 様水害を想定した排水計画 の作成																			
	水訓練の実施																			
③内水 (案) の	水被害危険箇所の排水計画 の作成																			
④排力	水設備の耐水化																			
	水準備計画の作成																			-